第五條　電話交換ニ加入セムトスル者ハ一加入毎ニ加入申込書（第一號書式）ヲ當該郵便局ニ差出スヘシ

連接加入ヲ爲サムトスルトキハ本加入者ノ承諾書（第二號書式）ヲ添附シ共同線加入ニシテ其ノ相手方ヲ撰擇シタルトキハ別ニ雙方連署シタル請求書ヲ差出スヘシ

他人ノ所有ニ係ル家屋ニ電話機ヲ設置セムトスルトキハ其ノ家屋所有者ノ承諾書（第三號書式）ヲ加入申込書ニ添附スヘシ

第六條　加入申込者又ハ加入者其ノ使用ニ供スル電話機ニ依リ特ニ指定スル長距離電話通話（以下單ニ長距離電話トス）ヲ爲サムトスルトキハ其ノ請求書ニ種別ヲ附シ當該郵便局ニ差出スヘシ

前項ノ請求ヲ取消シ又ハ電話通話ノ種別ヲ變更シ或ハ廢止セムトスルトキハ其ノ請求書ヲ當該郵便局ニ差出スヘシ

第七條　電話開通ノ順序ハ加入申込登記ノ順番ニ依ル

第八條　郵便局ニ於テ電話加入ノ申込ヲ受理シタルトキハ其ノ申込順序ニ依リ之ヲ原簿ニ登記シ其ノ順番ヲ申込者ニ通知スヘシ但シ新ニ電話交換事務ヲ開設スル場合ニ於テハ其ノ加入申込受理開始ノ日ヨリ三日間ニ於ケル加入申込ニ對スル登記順番ハ所轄一等郵便局長之ヲ定ム

第九條　左記各號ノ場合ニ於ケル電話ノ開通ハ申込登記ノ順番ニ依ラス之ヲ繰上クルコトヲ得

一　官廳公署及公益事業等ノ用ニ供スルモノニシテ特急架設ノ必要アリト認メタルモノ

二　工事施行上ノ都合ニ依ルモノ

三　連接加入ノ申込

四　現ニ加入者タルモノ又ハ申込登記ノ順番ニ依リ開通スヘキ申込者ト共同線加入トナリ得ヘキモノ

第十條　左記各號ノ場合ニ於テハ電話ノ開通ハ申込登記ノ順番ニ依ラス之ヲ繰延フヘシ但シ所轄一等郵便局長ニ於テ特ニ其ノ必要ヲ認メタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　一人ニシテ現ニ二箇以上ノ加入申込ヲ有スル場合ニ於ケル一箇以外ノ申込（同一戸内ニ住居スル家族又ハ同居者等ノ名義ヲ以テスル加入申込ハ一名義ヲ以テシタルモノト看做ス）

二　工事施行上順番ニ依リ難キモノ

三　電話開通工事施行ノ猶豫ヲ請求シタルモノ

四　電話開通工事著手ノ通知ヲ受ケタル後電話機設置場所ノ變更ヲ請求シタルモノ

第十一條　順番ニ依リ開通シ得ヘキ共同線加入申込ニシテ相手方ナキトキハ相手方アルヲ俟テ之ヲ開通ス但シ相手方アル迄單獨加入ノ使用料ヲ納ムルコトヲ申出ツルトキハ特ニ之ヲ開通スヘシ

第十二條　單獨加入ト共同線加入ト相互變更セムトスルトキハ其ノ請求書ヲ當該郵便局ニ差出スヘシ

共同線加入ハ申込登記ノ順番ニ依ルニ非ラサレハ單獨加入ニ變更スルコトヲ得ス

單獨加入ヨリ共同線加入ニ變更シタル者ハ變更後滿一箇年ヲ經過シ且工事上差支ナキ場合ノ外再ヒ單獨加入ニ變更スルコトヲ得ス

連接加入ハ他ノ加入ト相互變更スルコトヲ得ス

第十三條　加入申込者又ハ加入者其ノ電話機及附屬物品ノ設置場所ヲ變更シ又ハ移轉セムトスルトキハ其ノ請求書ヲ當該郵便局ニ差出スヘシ但シ他人ノ所有ニ係ル家屋ニ設置セムトスルトキハ其ノ家屋所有者ノ承諾書（第三號書式）ヲ請求書ニ添附スヘシ

第十四條　共同線加入ノ電話機及附屬物品設置場所移轉ハ移轉先ニ於テ直ニ共同線加入トシテ開通シ得ル場合ニ限ルモノトス此ノ場合ニ於テ相手方ヲ撰ムモノハ現ニ加入者タルモノナルコトヲ要ス

連接加入ノ電話機及附屬物品設置場所ハ移轉スルコトヲ得ス但シ第三條第二項ノ距離以内ノ移轉又ハ本加入ト共ニ移轉スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　共同線加入ハ其ノ相手方カ變更若ハ取消ヲ爲シタルトキ或ハ除名セラレタルトキ又ハ第三條第一項ノ距離以外ニ移轉シタルトキハ新ニ相手方ヲ得ル迄其ノ通話取扱ヲ休止ス但シ單獨加入ノ使用料ヲ納ムルトキハ之カ通話取扱ヲ繼續スルコトヲ得

第十六條　連接加入ハ本加入カ變更若ハ取消ヲ爲シタルトキ或ハ除名セラレタルトキ又ハ連接加入ノ電話機設置場所ヨリ二町以外ニ移轉シタルトキ當然消滅ニ歸ス

第十七條　加入申込者卓上電話機ノ設置ヲ請求セムトスルトキハ其ノ請求書ヲ當該郵便局ニ差出スヘシ

加入者卓上電話機ヲ普通電話機ニ普通電話機ヲ卓上電話機ニ又卓上電話機ノ種別ヲ變更セムトスルトキハ其ノ請求書ヲ當該郵便局ニ差出スヘシ

卓上電話機設置ノ請求書ニハ其ノ種別ヲ附記スヘシ

第十八條　加入申込者又ハ加入者左記各號ノ裝置ヲ爲サムトスルトキハ其ノ請求書ヲ當該郵便局ニ差出スヘシ但シ第三號ノ場合ハ加入申込者又ハ加入者私設ノ線條機械及附屬物品ニ關シテハ之カ認可ヲ受クヘシ又其ノ維持並交換取扱方法ハ當該郵便局ニ於テ指示スルコトアルヘシ

一　加入電話機ニ受話器ヲ增設セムトスルトキ

二　加入電話機設置場所ト同一戶内ニ於テ同一回線中ニ電話機又ハ電鈴ヲ增設セムトスルトキ

三　加入電話機設置場所ト同一ナル自己ノ邸宅構内ニ於テ電信法第二條第一號及明治三十三年九月遞信省令第五十一號官廳用電信電話規程第一條第一號ニ依リ施設シタル電話機ヲ交換線ニ接續セムトスルトキ

四　同一邸宅構内ニ二加入以上ノ電話機ヲ有スル加入者カ其ノ電話機ニ共通スル電話機ヲ增設セムトスルトキ

五　前各號ニ依リ增設シ又ハ接續シタル電話機受話器若ハ電鈴ヲ撤去シ及接續ヲ變更又ハ廢止セムトスルトキ

第十九條　加入申込者其ノ申込ヲ取消サムトスルトキハ其ノ請求書ヲ當該郵便局ニ差出スヘシ

第二十條　電話加入期間ハ電話開通ノ日ヨリ起算シ單獨加入及共同線加入ハ滿一箇年トシ連接加入ハ滿三箇月トス但シ其ノ期間ノ末日カ第三十六條ニ掲クル一期ノ中途ナルトキハ該期末日迄ノ日數ヲ附加ス

前項ノ加入期間以後ハ每三箇月ヲ以テ一加入期間トス

第二十一條　加入者其ノ加入ヲ取消サムトスルトキハ當該加入期ノ末日ヨリ十五日以前ニ其ノ請求書ヲ當該郵便局ニ差出スヘシ其ノ請求ヲ爲ササル者ハ次期ノ加入ヲ繼續スルモノト看做スヘシ

第二十二條　加入申込者ノ名義ハ第二十三條ノ場合ヲ除クノ外之ヲ他人ノ名義ニ變更スルコトヲ得ス

加入者其ノ加入ノ名義ヲ變更セムトスルトキハ當事者ノ連署シタル請求書ヲ當該郵便局ニ差出シ其ノ承認ヲ受クヘシ

第二十三條　加入者又ハ加入申込者死亡又ハ失踪ノ場合ニ於テ其ノ加入ヲ繼承セムトスル者ハ其ノ相續人又ハ管理人タルノ證明書ヲ添ヘ其ノ請求書ヲ當該郵便局ニ差出スヘシ

第二十四條　第九條第一號ニ依リ開通シタル電話ハ同號以外ノモノノ名義ニ變更スルコトヲ得ス

連接加入ハ之ヲ他人ノ名義ニ變更スルコトヲ得ス

第二十五條　電話加入區域變更ノ爲加入申込者又ハ加入者ノ位置他ノ加入區域內ニ編入セラレタルトキハ所屬替ヲ爲スモノトシ又加入區域外ト爲リタルトキハ加入申込ハ之ヲ取消シ加入ハ其ノ儘繼續ス但シ其ノ加入ヲ繼續シタル電話機及附屬物品ハ電話加入區域以內ヘノ外他ニ移轉スルコトヲ得ス

第二十六條　電話開通工事著手ノ際加入申込者ノ所在不明ナルトキ及加入申込者又ハ加入者死亡又ハ失踪ノ場合ニ於テ相續人又ハ管理人ヨリ何等申出ナキトキハ其ノ加入申込又ハ加入ヲ取消スコトアルヘシ

第二十七條　遞信大臣ハ特ニ必要ト認ムル者ニ限リ電話線ノ專用ヲ許可スルコトアルヘシ其ノ專用ニ關スル條件及料金等ハ別ニ之ヲ定ム

第二十八條　加入區域外トノ通話及電話取扱局所ニ於テスル通話ハ每五分時間迄ヲ以テ一通話時トシ他ニ通話請求ナキ場合ノ外一通話時ヲ超エテ繼續スルコトヲ得ス其ノ通話順番ハ請求ノ順序ニ依ル但シ通話請求ノ順序ニ依リ接續ヲ爲ス場合ニ於テ之カ通話ヲ爲ササルトキハ其ノ請求ハ消滅スルモノトス

第二十九條　前條ノ通話ニシテ規定ノ電話料ノ二倍ヲ納ムルトキハ至急通話トシテ一般通話請求ニ先立チ通話ヲ爲スコトヲ得

第三十條　加入申込者ハ加入登記料ヲ納ムヘシ單獨加入ト共同線加入ト相互變更ノ場合ハ新ニ登記料ヲ要セス

特別加入區域ニ屬スヘキ加入申込者ハ電話線接續料ヲ納ムヘシ

第三十一條　加入者其ノ名義ヲ變更セムトスルトキハ第二十三條ヲ除クノ外名義書換料ヲ納ムヘシ

第三十二條　加入者ハ電話使用料ヲ納ムヘシ

特別加入區域ニ屬スル加入者又ハ第六條ニ依リ通話ヲ爲ス加入者又ハ第十七條ニ依リ卓上電話機ヲ設置シ若ハ第十八條ニ依リ機械ヲ增設シ又ハ私設電話機ヲ接續シタル加入者ハ電話使用料ノ外附加使用料ヲ納ムヘシ

第三十三條　加入者第十三條ノ請求ヲ爲ストキハ機械移轉料ヲ納ムヘシ

加入者特別加入區域內ニ於テ又ハ普通加入區域內ヨリ特別加入區域內ニ機械ノ移轉ヲ請求スルトキハ機械移轉料ノ外電話線接續料ヲ納ムヘシ

第三十四條　第二十八條ノ通話ヲ請求スルモノハ電話料ヲ納ムヘシ

第三十五條　電話ニ關スル料金ハ左ノ如シ

一　加入登記料名義書換料及電話使用料

加入登記料

土地ノ種別	單獨及共同線加入	名義書換料
甲	金十五圓	金五圓
乙	金十圓	金三圓
丙	金五圓	金二圓

二　附加使用料

一特別加入　年額　特別加入區域內丁種一町迄毎ニ　金二圓

〃　町數ノ計算方ハ普通加入區域ヲ距ル電話線路ノ丁種ト最近道路ノ丁種トヲ比較シ何レカ其ノ距離ノ短キモノニ依ル

一長距離電話　年額一箇毎ニ特別　金六圓

一卓上電話機　年額一箇毎ニ甲號　金十二圓

一增設機械　年額一箇毎ニ乙號　金二十四圓

普通電話機　年額一箇毎ニ甲號　金二十四圓

卓上電話機　年額一箇毎ニ筒形又ハ時計形　金八圓

受話機　年額一箇毎ニ　金三圓

電鈴　年額一箇毎ニ　金六圓

一私設電話機接續　年額私設電話機一箇毎ニ

三　電話料

區域

同一加入區域內及同一電話取扱局所呼出地域內竝同一市町村內ノ通話　一通話時ノ電話料　一回ノ電話呼出料

金五錢　金五錢

電話使用料年額

單獨加入	共同線加入	連接加入
金六十六圓	金四十八圓	金四十二圓
金五十四圓	金四十二圓	金三十六圓
金四十八圓	金三十六圓	金二十四圓

加入區域外通話

三里以內	金十錢	金十錢
五里以內	金十五錢	
十里以內	金二十錢	金十五錢
二十五里以內	金二十五錢	金二十錢
百里以內		金二十五錢
百里以上		

二十五里以上一里迄毎ニ二十五錢ニ一錢ヲ加ヘ五錢ヲ單位トシテ端數ヲ切上トス百里以上一里迄毎ニ一回ニ一錢ヲ加ヘ十錢ヲ單位トシテ四捨五入トス

本號ノ里程ハ遞信大臣ノ定ムル所ニ依ル

艦船中ニ在ル者ヲ呼出サムトスルトキハ前記電話呼出料ノ外一回毎ニ金二十錢ヲ增納スヘシ

四　電話線接續料　金十圓

特別加入區域內ノ丁種一町迄毎ニ

町數ノ計算方ハ特別加入區域內ニ於ケル新設電話線路ノ丁種ト普通加入區域ヲ距ル最近道路ノ丁種トヲ比較シ何レカ其ノ距離ノ短キモノニ依ル

五　機械移轉料

一同一郵宅構內ノ移轉　金二圓

一同一郵宅構內ニ於テ電鈴及附屬物品ノミノ移轉　金一圓

一他ノ郵宅構內ヘ移轉　金十五圓

前項第一號土地ノ種別第三號加入區域外通話ヲ爲シ得ル區域及其ノ料金ハ別ニ之ヲ告示ス

第三十六條　電話使用料及附加使用料ハ年額ヲ四分シ左ニ揭クル四期ノ別ニ從ヒ毎一期分ヲ其ノ

期ノ初月一日ヨリ十日マテニ之ヲ當該郵便局ニ納ムヘシ

第一期　四月一日ヨリ六月三十日マテ

第二期　七月一日ヨリ九月三十日マテ

第三期　十月一日ヨリ十二月三十一日マテ

第四期　一月一日ヨリ三月三十一日マテ

第三十七條　加入初期ノ電話使用料及附加使用料ハ電話開通ノ日ヨリ其ノ期ノ末日ニ至ルマテノ日數ニ應シ年額金ノ日割ヲ以テ開通ノ日ヨリ十五日以内ニ當該郵便局ニ之ヲ納ムヘシ其ノ加入後新ニ附加使用料ヲ納ムヘキ場合ノ生シタルトキ亦同シ

第三十八條　電話加入ノ種類變更ノ爲料金ニ異動ヲ生シタルトキハ日割ヲ以テ其ノ不足額ヲ徵收シ過超額ハ之ヲ還付スヘシ

第三十九條　加入者第二十條ノ加入期間内ニ於テ加入ヲ取消シタルトキ又ハ加入ヨリ除名セラレタルトキハ其ノ期間内ニ屬スル電話使用料及附加使用料ノ未納額ヲ一時ニ納ムヘシ

加入者第二十一條ノ取消請求期限ヲ過キテ加入取消ノ請求ヲ爲シタルトキ又ハ第四十五條第三項ノ場合ニ於テ當該加入期ノ末日ヨリ十五日以前ニ第六條第二項第十三條第十七條第二項第十八條第五號ノ請求ヲ爲ササルトキハ其ノ次期ニ屬スル電話使用料及附加使用料ヲ納ムヘシ

第四十條　電話料ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ納ムヘシ

一電話取扱局所（自働電話所ヲ除ク）ニ來ル者ハ一通話時ノ料金ヲ其ノ局所ニ前納シ二通話時以上ニ渉リタルトキハ通話ヲ終リタル後其ノ未納料金ヲ納ムヘシ

一自働電話所ニ於テ通話セムトスル者ハ當該局所ノ指定スル方法ニ依リ一通話時毎ニ其ノ料金ヲ納ムヘシ

一加入者ハ一箇月分取纏メ翌月二十日迄ニ當該郵便局ニ納ムヘシ

第四十一條　加入登記料ハ加入申込ヲ爲ストキ名義書換料ハ其ノ請求ヲ爲ストキ電話線接續料及機械移轉料ハ當該郵便局ノ指定スル期日迄ニ之ヲ納ムヘシ

第四十二條　電話ニ關スル料金ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外通貨ヲ以テ納ムヘシ但シ左ノ料金ハ郵便切手ヲ以テ納ムヘシ

一加入登記料、名義書換料

一電話取扱局所（自働電話所ヲ除ク）ニ於テ納ムヘキ電話料

第四十三條　加入登記料、名義書換料、電話線接續料及機械移轉料ハ其ノ申込又ハ請求ヲ取消シタルトキト雖之ヲ還付セス但シ第二十五條ニ依リ加入申込ヲ取消シタルトキハ其ノ申込者ノ請求ヲ俟テ還付ス

電話取扱局所ニ來ル者ノ前納シタル電話料ハ既ニ郵便切手ニ消印シタル後又ハ自働電話機ニ差入レタル後ハ之ヲ還付セス

第四十四條　第十五條ニ依リ共同線加入ノ通話取扱ヲ中止シタルトキハ日割計算ヲ以テ休止中ノ電話使用料及附加使用料ヲ免除ス

第四十五條　加入者第二十條ノ加入期間内ニ於テ加入ヲ取消シ又ハ加入ヨリ除名セラレタルトキト雖其ノ期間内ニ屬スル電話使用料及附加使用料ハ之ヲ免除セス

第五十六條ニ依リ通話ヲ停止セラレタルトキハ其ノ停止期間中ノ電話使用料及附加使用料ハ之ヲ免除セス

長距離電話ノ廢止又ハ電話機及其ノ附屬物品ノ移轉又ハ增設機械ノ撤去又ハ電話機ノ變更若ハ私設電話機接續ノ廢止ニ因リ附加使用料ノ消滅又ハ減少スヘキ場合ニ於テモ其ノ期ノ附加使用料ハ之ヲ免除セス

第四十六條　加入者ノ過失懈怠又ハ故意ニ因ラスシテ電話不通ニ至リ其ノ日數十五日以上ニ亙ルトキハ不通期間ノ電話使用料及附加使用料ヲ徵收セス若シ既納ノ電話使用料及附加使用料アリタルトキハ加入者ノ請求ニ依リ其ノ不通日數ニ應シ年額金ノ日割ヲ以テ之ヲ還付スヘシ但シ加入者自己ノ都合ニ依リ復舊工事ヲ延期シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項不通ノ日數ハ當該郵便局ニ於テ其ノ事故ヲ認メタル日ヨリ起算ス

第四十七條　電話ニ關スル料金ノ還付ハ通貨ヲ以テ納メタルモノハ郵便切手ヲ以テスヘシ

第四十八條　電話ニ關スル料金ヲ郵便切手ヲ以テ徵收シ又ハ還付スヘキ場合ニ錢位未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ錢位ニ切上ケ計算ス

第四十九條　加入者ノ使用ニ供スル電話線、電話機及其ノ附屬物品ハ當該郵便局ニ於テ之ヲ設備ス

前項ノ電話機及其ノ附屬物品ヲ加入者自ラ供給セムトスルトキハ之ヲ當該郵便局ニ請求スヘシ

第五十條　當該郵便局ハ時時吏員又ハ其ノ所屬員ヲ派遣シ加入者ノ使用ニ供スル電話機設置ノ邸宅構內ニ在ル電話線、電話機及其ノ附屬物品ヲ點檢セシムヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帶セシムヘシ

第五十一條　通信官署ハ加入者ノ使用ニ供スル電話線、電話機及其ノ附屬物品ヲ撤去シ又ハ移轉スル場合ニ於テ其ノ電線、機械及物品ノ裝置シアリタル造營物ヲ原形ニ修復スルノ責ニ任セス

第五十二條　加入者ノ過失懈怠又ハ故意ニ因リ其ノ使用ニ供スル電話機設置ノ邸宅構內ニ在ル電話線、電話機及其ノ附屬物品ヲ亡失毀損シタルトキ又ハ第五十五條ニ違背セル所爲ニ依リ復舊工事ヲ要スルトキハ加入者ニ於テ其ノ補充又ハ修繕ニ要スル費用ヲ辨償スヘシ

第五十三條　加入者ハ報酬ヲ受ケ其ノ使用ニ供スル電話機ヲ他人ノ用ニ供シ又ハ報酬ヲ受クル者ニ之ヲ貸與スヘカラス

第五十四條　共同線加入者相互及連接加入者ト本加入者相互ノ間ハ通話上一方ニ對シ妨害ヲ爲スヘカラス

第五十五條　加入者ハ其ノ使用ニ供スル電話機設置ノ邸宅構內ニ在ル電話線、電話機及其ノ附屬物品ヲ取外シ若ハ移轉シ又ハ其ノ裝置法ヲ變更シ若ハ之ヲ分解スヘカラス但シ水火其ノ他ノ事變ニ際シ保護ノ目的ニ出テタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

加入者ハ其ノ使用ニ供スル電話機設置ノ邸宅構內ニ在ル電話線、電話機及其ノ附屬物品ニ他ノ線條機械等ヲ連結スヘカラス

第五十六條　加入者電話使用料、附加使用料及電話料ヲ規定ノ期日迄ニ納付セサルトキ又ハ第五十二條ノ補修費ヲ辨償セサルトキハ其ノ滯納ノ期間通話ヲ停止スヘシ

加入者前條第一項ニ違背スルノ所爲アリタルトキ又ハ故ナク第五十條ノ點檢ヲ拒ミタルトキハ七日以內ノ期間通話ヲ停止スルコトアルヘシ

第十八條第三號ニ依ル加入者去リニ其ノ接續ヲ變更シ若ハ他ノ線條機械等ヲ連結シタルトキ及過失懈怠又ハ故意ニ因リ通話ヲ不良ナラシメタルトキハ其ノ接續ヲ停止スルコトアルヘシ

第五十七條　加入者第五十三條及第五十四條ニ違背スルノ所爲アリタルトキ又ハ前條第一項ニ依リ通話ヲ停止セラレタル日ヨリ三十日以内ニ滯納ノ金額ヲ納付セサルトキハ加入ヨリ除名スヘシ

加入者第五十五條第二項ニ違背シタルトキ又ハ前條第二項ニ依リ一年三回以上通話ヲ停止セラレタルトキハ加入ヨリ除名スルコトアルヘシ

第五十八條　前條ニ依リ加入ヨリ除名セラレタル者ハ其ノ除名ノ日ヨリ滿一箇年ヲ經過スルニ非サレハ再ヒ同一ノ加入區域内ニ於テ加入申込又ハ加入ヲ爲スコトヲ得ス

第五十九條　逓信官署ハ電話交換ヨリ生スル一切ノ事故ニ對シ其ノ責ニ任セス

附則

第六十條　本規則ハ明治三十九年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二十二條第一項ノ規定ハ明治三十九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六十一條　明治三十年十二月逓信省令第三十一號電話交換規則同年同月逓信省令第三十二號電話ニ關スル料金ノ件明治三十二年九月逓信省令第五十四號自働電話機通話心得ノ件明治三十四年三月逓信省令第八號普通電話機供給ノ件明治三十六年十月逓信省令第四十六號電話ニ關スル料金ヲ郵便切手ヲ以テ徴收還付計算方ノ件明治三十六年十月逓信省令第四十七號電話加入區域外ニ編入セラレタル電話所區域ノ件及同年同月逓信省令第四十八號電話加入者取扱方ノ件ハ之ヲ廢止ス

第六十二條　本規則施行前ニ於ケル電話加入申込又ハ電話加入ハ本規則ニ依ル單獨加入申込又ハ單獨加入ト看做ス

第六十三條　本規則施行前ニ爲シタル電話加入申込ニシテ明治三十九年七月末日迄ニ其ノ申込ヲ取消ス者アルトキハ請求ニ依リ其ノ加入登記料ヲ還付ス

第一號書式

加入申込書

電話規則ニ遵ヒ何地電話交換ニ加入致度左ニ加入ノ種類及電話機設置場所ヲ指定シ（別紙承諾書相添）此段申込候也

明治何年何月何日

何市（郡、區）何町（村）何番地

何　某印

何郵便局御中

一電話加入種類　何々加入

一電話機設置場所　何市（郡、區）何町（村）何番地

但シ家屋所有者ハ何某ニ有之候

第二號書式

承諾書

今般貴殿ニ於テ私加入ノ電話何第何番ニ連接加入方請求ノ趣ハ私ニ於テ異存無之候也

明治何年何月何日

何市（郡、區）何町（村）何番地

何　某印

第三號書式

承諾書

今般貴殿ニ於テ何地電話交換ニ加入ノ爲私所有ノ何市（郡、區）何町（村）何番地何々家屋ニ電話機設置ノ趣ハ私ニ於テ故障無之候也

明治何年何月何日

何市(郡區)何町(村)何番地
家屋所有者　何　某印

何某殿

○遞信省令第二十六號

明治三十年六月遞信省令第十八號外國新聞電報規則第六條但書ヲ左ノ通改正シ本日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年六月十四日　遞信大臣山縣伊三郎

但本邦ヨリ韓國ニ宛テ發送スルモノ又ハ韓國及其ノ他ノ諸國ヨリ本邦ニ著スルモノハ之ヲ同文電報トナスコトヲ得

(參照)

遞信省令第十八號外國新聞電報規則(明治三十年六月二十六日)抄錄

第六條　新聞電報ハ至急返信料前納照校受信報知及同文電報トナシ又ハ傳送配達上特殊ノ指定ヲ附スルコトヲ得ス但本邦ト韓國トノ間ニ發著スルモノ若ハ上海厦門福州及香港ヨリ本邦ニ著スルモノハ之ヲ同文電報トナスコトヲ得

○遞信省令第二十七號

明治三十三年九月遞信省令第四十二號郵便規則第二十八條小包郵便物料金表中「內地臺灣間」トアルヲ「內地臺灣樺太相互間」ト改ム

明治三十九年六月十八日　遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省令第二十八號

明治三十九年一月遞信省令第三號郵便振替貯金規則中左ノ通改メ來七月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年六月二十七日　遞信大臣山縣伊三郎

第二十五條ノ次ニ左ノ二條ヲ追加ス

第二十五條ノ二　振替貯金ノ口座ニ加入セル銀行ハ其ノ貯金ヲ日本銀行ニ於ケル自行ノ當座勘定口ニ振替ノ爲第二十四條ノ手續ニ準シ之カ拂出ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ拂出票及拂出通知票ノ指定受取人欄ニ日本銀行當座勘定口ノ文字ヲ記載スヘシ

前項ノ拂出ニ對シテハ金高ニ拘ラス一口ニ付金貳錢ヲ當該加入銀行ノ口座ヨリ差引徵收ス

第二十五條ノ三　郵便爲替貯金管理所ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ第二十五條ノ例ニ依リ口座拂出ノ手續ヲ爲シタル上、各銀行ノ請求ヲ取纏メ其ノ總額ニ對シ、日本銀行ニ支拂フヘキ振替貯金拂出證書ヲ調製シ、各銀行ヨリ提出セル拂出通知票ト共ニ之ヲ日本銀行ニ送付ス

日本銀行ニ於テ前項拂出證書ニ對スル拂出金ノ拂渡ヲ受ケタルトキハ之ヲ當該各銀行ノ當座勘定口ニ振替受入ルルモノトス

○遞信省令第二十九號

明治三十九年一月遞信省令第三號郵便振替貯金規則中左ノ通改正シ來七月十日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年六月二十七日　遞信大臣山縣伊三郎

第七條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第七條ノ二　振替貯金ノ口座ハ讓受人ニ於テ當該口座ニ關スル一切ノ權利及義務ヲ承繼スル場合ニ限リ之ヲ讓渡スコトヲ得

前項ニ依リ讓渡ヲ爲サムトスルトキハ讓渡人及讓受人連署ノ上口座ノ名義書換ヲ郵便爲替貯金管理所ニ請求スヘシ

郵便爲替貯金管理所ニ於テ前項ノ請求ヲ承認シタルトキハ當該口座ノ名義ヲ書換ヘタル上讓受人ニ對シ其ノ旨ヲ通知シ且印鑑票用紙ヲ送付ス

讓受人前項印鑑票用紙ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ニ相當事項ヲ記載シ且振替貯金ニ關シ使用スヘキ印章ヲ鮮明ニ押捺シ免料書留郵便ニ依リ速ニ之ヲ郵便爲替貯金管理所ニ送付スヘシ

第十四條ヲ左ノ通改ム

第十四條　振替貯金ノ口座ニ對スル拂込及拂出ハ拂込書及拂出書用紙ヲ使用スヘシ

拂込書用紙ハ郵便局所ニ於テ必要ニ應シ當該拂込人ニ無料ニテ之ヲ交付ス

拂出書用紙ハ郵便爲替貯金管理所ニ於テ其ノ相當欄ニ加入者ノ口座番號及住所氏名ヲ印刷シ當該加入者ニ之ヲ賣捌クモノトス

加入者ハ自己ノ口座ニ對スル拂込ノ用ニ供スル爲豫メ自己ノ口座番號及住所氏名ヲ印刷シタル拂込書用紙ノ賣渡ヲ郵便爲替貯金管理所ニ請求スルコトヲ得

前二項ニ依リ賣捌ク用紙ノ價格ハ別ニ之ヲ告示ス其ノ賣捌ニ係ル用紙代金ハ第九條ノ場合ヲ除クノ外當該加入者ノ口座ヨリ差引徵收ス

第十九條ヲ左ノ通改ム

第十九條　振替貯金ノ口座ニ對シ現金ノ拂込ヲ爲サムトスル者ハ拂込書用紙ニ依リ其ノ拂込票及拂込通知票ニ拂込ヲ受クヘキ加入者ノ口座番號及氏名、拂込金額、拂込人ノ住所氏名及拂込年月日ヲ記載シ之ニ現金ヲ添ヘ郵便局所ニ差出シ其ノ受領票ヲ受取ルヘシ

〔參照〕

遞信省令第三號郵便振替貯金規則（明治三十九年一月八日）抄錄

第十四條　振替貯金ノ口座ニ對スル拂込及拂出ハ郵便爲替貯金管理所ニ於テ發行スル拂込書及拂出書用紙ヲ使用スヘシ

前項ノ用紙ハ加入者ノ請求ニ依リ豫メ郵便爲替貯金管理所ニ於テ其ノ相當欄ニ加入者ノ住所氏名及口座番號ヲ印刷シ別ニ告示スル價格ヲ以テ之ヲ賣捌クモノトス

前項ノ用紙代金ハ第九條ノ場合ヲ除クノ外當該加入者ノ口座ヨリ差引徵收ス

第十九條　振替貯金ノ口座ニ對シ現金ノ拂込ヲ爲サムトスル者ハ其ノ拂込書及拂込通知票ニ拂込ヲ受クヘキ加入者名義ノ拂込書用紙ニ依リ其ノ拂込票及拂込通知票ニ拂込金額、拂込人ノ住所氏名及拂込年月日ヲ記載シ之ニ現金ヲ添ヘ郵便局所ニ差出シ其ノ受領票ヲ受取ルヘシ

○遞信省令第三十號

明治三十八年四月遞信省令第三十四號特設電話規則中左ノ通改正シ來七月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年六月二十八日　遞信大臣山縣伊三郎

第二條　特設電話加入ヲ分テ左ノ三種トス

一　單獨加入　一加入ニ付一回線ヲ有スルモノ

二　共同線加入　二加入共同シテ一回線ヲ有スルモノ

三　連接加入　單獨加入ニ連接シテ一加入ヲナスモノ

第三條　加入者ハ一加入毎ニ電話線路トシテ複線式一回線ヲ架設シ且ツ電話機一箇ヲ設備シ之カ保守其他必要ナル維持ヲナスヘシ但特殊ノ地域ニシテ遞信大臣特ニ其必要ヲ認メタルトキハ單線式トナスコトヲ得

共同線加入ハ特別ノ事由アルモノニシテ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ四加入迄同一ノ回線ニ接續スルコトヲ得

前二項ノ設備及維持ノ方法及要件ハ別ニ加入者ニ命令ス

第四條　特設電話交換ニ關スル局所內ノ設備及維持ハ遞信省ニ於テ之ヲ負擔ス

第五條　電話加入ヲナサントスルモノハ一加入毎ニ別記樣式ニ依リ其局所ヲ管轄スル一等郵便局長（以下單ニ一等局長トス）ヲ經テ遞信大臣ニ申請シ認可ヲ受クヘシ

共同線加入又ハ連接加入ノ場合ハ相手方ヲ定メ其申請書ニ互ニ連署スヘシ但既ニ加入セルモノノ電話線ニ參加シ其共同線加入又ハ連接加入ヲナサントスルモノハ其加入者ノ承諾書ヲ申請書ニ添付スヘシ

左記各號ノ設備又ハ裝置ヲナサントスルモノハ申請書ニ其旨ヲ記入スヘシ但第一號ノ場合ハ其必要ナル事由ヲ詳具スルコトヲ要ス

一　電話線路ヲ單線式トナサントスルトキ

二　電話機、電鈴、受話器ヲ增設セントスルトキ

三　長距離電話ノ加入ヲナサントスルトキ

他人ノ所有ニ係ル家屋内ニ電話機ヲ設置セントスルモノハ其家屋所有者ノ承諾書ヲ申請書ニ添付スヘシ

第六條　特設電話ニ關スル料金ハ左ノ如シ

一　加入登記料　一加入毎ニ　金五圓

二　名義書換料　一度毎ニ　金二圓

三　電話交換料（單獨加入及共同線加入）　一加入毎ニ年額　金二十四圓

（連接加入）　一加入毎ニ年額　金十八圓

毎年一定ノ時期ヲ限リ取扱フ局所ニアリテハ前項交換料ノ月割額ニ其五割ヲ加算シタル額ヲ開施期間内ノ月數ニ應シ之ヲ徵收ス

特設電話加入ヲ認可セサルトキハ加入登記料ハ之ヲ還付ス

第十條　第九條第二號及第三號ノ場合ニ於テ加入者カ通話ヲ求メタルトキハ電話交換料ノ外別ニ

告示スルトコロノ電話料ヲ納ムヘシ

第二十一條中「明治三十年十二月遞信省令第三十一號電話交換規則」トアルヲ「明治三十九年六月遞信省令第二十五號電話規則」ト改ム

第二十二條　明治三十九年六月遞信省令第二十五號電話規則第四條第十二條第一項及第四項第十九條乃至第二十三條第二十四條第二項第二十八條第二十九條第三十條第一項第三十一條第三十五條第一項第三號第三十六條乃至第四十三條第四十五條第四十七條第四十八條第五十條第五十三條乃至第五十九條ノ規定及明治三十三年九月遞信省令第四十八號私設電信規則第十二條第一項第十三條乃至第十九條第二十一條ノ規定ハ本規則ニ之ヲ準用ス

（樣式）

特設電話加入申請書

特設電話規則ニ依リ何々局（所）ノ電話ニ加入致度候　何々

一　電話加入種類

（共同線加入又ハ連接加入ナルトキハ茲ニ其必要ナル事由ヲ記載スヘシ）

二　電話機設置場所　何々

（共同線加入又ハ連接加入ナルトキハ茲ニ其相手方ノ電話機設置場所ヲモ列記スヘシ）

三　局所ト電話機設置場所トノ距離　何々

（共同線加入又ハ連接加入ナルトキハ茲ニ各其相手方間ノ距離ヲモ列記スヘシ）

四　長距離電話加入機械增設等ノ要否　何々

五　何々

（單線式線路架設ヲ要スルトキハ茲ニ其事由ト共ニ記載スヘシ）

右申請候也

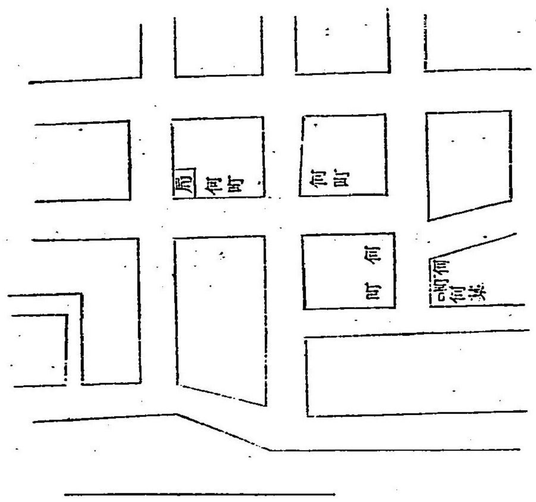
年　月　日

住所職業
申請人　氏　名　印
共同線加入又ハ連接加入ナルトキハ茲ニ其相手方ハ住所職業ヲ肩書シ署名スヘシ

遞信大臣宛

注意

申請書ニハ業務所及各電話機設置場所ノ位置及其周囲ノ何町村名等ヲ詳記セル左ニ掲スル圖面ヲ添付スベシ



〔參照〕

逓信省令第三十四號特別電話規則（明治三十八年四月二十日）抄錄

第二條　加入者ハ一加入毎ニ電話線路トシテ相線式一回線ヲ設置シ且電話機一箇ヲ設備シ之カ保守其他必要ナル維持ヲナスベシ但局所ノ事務室内ニ置スル部分ハ此限リニアラス

設備維持ノ方法及費用ハ則チ加入者ニ命令ス

第三條　特殊ノ地域ニシテ逓信大臣特ニ其必要ヲ認メタルトキハ前條電話線路ヲ共線式トナスコトヲ得

第四條　特別ノ事由アルモノニシテ逓信大臣特ニ其必要ヲ認メタルトキハ同一ノ回線ニ依リ數個設備維持費ヲ分擔シ四加入以内ノ共同線加入ヲナスコトヲ得

第五條　電話加入ヲナサントスルモノハ一加入毎ニ別記様式ニヨリ其所管ス一等郵便局或（以下單ニ一等局或トスベシ）線ヲ逓信大臣ニ申請シ認可ヲ受クベシ

左記事項ニ變更又ハ廢止ヲナサントスルモノハ必要ノ事由ヲ申請書ニ記スベシ但第一號ノ場合ニ於テハ既ニ加入セルモノノ電話線ニ設加シ共同線加入ヲナサントスルモノハ其加入者ノ承諾書ヲ申請書ニ添付スベシ

一　共同線加入ヲナサントスルトキ

二　電話線路ヲ別線式トナサントスルトキ

三　電話機設置箇所ヲ變セントスルトキ

四　長距離電話ノ加入ヲナサントスルトキ

他人ノ所有ニ係ル家屋内ニ電話機ヲ設置セントスルモノハ其家屋所有者ノ承諾書ヲ申請書ニ添付スベシ

第六條　加入申請者ハ一加入毎ニ加入登記料ヲ又加入者ハ一加入毎ニ電話交換料ヲ納メベシ其料金左ノ如シ

一加入登記料　金五圓

一電話交換料　年額金二十四圓

毎年一定ノ時期ニ徴収ス

加入登記料ハ新規申請ノ際ニアリテハ前項ノ交換料一箇月金三圓トス

加入登記料ハ新規申請ノ際以外ニ於テ付スベシ加入ヲ認可セサルトキハ加入登記料ハ之ヲ還付ス

第十條　第九條第一項第二號第三號ノ場合ニ於テ加入者カ通話ヲ非タルトキハ電話交換料ノ外加入者ハ明治三十年勅令第三十二號ノ料金ヲ還付ス

第二十一條　本規則ニ依ル局所所在地及又ハ其隣近ニ明治三十年勅令第三十一號電話交換規則ニ依ル電話ノ開始シタルトキハ勅令ノ效力ヲ失フ其開始期日ハ三箇月前ニ通知スベシ

前項ノ場合ニ於テハ一般ノ電話交換ニ加入セントスルモノハ其通知ヲ受ケタル日ヨリ一箇月以内ニ加入ノ申込ヲナスベシ

第二十二條　明治三十年勅令第三十一號電話交換規則第三條第十二條乃至第十四條第二十六條第三十五條第三項第十條乃至第十四條第十六條第十九條第二十一條ノ規定ハ本規則ニ之ヲ準用スベシ

明治三十九年勅令第四十八號電話交換規則第十二條第一項第十三條乃至第十九條第二十一條ノ規定及明治三十三年勅令第三十一號電話交換規則第十二條第一項第十三條乃至第十九條第二十一條ノ規定ハ本規則ニ之ヲ準用スベシ

○逓信省令第三十一號

公衆電報ヲ取扱ハサル帝國軍用通信所ヨリ發スル電報ノ料金ハ陸海軍部内ノ逓信ヲ除ク外其ノ

配達局所ニ於テ受信人ヨリ之ヲ徵收ス但シ同文電報ノ料金ハ其ノ通數（原信ヲモ含ム）ヲ以テ料金總額ヲ除算シ其ノ得數ヲ各受信人ヨリ徵收スルモノトス

本令ハ明治三十九年七月十五日ヨリ施行ス

明治三十七年五月遞信省令第三十六號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

明治三十九年六月二十九日　　遞信大臣山縣伊三郎

○遞信省令第三十二號

明治三十二年六月遞信省令第二十六號中明治三十九年六月三十日限愛知縣知多郡坂井村長ヲ削除ス

同省令中左ノ通追加シ明治三十九年七月十六日ヨリ施行ス

明治三十九年六月二十九日　　遞信大臣山縣伊三郎

愛知縣　知多郡常滑町長　和歌山縣　東牟婁郡勝浦村長

石川縣　能美郡安宅町長　宮崎縣　兒湯郡美々津町長

廣島縣　御調郡三庄村長

○遞信省令第三十三號

帝國鐵道官署現金受拂規則左ノ通相定ム

明治三十九年六月三十日　　遞信大臣山縣伊三郎

帝國鐵道官署現金受拂規則

第一條　帝國鐵道官署ノ受拂ニ係ル資本勘定、收益勘定竝用品資金所屬歲入金、歲出金及歲入歲出外現金ハ帝國鐵道及同用品資金會計規則第五條第一項ニ依リ帝國鐵道官署ノ出納官吏交互振替及繰替計算ヲ以テ之カ受拂ヲ爲シ其ノ現金ハ一團トシテ之ヲ取扱フヘシ

第二條　資本勘定ニ對シ一般會計ヨリ資金ヲ支出スル場合ニ帝國鐵道及同用品資金會計規則第六條ニ依リ仕拂命令官ニ於テ帝國鐵道官署ノ出納官吏ヲ債主ト看做シ仕拂命令ヲ發シタルトキハ其ノ現金ハ當該出納官吏振替計算ヲ以テ直ニ之ヲ金庫ニ預託スヘシ

第三條　帝國鐵道事務ノ長官又ハ部局長自己在勤廳所在地外ニ在ル出納官吏ヲシテ其ノ出納官吏在勤地ニ在ル債主ニ對シ資本勘定、收益勘定又ハ用品資金所屬歲出金ノ繰替拂ヲ爲サシメムトスルトキハ第一號書式ノ歲出金繰替拂通知書ヲ發スヘシ

第四條　出納官吏資本勘定、收益勘定又ハ用品資金所屬歲出金ノ仕拂ヲ爲ス場合ニ於テ官吏遺族扶助法納金收入規則ニ依ル國庫納金又ハ明治三十四年六月勅令第百三十一號ニ依ル相殺金ノ差引ヲ要スルトキハ同規則又ハ勅令中現金前渡官吏ニ對スル規定ノ手續ニ依リ之ヲ處理スヘシ

第五條　出納官吏ノ取扱ニ係ル資本勘定、收益勘定竝用品資金所屬歲入金、歲出金及歲入歲出外現金ノ受拂上殘金ヲ生シタルトキハ分任出納官吏ハ之ヲ所屬主任出納官吏ニ回納シ主任出納官吏ハ之ヲ金庫ニ預託スヘシ

前項ノ受拂上現金ニ缺乏ヲ告クルトキハ之ヲ帝國鐵道事務ノ長官又ハ部局長ニ請求スヘシ

帝國鐵道事務ノ長官又ハ部局長前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ他ノ出納官吏ニ對シ現金ノ回送ヲ命シ又ハ他ノ出納官吏ヲ派出シテ直接債主ニ仕拂ヲ爲サシムヘシ

前各項ノ回金及其ノ請求ニ關スル手續ハ別ニ之ヲ定ム

第六條　出納官吏ハ毎日資本勘定、收益勘定竝用品資金所屬歲入金、歲出金及歲入歲出外現金ノ受拂高ヲ精算シ別ニ定ムル所ノ手續ニ依リ之ヲ帝國鐵道事務ノ長官又ハ部局長ニ報告スヘシ

第七條　帝國鐵道事務ノ長官又ハ部局長ハ帝國鐵道官署出納官吏ノ取扱ニ係ル資本勘定、收益勘

定並用品貨金所屬歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂高ヲ精算シ毎月一回又ハ收回各會計毎ニ歳入金及歳出金ノ受拂高ヲ取纏メ其ノ歳入金ノ受入高ニ對シテハ拂込額ヲ定メ歳出金ノ繰替拂高ニ對シテハ仕拂請求書又ハ集合仕拂請求書ヲ發シ其ノ集合仕拂請求書ニハ各債主ノ領收證書ヲ添附シ主任出納官吏ヲシテ金庫ニ對シ振替計算ヲ以テ之カ受拂ヲ爲サシムヘシ但シ此ノ場合ニ於テ發スル集合仕拂請求書ニハ各債主ノ金額氏名表ヲ添附スルヨトヲ要セス

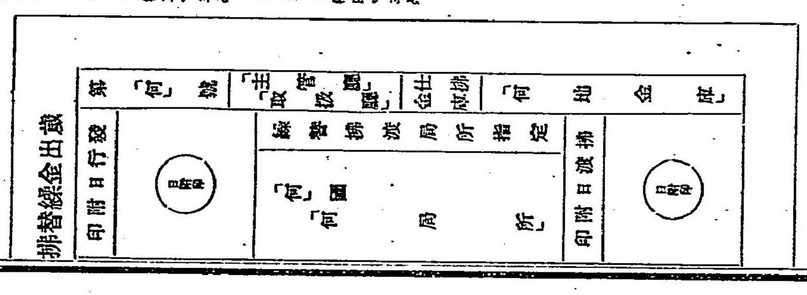
前項ノ場合ニ於テ要スル歳入金振替拂込書ハ第二號書式ニ依ル

第八條　帝國鐵道ノ資本勘定收金勘定並用品貨金所屬歳入金歳出金又ハ歳入歳出外現金ノ受拂ニ關シ特殊ノ事由アルモノニ對シテハ前各條ノ規定ヲ適用セス此ノ場合ニ於テハ總テ一般ノ規定ヲ準用ス

附則

本令ハ明治四十年度ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式　用紙寸法縦五四寸五分五厘　横四三寸三五分



書知通

明治「何」年度「收益勘定又ハ何々」歳出「仕拂請求書」「又ハ集合仕拂請求書」

第何號

一金「何程」

右金額指定ノ繰替拂渡局所ニ出頭シ現金ヲ受領セラルヘシ

「何局所長官氏名」㊞

「何ノ誰宛」

證收領

前記ノ金額領收候也

明治「何」年「何」月「何」日

印紙貼付スベカラズ㊞

受取人「何ノ誰」㊞

注意　受取人ハ裏面ノ注意事項ヲ熟讀スヘシ

（裏面）

注意事項

一　受取人ハ表面領收證ノ部ニ年月日ヲ記入シ署名捺印シ現金領收ノ證トシテ之ヲ指定ノ繰替拂渡局所ニ差出シ現金ノ拂渡ヲ受クヘシ

二　印紙ハ領收證書ニ押捺シタルモノト同一ノモノニ限ル

三　受領金額五圓以上ノモノニハ三錢收入印紙ヲ貼付シ消印スヘシ但廢業ニ關セサルモノハ此限ニアラス

第二號雛式　用紙通常三日ヤヤ三五ヨリ三枚接續

書込拂替振金入證

第「何」號

明治「何」年「何」度歳入

一金「何」圓

但「雜部保管金」「又ハ何々」ヨリ振替拂込ノ分

右拂込候也

明治「何」年「何」月「何」日

「何縣出納官吏」

「官氏名」印

所管廳

「何」廳

取扱廳

歳入徴收官

「官氏名」

書　收　領

第「何」號

明治「何」年「何」度歳入

一金「何」圓

但「雜部保管金」「又ハ何々」ヨリ振替拂込ノ分

右領收候也

明治「何」年「何」月「何」日

「何」地金庫

所管廳

納所

書込出納官吏

歳入徴收官

「官氏名」

書　知　通

第「何」號

明治「何」年「何」度歳入

一金「何」圓

但「雜部保管金」「又ハ何々」ヨリ振替拂込ノ分

右歳入徴收官ニ付通知候也

明治「何」年「何」月「何」日

「歳入徴收官官氏名宛」

「何」地金庫

所管廳

出納官吏

「官氏名」

取扱廳

「何」廳

○內務省令第二十一號

明治二十四年五月內務省令第五號日本藥局方左ノ通改正シ明治四十年一月一日ヨリ施行ス

但前日本藥局方所定ノ藥品ハ本方施行後ト雖明治四十年十二月三十一日マテハ本方ト共ニ仍ホ其效ヲ有ス其前日本藥局方ニ據ルモノハ「前日本藥局方」ノ六字ヲ明記スヘシ

明治三十九年七月二日

內務大臣原敬

第三改正日本藥局方

日本藥局方沿革略記

日本藥局方ノ制定ハ明治十三年十月衛生局長長與專齋ノ建議ニ基キ內務卿松方正義ノ太政官ニ具狀セルニ依ル其大要ニ曰ク第一本邦未タ藥方ノ律書アラス處方製劑ニ一定ノ標準ナク英局方ノ用量ニ從テ獨局方ノ製劑ヲ與フルカ如キ危險ノ誤謬ヲ生シ易シ第二製藥ヲナス者各國各異ノ藥局方ニ據リテ便宜製煉スルヨリ其名均クシテ其實同シカラス其性同シケレトモ其稱異ナル者市場ニ紛聚スルノ弊害ヲ續出セリ第三輸入藥品ノ檢査ニ際シ我ニ其良否ヲ判決スヘキ一定ノ憑據ナキヲ以テ各輸出國ノ局方ニ據リテ殊別ノ試驗ヲ要スルカ如キ當事者其煩雜ニ堪ヘス加之近今製藥業者我藥局方ノ制ナキニ乘シ外國局方中原質廉價ノ者ヲ撰ミテ調製ノ用ニ充テ名實紊亂射利相競フノ風日ヲ逐テ滋甚シトス而シテ此等ノ諸弊ヲ防遏スルノ途一ニ日本藥局方ノ制ヲ定ムルニ在ルノミ因テ之カ選定編纂ノ事ヲ舉テ中央衛生會ニ委任アランコトヲ請フト十一月太政官ヨリ中央衛生會ニ日本藥局方ノ選定ヲ委任シ十四年一月日本藥局方編纂總裁及委員ノ任命アリ總裁ハ元老院幹事細川潤次郎委員ハ陸軍軍醫總監松本順同軍醫監林紀海軍軍醫總監戸塚文海一等侍醫ドクトル池田謙齋內務省衛生局長長與專齋東京大學醫學部教授三宅秀海軍中醫監高木兼寛陸軍二等藥劑正兼二等軍醫正永松東海及柴田承桂竝東京司藥場教師和蘭人ドクトルユーキマン横濱司藥場教師和蘭人ドクトルゲールツ東京大學醫學部教師獨逸人ドクトルベルツ及ドクトルランガルト和蘭人ドクトルブッケマン」トス

十四年一月日本藥局方編纂委員會ヲ開始シ其第一會ニ於テ先ツ藥局方ノ體例及詳略ノ程度ヲ定ムルノ件及明治十年中内務省ヨリ司藥場教師ゲールツ及ドワルス」ニ囑シテ假ニ編述セル和蘭文及邦文藥局方稿本ヲ以テ原案ニ供スルノ件ヲ議決シタリ嗣後更ニ十年編述ノ舊稿ニ據ラス別ニ獨逸文ヲ以テ日本藥局方稿本ヲ起草スルコトニ決シ先ツ收載スヘキ藥品及附表ノ目ヲ定メ續キテ明治十五年已後ニ渉リ藥局方稿本ノ編纂及其成案ニ對スル審議ヲ進行セリ

明治十六年七月陸軍軍醫監兼藥劑監緒方維準日本藥局方編纂委員ヲ命セラレ十七年四月元老院幹事細川潤次郎日本藥局方編纂總裁ヲ解カレ内務大輔土方久元代リ命セラル九月東京大學醫學部教師獨逸人ドクトルスクリバ十月和蘭人ドクトルファンデル ヘーデン」ヲ委員トナス十八年七月參事院議官子爵土方久元日本藥局方編纂總裁ヲ解カレ内務大輔芳川顯正之ニ代レリ

明治十八年十月十三日日本藥局方全部竣成ス總裁之ヲ内務卿ニ具申シ十二月總裁委員盡ク其任ヲ解カル而シテ十九年六月二十五日内務省令ヲ以テ始メテ日本藥局方ヲ發布シ二十年七月一日ヨリ之ヲ施行セリ

此初度（第一版）日本藥局方ニ收載セル所ノ藥品ハ其數四百七十餘リニ製劑ノ通則、試藥、定規液及常貯藥已下ノ六表ヲ附シ又全部羅甸語ノ譯本ヲ作リテ内務省ヨリ發行セリ而シテ藥局方ノ基礎タリシ獨逸語稿本ノ起草ハ最初ゲールツ及ランガルトヒヲ分擔シ爾後エーキマン主トシテ之ヲ擔當セリ後明治二十三年ニ至リ内務省衛生局ハ「エーキマン」ノ起稿ニ係ル第一版日本藥局方註釋ヲ發行セリ又委員ノ外藥局方編纂ノ事ニ參與セシハ横濱司藥場長辻岡精輔東京大學醫學部助教授下山順一郎同丹波敬三同丹羽藤吉郎内務省御用掛林洞海内務一等技手大中太一郎トナス

明治二十一年四月第一版日本藥局方ヲ改正セシメンカ爲メ帝國大學醫科大學教授ドクトル長井長義同高橋順太郎同ドクトル丹波敬三同樫村清德内務三等技師辻岡精輔同四等技師田原良純同五等技師櫻井小平太内務一等技手島田耕一及柴田承桂ヲ日本藥局方編纂委員トナシ五月内務省衛生局長與專齋ヲ日本藥局方調査委員長、海軍軍醫大監賀吉安純ヲ同委員トナス

日本藥局方調査委員ハ先ツ當時ノ藥局方ニ追加スヘキ藥品ノ目ヲ議シ鹽酸古加乙涅及安知歇貌林ノ二品ヲ採リテ其稿案ヲ議定シ二十一年九月内務省令ヲ以テ之ヲ發布セリ爾後委員ハ改正スヘキ急要ノ廉ニ就テ調査セシニ其條項繁多ニシテ增刪却テ通覽ヲ案スノ不便アリ寧ロ全篇ヲ修正シ改正藥局方ヲ以テ現行藥局方ニ換代セシムルノ優レルコトヲ認メ速ニ改正ノ業ヲ竣成スヘキニ決セリ依テ二十一年九月ヨリ改正藥局方稿案ノ起草ニ著手シ二十三年十月ニ至ル迄逐次成案ニ就テ審議シ明治二十四年三月全部ノ改正稿案ヲ終結シテ之ヲ内務大臣ニ具申シ内務大臣ハ中央衛生會ニ諮詢シテ後同年五月内務省令ヲ以テ改正日本藥局方ヲ發布シ二十五年一月一日ヨリ之ヲ施行セリ

此改正ニ於テ新ニ收載セル藥品三十二、刪除セル者六十七其他爾藥局方ニ對シテ加除改訂セル件項無慮一千五百其羅甸藥名ハ盡ク獨墺ノ諸國ニ行ハルヽ者ニ改メ又生藥及製劑原料トシテ邦產ノ品種ヲ採擇スルノ方針ヲ取レリ此改正藥局方ニ就テモ亦羅甸譯本ヲ編成シ内務省ヨリ之ヲ發行セリ

改正（第二版）日本藥局方ノ發行セラレテヨリ殆ト十年醫藥二學ノ進歩ニ伴フヘキ再度ノ改正ヲ要スルノ機漸ク迫リ明治三十三年三月勅令第八十號ヲ以テ日本藥局方調査會官制ヲ發布セラレ四月會長、幹事及委員ノ任命アリ而シテ調査ノ結果ハ卽チ此再改正（第三版）日本藥局方トス調査事業ノ功程及會長、委員ノ氏名及異動ハ之ヲ緒言ニ掲ク

緒言

明治三十三年三月勅令第八十號ヲ以テ日本藥局方第三次改正ノ爲メニ日本藥局方調査會官制ヲ定メラレ尋テ會長、幹事、委員及主査委員ヲ任命セラレタリ同年五月委員ハ内務省ニ於テ初度ノ會議ヲ開キ調査ノ順序ヲ定メ毎週一回主査委員會毎月一回總會ヲ開キ且主査委員ヲシテ各擔當ノ科目ヲ分ツテ調査シ其成案ヲ總會ニ提出セシムルコトヲ決定セリ而シテ現行藥局方ニ於テハ其記載ノ藥品品目比較的少數ニシテ實際上不便尠カラサルヲ以テ其範圍ヲ擴張スルコトニ決セリ然レトモ如上

ノ大改正ハ長時日ヲ要スルヲ以テ全部ノ改正ニ先タチ新藥其他藥品ニシテ現今汎ク使用セラルヽモノ卽チ液食子酸外三十二品、次ニ消毒用石炭酸水外一品ヲ現行藥局方ニ追加スルコトニ決シ逐次其記載ノ稿本ヲ讀定ス卽チ明治三十三年十一月内務省令第四十八號、三十六年六月内務省令第八號是レナリ而シテ三十三年六月十三日ヨリ新ニ採用スヘキ藥品及現行藥局方中刪除スヘキ藥品ヲ査定シ三十四年九月二十五日ヨリ改正藥局方案ノ起草ニ著手シ又三十七年九月二十一日主査委員中特ニ編纂委員ヲ撰定セリ而シテ調査會開設後明治三十九年三月ニ至ル五箇年十一箇月ノ間總會ヲ開クコト七十回、主査委員會ヲ開クコト百十九回編纂會ヲ開クコト三十四回以テ全篇ノ改正ヲ終了シ之ヲ内務大臣ニ具申セリ此改正ニ於テ新ニ藥品ヲ收載セシモノ二百四十二品、刪除セシモノ二十二品、實驗及調査ニ由テ改正加除ヲナセシモノ無慮八百十五件其他字句文章ノ修正ハ各條殆ト皆之ヲ行ヘリ茲ニ全般ニ關スル改正ノ要目ヲ擧クレハ左ノ如シ

（一）汎ク使用スル藥品、消毒藥及消毒材料ハ務メテ之ヲ收載セリ

（二）新ニ收載セシモノ左ノ如シ

芳香酯　粗製木醋　海葱醋　アセチールサリチール酸　樟腦酸　流動石炭酸　稀青酸　粗製硝酸　油酸　ピクリン酸　ステアリン酸　トリクロール醋酸　安息香酸脂　無水ラノリン　醋酸エーテル　麻醉用エーテル　プロームエチール　アガリチン　乾燥卵白　タンニン酸　アルブミン　純アルコホル　硫酸アルミニウム　安息香酸アムモニウム　苦扁桃　アネトール　サリチール酸アンチピリン　苦扁桃水　アニース水　カールム水　クロヽフォルム水　クレゾール水　タール水　バクチ水　薔薇水　プロテイン銀　ヨード砒素　次炭酸蒼鉛　トリブロームム石炭酸蒼鉛　安息香酸ナトリウムカフェイン　サリチール酸ナトリウムカフェイン　硫化石灰　カラゲーン　カルウオン　白蠟　エチール炭酸キニーネ　重硫酸キニーネ　タンニン酸キニーネ　臙脂蟲　コンニアク　ヨードフォルムコロヂウム　膠質硬膏　コロフォニウム　枸櫞皮　フランゲラ皮　白瑞香皮　キラヤ皮　粗製クレゾール　調製白堊　彈力ゴム　ヂアスターゼ　ヂメチールアミドアンチピリン　カンタリス硬膏　水銀硬膏　複鉛硬膏　石鹼硬膏　アコニット越幾斯　カルドベネヂクト越幾斯　キナ流動越幾斯　華澄茄越幾斯　ゲンチアナ越幾斯　ハマメリス流動越幾斯　クワッシア越幾斯　ラタニア越幾斯　麥角流動越幾斯　稠厚牛膽　含糖炭酸鐵　含糖ヨード鐵　ローマカミルレ花　ラヘンデル花　錦葵花　玫瑰花　接骨木花　菩提樹花　ウェルバスクム花　アルテア葉　ベラドンナ葉　ブッコ葉　コカ葉　オイカリプツス葉　ファルファラ葉　ハマメリス葉　ヒヨス葉　メリッサ葉　バクチ葉　曼陀羅葉　睡菜葉　アニース實　未熟橙實　番椒　カールム實　杜松實　胡椒　ワニルラ　ガルバヌム　白阿膠　硼酸綿　石炭酸綿　昇汞綿　ヨードフォルム綿　サリチール酸綿　精製グッタペルカ　藤黃　苦艾　カルドベネヂクト草　ヘキサメチーレンアトラミン　ブローム水素酸ホマトロピン　水銀白堊　蒸汽製甘汞　油酸汞　クロールカリウム　ラクチールフェネチヂン　浮石　クロヽフォルム擦劑　ヨード砒素汞液　クレゾール石鹼液　蛋白鐵液　オキシクロール鐵液　醋酸カリウム液　ニトログリセリン液　重質煆製マグネシア　重質炭酸マグネシウム　薔薇蜜　鉛丹　サレップ漿　トラガカンタ漿　ナフタリン　乾燥炭酸ナトリウム　硝酸ナトリウム　スルフォ石炭酸ナトリウム　乾燥硫酸ナトリウム　ニトログリセリン　ベルガモット油　樟腦油　カンタリス油　クロヽフォルム油　大風子油　ヒヨス油　ラウリル脂　揮發肉豆蔻油　焦臭樹脂油　サビナ油　白樅油　チミアン油　醋蜜　海葱醋蜜　パンクレアチン　流動パラフィン　パラアルデヒード　硼酸錠　アンチピリン錠　次硝酸蒼鉛錠　鹽酸コカイン錠　昇汞錠　甘汞錠　薄荷錠　鹽酸モルヒネ錠　サリチール酸ナトリウム錠　阿片吐根錠　蘆薈阿魏丸　硫酸キニーネ丸　ブロード丸　クレオソート丸　樺木タール　杜松木タール　タンニン酸フェニールヂヒドロヒナツオリン　ピロガロール　精製タマリンド　複方甘草散　複方大黃散　サリチール滑石散　アコニット根　ゲルセミウム根　ゲンチアナ根　黃蜀葵根　イリス根　ラタニア根　セルペンタリア根　莪迷　ダムマル脂　サッカリン　溶性サッカリン　サンダラック　綠石鹼　ブローム水素

酸スコポラミン　トンコ豆　桂皮舍利別　サフラン舍利別　マンナ舍利別　薄荷舍利別　覆盆子舍利別　センナマンナ舍利別　硫酸スパルテイン　茶劑　緩下茶劑　和胸茶劑　迷迭香精　石鹼精　芥子精　精製流動蘇合香　坐劑　グリセリン坐劑　阿片坐劑　莨菪坐劑　滑石精製ガーゼ　硼酸ガーゼ　昇汞ガーゼ　ヨードフォルムガーゼ　サリチール酸ガーゼ　抱水テルピン　アコニット丁幾　複方醍醐丁幾　印度大麻丁幾　番椒丁幾　複方キナ丁幾　コロムボ丁幾　複方クロ、フォルムモルヒネ丁幾　ゲルゼミウム丁幾　複方ゲンチアナ丁幾　ラタニア丁幾　セルペンタリア丁幾　エーテル性纈草丁幾　硼酸軟膏　カンタリス軟膏　ヨードカリウム軟膏　パラフィン軟膏　木タール軟膏　葡萄酒　キナ酒　コンヂュランゴ酒　スルフォ石炭酸亞鉛　纈草酸亞鉛

（三）刪除セシモノ左ノ如シ

粗製鹽酸　格魯兒水　常水　硝石紙　規納乙賀涅　鹽酸聖古尼涅　古垤乙涅　亞麻仁粉　忽布腺　菲沃斯草　莨菪草　朱　醋酸加個謨　刺苦公葛個謨　莨菪擦劑　過酸化滿俺　炭酸鐵丸　橙花舍利別　篤留拔爾撒謨舍利別　亞兒尼加丁幾　白葡萄酒　設利酒

（四）藥品名稱ハ「ラテン名ヲ前ニセリ

（五）特許藥品ノ登錄名稱ハ化學名ニ改メタリ

（六）藥品名稱ノ音譯ハ丁幾、越幾斯舍利別ヲ除クノ外ハ片假名ニ改メタリ

（七）化學的集成ノ確定セル藥品ニハ其ラテン名ノ下ニ記號及分子量ヲ揭ケタリ

（八）原子量ハ萬國原子量委員ノ撰定セルモノニ據ル

（九）度量衡ノ記載ニハ「アラビア數字及略標ヲ附記セリ

（十）剉截及粉末ノ等差ヲ定メタリ

（十一）剉截藥品及粉末藥品ノ製造ニ使用スヘキ篩ノ種類ヲ定メタリ

（十二）藥品ノ定質試驗ニ使用スル試驗管ノ大サヲ定メタリ

（十三）熔融點檢定法ヲ定メタリ

（十四）寸幾劑ノ比重ヲ刪除セリ

日本藥局方調査會職員及其異動ハ左ノ如シ

職員

（明治三十九年三月三十一日現在）

會長　陸軍軍醫總監男爵　石黑　忠悳

幹事　內務省衛生局長　窪田靜太郎

委員　東京帝國大學醫科大學教授ドクトル理學博士藥學博士　長井　長義

同　東京帝國大學醫科大學教授醫學博士　高橋順太郎

同　東京帝國大學醫科大學教授ドクトル藥學博士　下山順一郎

同　東京帝國大學醫科大學教授ドクトル藥學博士　丹波　敬三

同　海軍軍醫總監　木村　壯介

同　衛生試驗所技師藥學博士　田原　良純

同　警視廳技師　池口　慶三

同　長崎醫學專門學校教授　島田　耕一

同　衛生試驗所技師　齊藤　寛猛

同　東京帝國大學醫科大學教授醫學博士　入澤　達吉

同　陸軍一等軍醫正　平井　政適

同　陸軍一等藥劑正　平山增之助

同　海軍藥劑中監　高橋　秀松

同　藥劑師長　山田　畫

主査委員　東京帝國大學醫科大學助教授藥學博士　丹羽藤吉郎

同　正六位　佐藤　佐

東京帝國大學醫科大學教授ドクトル理學博士藥學博士　長井　長義
東京帝國大學醫科大學教授醫學博士　高橋順太郎
東京帝國大學醫科大學教授ドクトル藥學博士　下山順一郎
東京帝國大學醫科大學教授ドクトル藥學博士　丹波　敬三
東京帝國大學醫科大學教授ドクトル藥學博士　木村　壯介
海軍軍醫總監　田原　良純
衛生試驗所技師藥學博士　池口　慶三
警視廳技師　島田　耕一
長崎醫學專門學校教授　平井　敬道
陸軍一等軍醫正　平山增之助
陸軍一等藥劑正

明治三十三年四月二十八日內務省衛生局長長谷川泰會長仰付ラル
同三十五年七月十六日內務省衛生局長長谷川泰依願會長ヲ免セラレ陸軍軍醫總監男爵石黑忠悳會長仰付ラル
同三十三年四月二十八日內務技師宮入慶之助幹事仰付ラル
同三十五年三月十四日內務技師宮入慶之助依願免官ニ依リ內務技師栗本庸勝幹事仰付ラル
同年十二月二十八日內務技師栗本庸勝警察醫長ニ轉任ニ依リ內務省參事官小原新三幹事仰付ラル
同三十六年四月十三日內務省參事官小原新三幹事ヲ免セラレ內務省衛生局長森田茂吉幹事仰付ラル
同年九月三日內務省衛生局長森田茂吉農商務省商工局長ニ轉任
同年九月十四日衛生局長窪田靜太郎幹事仰付ラル
同三十四年五月二日委員青山胤通依願免セラル
同三十五年七月八日委員樫村清德死去セリ
同三十六年十二月二十六日委員小池正直依願免セラル

同三十七年二月三日東京帝國大學醫科大學助教授丹羽藤吉郎委員仰付ラル
同年六月五日委員辻岡精輔卒去セリ
同年七月一日衛生試驗所技師齋藤寬猛委員仰付ラル

凡例

一藥品ノ順序ハ「ラテン名ノ「アルファベット」ニ從フ
一藥品各條ノ首ニハ「ラテン及日本名ヲ掲クルノ外通用ノ別名アルモノハ之ヲ附記ス
一藥品各條ノ記載ハ(一)製法(二)形狀(三)性質(四)實性反應(五)試驗(六)貯法ノ順序ニ據ル但此諸項中必要ナキモノハ之ヲ掲ケス
一生藥ニハ基本植物及動物ノ名稱ヲ掲ク
一製法ハ藥品ノ集成ヲ一定スルカ爲メ必要トスル場合ニ之ヲ掲ク
一藥品ノ純雜眞贋ハ形狀、性質、實性反應、試驗等ニ由テ判定ス
一重量、尺度及容量ハ「メートル系統ニ據リ一「グラム」ニハ(1 g)、一「センチメートル」ニハ(2 cm)三立方センチメートル」ニハ(3 ccm)ノ如キ數字及略標ヲ附記ス
一溫度ハ「セルシウス氏ノ度目ニ據リ十五度ヲ以テ定規溫度トス
一化學的集成ノ確定セル藥品ニハ「ラテン名ノ下ニ記號及分子量ヲ掲ク
一原子量ハ千八百九十八年萬國原子量委員ノ撰定セルモノニ據ル
一藥品各條ノ下若干分ト記スルハ總テ重量ヲ指ス
一溶液ノ比例ヲ掲ケテ(1:10)(1:20)等ト記スルモノハ溶液十分二十分等ノ中ニ藥品一分ヲ含ムノ記標ニシテ總テ大概ヲ指ス
一藥品各條ノ下性質、試驗ノ諸項ニ於テ單ニ水ト記スルモノハ總テ蒸餾水ヲ指ス
一藥品ノ定質試驗ハ特ニ記載スルモノヽ外其溶液約十立方センチメートル(10 ccm)ヲ取リ內徑約一・五センチメートル(1,5 cm)ノ試驗管中ニ於テ之ヲ行フ

一單ニ溶液ト稱シテ特ニ其溶解藥ヲ示サヽルモノハ總テ水溶液ヲ指ス

一冷浸ハ十五乃至二十五度ニ於テ行ヒ溫浸ハ三十五乃至四十五度ニ於テ行フ

一光ヲ遮リ貯フヘシト記載セル藥品ヲ硝子壜ニ容ルヽニハ黑色或ハ黃褐色ノモノヲ撰用ス

一生藥ハ特別ニ記載セル外總テ乾燥品ヲ供用ス但乾燥ハ四十度ニ超エサル溫ヲ以テ行フ

一藥局方ノ末尾ニハ試藥及定規液ヲ掲ケ定規液ノ各條ニハ各之ニ對應スル主要成分ノ量ヲ記ス

一峻烈ナル生藥及其製劑ニ於テハ成ル可ク主成分ノ試驗法ヲ記ス

一化學藥品ニハ成ル可ク化學名ヲ記ス

一熔融點ノ檢定ハ一端開放シ內徑一ミリメートル(1 mm)ヲ超エサル硝子毛細管ヲ以テ行フ檢體ハ豫メ微細ノ粉末トナシ除濕器內ニ於テ二十四時間以上乾燥シタル後毛細管ニ入レ二乃至三ミリメートル(2-3 mm)ノ層トナシ之ヲ驗溫器ニ連結シ內徑約三センチメートル(3 cm)ノ試驗管ニ盛リタル硫酸中ニ挿入シ屢〻攪拌シツヽ徐々ニ溫ヲ與ヘ檢體透明ニ熔融シテ一小滴トナル溫度ヲ以テ其熔融點トス

脂肪類竝之ニ類スル物質ノ熔融點ヲ檢定スルニハ兩端開放シ內徑一ミリメートル(1 mm)ヲ超エサル硝子毛細管ヲ以テ行フ此毛細管中ニ豫メ熔融セシメタル脂肪ヲ吸引シ約一センチメートル(1 cm)ノ層トナシ二十四時間低溫(約十度)ニ於テ放置シ全ク固結セシメタル後之ヲ驗溫器ニ連結シ內徑約三センチメートル(3 cm)ノ試驗管ニ盛リタル水中ニ挿入シ屢〻攪拌シツヽ徐々ニ溫ヲ與ヘ脂肪層透明ニ熔融シテ上昇スル溫度ヲ以テ其熔融點トス

一剉截及粉末藥品ヲ製スルニ使用スヘキ篩ハ左ノ六種トス

第一號　內徑四ミリメートル(4 mm)ノ篩眼ヲ有スルモノ

第二號　內徑三ミリメートル(3 mm)ノ篩眼ヲ有スルモノ

第三號　內徑二ミリメートル(2 mm)ノ篩眼ヲ有スルモノ

第四號　長サ一センチメートル(1 cm)ニ付キ十篩眼ヲ有スルモノ

第五號　長サ一センチメートル(1 cm)ニ付キ二十六篩眼ヲ有スルモノ

第六號　長サ一センチメートル(1 cm)ニ付キ四十篩眼ヲ有スルモノ

一藥品ノ剉截及粉末ノ等差ハ左ノ如シ

粗剉截藥　第一號篩ヲ以テ篩過シタルモノ

中剉截藥　第二號篩ヲ以テ篩過シタルモノ

細剉截藥　第三號篩ヲ以テ篩過シタルモノ

粗末藥　第四號篩ヲ以テ篩過シタルモノ

中末藥　第五號篩ヲ以テ篩過シタルモノ

細末藥　第六號篩ヲ以テ篩過シタルモノ

粗、中、細剉截藥及粗末藥ヲ製スルニ當リ第五號篩ヲ通過スル部分ヲ除去スヘシ

一藥局方ニハ左ノ諸表ヲ附ス

第一表　常ニ藥局ニ貯藏スルヲ要スル藥品ノ表

此種ノ藥品ハ各條藥名ノ上〇標ヲ附シテ之ヲ別ツ

第二表　他藥ト區別シ鎖閉スヘキ場所ニ貯フヘキ藥品所謂毒藥名表

此種ノ藥品ハ各條貯法ノ項ニ於テ「最モ注意シテ貯フヘシ」ト記ス

第三表　他藥ト區別シテ貯フヘキ藥品卽チ劇藥名表

此種ノ藥品ハ各條貯法ノ項ニ於テ「注意シテ貯フヘシ」ト記ス

第四表　大人ニ對スル藥品一回竝一日極量ノ表

醫師ハ其處方箋中藥品分量ノ下特ニ注意標(!)ヲ附スルニ非サレハ極量ヲ超エテ處方スルコトヲ得ス

第五表　重要ナル原素ノ記號及原子量表

一藥局方ノ卷尾ニハ法定藥品名對照表竝藥品ノ「ラテン」主名及別名ヲ「アルファベット」順ニ、日本主名及別名ヲ「イロハ」順ニ序列セル索引ヲ附ス

第三改正日本藥局方

○ Acetanilidum. *Antifebrinum.*

$C_8H_9NO = 135,13$

アセトアニリード　アンチフエブリン

アセトアニリード」ハ光輝アル無色無臭ノ葉狀結晶ニシテ味微ニ辛辣ナリ百十三乃至百十四度ニ於テ熔融シ二百三十分ノ水竝約二十二分ノ沸湯ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徵シ酒精、エーテル又クロロフオルムニ容易ニ溶解ス

本品ニ「カリ」鹵液ヲ加ヘテ熱スレハ芳香性ノ蒸氣ヲ發シ之ニ「クロロフオルム」二三滴ヲ點加シタル後更ニ熱スルトキハ「イソニトリール」ノ惡臭ヲ放ツ

本品〇・二グラム(0,2 g)ヲ鹽酸二立方センチメートル(2 ccm)ニ溶解シ一分時間煮沸シタル後石炭酸溶液四立方センチメートル(4 ccm)ヲ和シ「クロール石灰」溶液ヲ加フルニ汚紫藍色ヲ呈シ之ヲ「アムモニア」水ヲ以テ過飽スルニ永ク藍色ヲ呈ス

本品ノ冷飽和水溶液ハ稀薄ノ過クロール鐵溶液ニ由テ變化ス可カラス

本品〇・一グラム(0,1 g)ハ硫酸一立方センチメートル(1 ccm)ニ染色セスシテ溶解スヘシ又本品〇・二グラム(0,2 g)ヲ硝酸二立方センチメートル(2 ccm)ニ和シ振盪スルニ染色ス可カラス

本品〇・一グラム(0,1 g)ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

注意シテ貯フヘシ

Aetum aromaticum.

芳香醋

芳香醋ハ	一分 (1,0)
桂皮油	一分 (1,0)
杜松實油	一分 (1,0)
ラヘンデル油	一分 (1,0)
薄荷油	一分 (1,0)
迷迭香油	一分 (1,0)
枸櫞油	二分 (2,0)
丁香油	二分 (2,0)
酒精	四百四十一分 (441,0)
醋酸	五百四十二分 (542,0)
蒸餾水	二千八分 (2008,0)

ヲ取リ油類ヲ酒精ニ溶解シ尋テ醋酸及水ヲ加ヘ共溷濁セル混和液ヲ時々振盪シ八日間放置シタル後濾過シ製スヘシ

本品ハ無色澄明ノ液ニシテ水ニ隨意ノ比例ニ於テ混和ス

本品ノ氣味ハ芳香性ニシテ酸性ナリ

Acetum pyrolignosum crudum.

粗製木醋

粗製木醋ハ褐色ノ液ニシテ木タール及醋酸ニ類スル臭氣ヲ有シ味ハ酸性ニシテ稍〻苦ク永ク貯フレハ木タール樣ノ物質ヲ分離ス

本品ハ百分中六分以上ノ純醋酸($C_2H_4O_2 = 60,04$)ヲ含有ス

本品一容量ニ水一容量ヲ加ヘテ稀釋シ濾過シテ得タル液ハ黃色血滷鹽溶液ニ由テ淡藍色ヲ呈スルニ過ク可カラス又硝酸バリウム溶液竝硝酸銀溶液ヲ加フルニ蛋白石濁ヲ起スニ止マルヘシ又硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス

本品十立方センチメートル(10 ccm)ニ定規カリ液十立方センチメートル(10 ccm)ヲ加ヘタルモノハ「アルカリ」性反應ヲ徵ス可カラス

Acetum Scillae.
海葱醋

海葱醋ハ		
中剝截海葱		五十分 (50,0)
酒精		五十分 (50,0)
醋酸		七十五分 (75,0)
蒸餾水		三百七十五分 (375,0)

ヲ取リ酒精醋酸及水ヲ混和シ尋テ海葱ヲ加ヘ壜中ニ容レ密栓シ屢〻振盪シツヽ三日間冷浸シ輕ク壓濾シ更ニ二十四時間放置シタル後濾過シ製スヘシ

本品ハ類黃色澄明ノ液ナリ味ハ酸性ニシテ後ニ苦シ

本品十立方センチメートル(10 ccm)ヲ中和スルニハ定規カリ液八乃至八・五立方センチメートル(7–8,5 ccm)ヲ費サヽル可カラス

Acidum aceticum.
醋酸

醋酸ハ澄明無色揮發性ノ液ニシテ酸性ノ臭味ヲ有ス比重一・〇四八ナリ

本品ハ百分中三十六分ノ純醋酸($C_2H_4O_2$＝60,04)ヲ含有ス

本品一容量ニ水六容量ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ「ナトロン滷液ヲ以テ中和シタル後過クロール鐵溶液ニ由テ赤色ヲ呈ス

本品ハ「ナトロン滷液ヲ以テ中和スルニ焦臭ヲ放ツ可カラス又同容量ノ硫酸ヲ混和スルニ染色セス冷後之ニ半容量ノ硫酸鐵溶液ヲ加ヘテ二液層トナスニ其接界ニ於テ類褐色ノ輪帶ヲ生ス可カラス

本品一立方センチメートル(1 ccm)ニ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3 ccm)ヲ和スルニ一時間以內ニ暗色ヲ呈ス可カラス

本品一容量ニ水六容量ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ硝酸バリウム溶液、硝酸銀溶液、アムモニア水又硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス

本品十五立方センチメートル(15 ccm)ニ過マンガン酸カリウム溶液一立方センチメートル(1 ccm)ヲ和スルニ十分時間以內ニ其紅色ヲ消失ス可カラス

本品二立方センチメートル(2 ccm)ハ定規カリ液十二・六立方センチメートル(12,6 ccm)ヲ中和スヘシ

Acidum aceticum dilutum.
稀醋酸

稀醋酸ハ		
醋酸		十七分 (17,0)
蒸餾水		八十三分 (83,0)

ヲ取リ混和シ製スヘシ

本品ハ澄明無色ノ液ニシテ酸性ノ臭味ヲ有ス

本品ハ百分中六分ノ純醋酸($C_2H_4O_2$＝60,04)ヲ含有ス

本品ノ試驗ハ醋酸ノ條ニ揭クル所ニ準據スヘシ

本品十立方センチメートル(10 ccm)ハ定規カリ液十・一立方センチメートル(10,1 ccm)ヲ中和スヘシ

Acidum aceticum glaciale.
氷醋酸

$C_2H_4O_2$＝60,04

氷醋酸ハ澄明無色揮發性ノ液ニシテ刺スカ如キ酸臭及强キ酸味ヲ有シ寒冷ニ逢ヘハ凝結シテ結晶塊トナリ約十六度ニ於テ再ヒ熔融シ沸騰點百十七乃至百十八度ナリ水、酒精又「エーテル」ニ隨意ノ

比例ニ於テ混和ス比重約一・〇五六乃至一・〇六四ナリ
本品ハ百分中九十六分以上ノ純醋酸ヲ含有ス
本品一容量ニ水二十容量ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ「ナトロン」滷液ヲ以テ中和シタル後過クロール鐵溶液ニ由テ赤色ヲ呈ス
本品一容量ニ水二容量ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ「ナトロン」滷液ヲ以テ中和スルニ焦臭ヲ放ツ可カラス又同容量ノ硫酸ヲ混和スルニ染色セス冷後之ニ半容量ノ硫酸鐵溶液ヲ加ヘテ二液層トナスニ其接界ニ於テ類褐色ノ輪帶ヲ生ス可カラス
本品一容量ニ水二容量ヲ加ヘテ稀釋シタルモノ一立方センチメートル(1 ccm)ニ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3 ccm)ヲ和スルニ一時間以内ニ暗色ヲ呈ス可カラス
本品一容量ニ水二十容量ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ硝酸バリウム溶液、硝酸銀溶液、アムモニア水又硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス
本品五立方センチメートル(5 ccm)ニ水十五立方センチメートル(15 ccm)ヲ加ヘテ稀釋シタルモノニ過マンガン酸カリウム溶液一立方センチメートル(1 ccm)ヲ和スルニ十分時間以内ニ其紅色ヲ消失ス可カラス
本品一分及水九分ノ混液五立方センチメートル(5 ccm)ハ少ナクモ八・一立方センチメートル(8,1 ccm)ノ定規カリ液ヲ中和スヘシ
壜中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ貯フヘシ

○ Acidum acetsalicylicum.

$C_9H_8O_4 = 180,08$

アセチールサリチール酸

アセチールサリチール酸ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ殆ト臭氣ナク水ニ僅微ニ、熱湯、酒精又エーテル」ニ容易ニ溶解シ百三十五度ニ於テ熔融ス
本品〇・五グラム(0,5 g)ニ「ナトロン」滷液十立方センチメートル(10 ccm)ヲ和シ二三分時間煮沸シ冷後其澄明液ニ過剩ノ稀硫酸ヲ加フレハ白色ノ沈澱ヲ生シ其沈澱ハ「エーテル」ニ全ク溶解シ又過クロール鐵溶液ニ由テ紫色ヲ呈ス又白色ノ沈澱ヲ濾過シテ得タル液ニ酒精ヲ加ヘテ煮沸スレハ醋酸「エーテル」ノ香氣ヲ發ス
本品ハ硫酸ニ染色セスシテ溶解スヘシ
本品〇・一グラム(0,1 g)ヲ酒精五立方センチメートル(5 ccm)ニ溶解シ之ニ水二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ過クロール鐵溶液一滴ニ由テ僅微ノ紫色ヲ呈スルニ過ク可カラス
本品ヲ熱スルニ固性物ヲ殘留セスシテ燃化スヘシ

○ Acidum arsenicosum.

$As_2O_3 = 198$

亞砒酸

亞砒酸ハ白色瓷質塊或ハ硝子樣ノ塊片或ハ白色ノ粉末ニシテ臭味ナク十五分ノ沸湯ニ徐々ニ全ク溶解ス試驗管内ニ於テ注意シテ熱スレハ硝子樣ノ光澤ヲ有スル八面體或ハ四面體ノ結晶ヲ昇華シ木炭上ニ熱スレハ蒜臭ヲ放テ揮散ス
本品ノ水溶液ニ鹽酸ヲ和シタルモノハ硫化水素水ニ由テ「アムモニア」水ニ溶解スヘキ黃色ノ沈澱ヲ生ス
本品ハ百分中九十九分以上ノ純亞砒酸ヲ含有ス
本品一分ハ十分ノ「アムモニア」水ニ澄明ニ溶解スヘシ此溶液ニ十分ノ水ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ過剩ノ鹽酸ニ由テ黃色ヲ呈ス可カラス
本品ヲ硝子管内ニ熱スレハ全ク昇華シテ固性物ヲ殘留ス可カラス或ハ之アルモ僅微ニ止マルヘシ
本品〇・五グラム(0,5 g)ヲ重炭酸ナトリウム三グラム(3 g)ト共ニ沸湯中ニ溶解シ冷後水ヲ加ヘテ百立方センチメートル(100 ccm)トナシ其十立方センチメートル(10 ccm)ハ十分定規ヨード液少ナク

モ十立方センチメートル(10 ccm)ヲ脫色スヘシ
最モ注意シテ貯フヘシ

Acidum benzoicum.
$C_7H_6O_2 = 122,06$

安息香酸

安息香酸ハ白色或ハ類黃色ノ小葉狀結晶若クハ鍼狀結晶ニシテ熱スレハ昇華シ熔融點ハ約百二十度ナリ酒精、エーテル、クロヽフォルム又ナトロン鹵液ニ溶解シ水ニ僅少ニ、沸湯ニ多量ニ溶解ス
本品ノ水溶液ハ過クロール鐵溶液ニ由テ類黃色ノ沈澱ヲ生ス
本品ハ尿臭ヲ放ツ可カラス又之ヲ熱スルニ全ク揮散シテ固性物ヲ殘留ス可カラス
本品及過マンガン酸カリウム各一分ヲ十分ノ水ト共ニ試驗管中ニ容レ寬ク栓塞シテ一二時間微溫ヲ與ヘ冷後之ヲ開クニ揮發苦扁桃油ニ類スル香氣ヲ放ツ可カラス
本品〇・二グラム(0,2 g)ニ炭酸カルチウム〇・二グラム(0,3 g)及少許ノ水ヲ加ヘテ泥和シ乾涸シ熾灼シ其殘留物ヲ硝酸ニ溶解シ之ニ水ヲ加ヘテ十立方センチメートル(10 ccm)トナシタルモノハ硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

○ Acidum boricum.
$H_3BO_3 = 62,03$

硼酸

硼酸ハ眞珠樣ノ光澤ヲ有スル無色ノ小葉狀結晶ニシテ二十五分ノ水ニ徐々ニ、三分ノ沸湯竝十五分ノ酒精ニ容易ニ溶解シ又グリセリンニ溶解ス熱スレハ熔融シ次ニ膨起シ冷後固結シテ透映無色硝子樣ノ物質ニ變ス
本品ノ水溶液ニ鹽酸二三滴ヲ和シタルモノハ黃色試驗紙ヲ赤褐色ニ染ム此試驗紙ヲ乾燥スレハ其色益〻著明トナリ更ニ少量ノアムモニア水ヲ注ケハ終黑色ニ變ス又本品一分ヲ酒精十五分ニ溶解シタルモノハ之ニ點火スレハ綠色ノ火焰ヲ放テ燃燒ス
本品ノ水溶液(1:50)ハ硫化水素水竝硫化アムモニウムニ由テ染色セス硝酸バリウム溶液、硝酸銀溶液又蓚酸アムモニウム溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス又アムモニア水ヲ加ヘタル後蓚酸ナトリウム溶液ヲ加フルニ變化ス可カラス又其五十立方センチメートル(50 ccm)ニ鹽酸ヲ加ヘタルモノハ黃色血滴鹽溶液〇・五立方センチメートル(0,5 ccm)ニ由テ直チニ藍色ヲ呈ス可カラス

Acidum camphoricum.
$C_{10}H_{16}O_4 = 200,16$

樟腦酸

樟腦酸ハ無色無臭ノ小葉狀結晶ニシテ約百五十分ノ水竝八分ノ沸湯ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ微シ酒精竝エーテル」ニ溶ケ易ク「クロヽフォルム」ニ較〻溶ケ難シ百八十六度ニ於テ熔融ス
本品ノ冷飽和水溶液ハ硝酸銀溶液竝硝酸バリウム溶液ニ由テ變化ス可カラス又本品ノ水溶液二立方センチメートル(2 ccm)ニ硫酸二立方センチメートル(2 ccm)ヲ混和シ冷後注意シテ硫酸鐵溶液一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加ヘテ二液層トナスニ其接界ニ於テ類褐色ノ輪帶ヲ生ス可カラス
本品ヲ熱スレハ刺戟性ノ臭氣ヲ有スル白色ノ蒸氣ヲ放テ全ク揮散スヘシ
本品ノ乾燥セルモノ一グラム(1 g)ヲ中和スルニハ定規カリ液十立方センチメートル(10 ccm)ヲ費スヘシ

○ Acidum carbolicum.
$C_6H_6O = 94,06$

石炭酸

石炭酸ハ無色長キ尖銳ノ結晶或ハ白色結晶性ノ塊ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ重湯煎上ニ於テ全ク揮散シ四十乃至四十二度ニ於テ熔融シ強ク光線ヲ屈曲スル液トナリ百七十八乃至百八十二度ニ於テ沸騰ス熱スレハ白色ノ火焰ヲ放テ燃化シ十五分ノ水ニ溶解シテ澄明中性ノ液トナル酒精、エーテル、

クロ、フォルム、グリセリン、硫化炭素又ナトロン溷液ニ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ溶解ス

本品二十分及酒精十分ノ溶液ハ過クロール鐵溶液五分ニ由テ汚綠色ヲ呈シ水ヲ以テ之ヲ稀釋シ千分トナスニ稍〻持續スル美麗ナル紫色ニ變ス又本品一分及水五万分ノ溶液ハ尙ブロームニ由テ白色絮狀ノ沈澱ヲ生ス

本品ハ焦臭若クハ不快ノ臭氣ヲ有ス可カラス又本品ヲ燃化スルニ固性物ヲ殘留ス可カラス

本品十分ニ水一分ヲ混和スレハ澄明ノ液トナリ更ニ多量ノ水ヲ加フレハ溷濁シ二百分ニ至レハ全ク溶解シテ復タ澄明ノ液トナルヘシ

注意シテ貯フヘシ

Acidum carbolicum crudum.

粗製石炭酸

粗製石炭酸ハ紅色或ハ赤褐色或ハ暗赤褐色ノ結晶ニシテ多クハ焦臭ヲ有シ水ニ充分ニ溶解セス酒精竝エーテル」ニ溶解シ「ナトロン溷液ニ溷濁シテ溶解ス

本品ノ水溶液ハ過クロール鐵溶液ニ由テ紫色ヲ呈シ「ブロームニ由テ白色絮狀ノ沈澱ヲ生ス

本品ヲ燃化スルニ固性物ヲ殘留スルコトアルモ僅微ニ過ク可カラス

注意シテ貯フヘシ

Acidum carbolicum liquefactum.

流動石炭酸

流動石炭酸ハ

石炭酸　百分(100,0)

ヲ取リ微溫ヲ與ヘテ熔融セシメ之ニ

蒸餾水　十分(10,0)

ヲ混和シ製スヘシ

本品ハ無色澄明石炭酸ノ臭氣ヲ有スル液ニシテ比重一・〇六八乃至一・〇六九ナリ

本品十立方センチメートル(10 ccm)ニ十五度ニ於テ水二・三立方センチメートル(2,3 ccm)ヲ加フルモ溷濁セス更ニ水八乃至十滴ヲ加フレハ溷濁スヘシ又其溷濁液ニ百三十五乃至百四十立方センチメートル(135-140 ccm)ノ水ヲ加フルニ再ヒ澄明液トナラサル可カラス

注意シテ貯フヘシ

Acidum chromicum.

$CrO_3 = 100,5$

クローム酸

クローム酸ハ暗褐赤色鋼樣ノ光澤アル結晶ニシテ氣中ニ於テ潮解シ水ニ溶解シ易シ酒精其他酸化シ易キ物質ニ混和スレハ爆發シ又ハ火ヲ發スルコトアリ

本品ヲ熱スレハ熔融シテ酸素ヲ發シ暗綠色ニ變ス又鹽酸ヲ和シテ熱スレハ「クロール」ヲ發ス

本品ノ水溶液(1:100)ニ鹽酸ヲ和シタルモノハ硝酸バリウム溶液ニ由テ僅微ノ溷濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品〇・二グラム(0,2 g)ヲ熾灼シテ得タル殘留物ハ水ニ溶解スヘキ物質ヲ含有ス可カラス

注意シテ貯フヘシ

Acidum citricum.

$C_6H_8O_7 + H_2O = 210,1$

枸櫞酸

枸櫞酸ハ透映無色ノ結晶ニシテ氣中ニ於テ變化セス微溫ニ於テ風化シ熱灼スレハ熔融シ次ニ炭化ス〇・五四分ノ水、一分ノ酒精又約五十分ノ「エーテル」ニ溶解ス

本品ノ水溶液(1:10)一立方センチメートル(1 ccm)ニ石灰水四十乃至五十立方センチメートル(40-50 ccm)ヲ加フルニ澄明ヲ失セス一分時間煮沸スレハ白色絮狀ノ沈澱ヲ生シ冷後三時間以内ニ

其白沫復タ全ク溶消ス

本品一グラム(1 gr)ヲ硫酸十立方センチメートル(10 ccm)ニ和シ重湯煎上ニ一時間之ヲ温ムルニ黄色ヲ呈スルニ止マリ褐色ヲ呈ス可カラス

本品ノ水溶液(1:10)ハ硝酸バリウム溶液或蓚酸アムモニウム溶液ニ由テ僅微ノ蛋白石澁ヲ起スニ過ク可カラス

本品五グラム(5 gr)ヲ水十立方センチメートル(10 ccm)ニ溶解シ之ニ「アムモニア水ヲ加ヘテ殆ト中和シタル後硫化水素水ヲ和スルニ變化ス可カラス

本品〇・五グラム(0,5 gr)ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

Acidum gallicum.

$C_7H_6O_5 + H_2O = 188,08$

沒食子酸

沒食子酸ハ絹絲様ノ光澤アル白色或ハ帶褐白色ノ鍼狀結晶ニシテ臭氣ナク味澁ク微ニ酸味ヲ帶フ百分ノ水或三分ノ沸湯ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ徵シ五分ノ酒精五十分ノ「エーテル又十二分ノ「グリセリン」ニ溶解ス

本品ノ水溶液ハ硝酸銀ヲ還元シ稀薄ノ過クロール鐵溶液ニ由テ藍黑色ノ沈澱ヲ生ス

本品ノ水溶液(1:100)ハ硝酸バリウム溶液膠溶液又蛋白溶液ニ由テ沈澱ヲ生ス可カラス

本品ヲ百度ニ於テ乾燥シ恆量ヲ得ルニ至ルニ其減失百分ニ付キ十分ニ過ク可カラス

本品〇・二グラム(0,2 gr)ヲ熱灼スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留セスシテ燃化スヘシ

壜中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ貯フヘシ

Acidum hydrochloricum.

鹽酸

鹽酸ハ澄明無色ノ液ニシテ氣中ニ於テ白霧ヲ放チ熱ニ逢ウテ全ク揮散ス比重一・一五二ナリ

本品ハ百分中三十分ノ「クロール水素(HCl = 36,46)ヲ含有ス

本品ハ硝酸銀溶液ニ由テ「アムモニア水ニ全溶スヘキ白色粒酪様ノ沈澱ヲ生ス又本品ヲ褐石ト共ニ温ムレハ「クロール」ヲ發生ス

本品一立方センチメートル(1 ccm)及亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3 ccm)ノ混和液ハ一時間以内ニ暗色ヲ呈ス可カラス

本品一容量ニ六容量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シ「アムモニア水ヲ以テ殆ト中和シタルモノハ「ヨード亞鉛澱粉溶液ニ由テ直チニ藍色ヲ呈セス又硫化水素水ニ由テ變化セス又硝酸バリウム溶液ニ由テ五分時間以内ニ變化ス可カラス「ヨード溶液ヲ加ヘテ淡黃色トナルタル後モ亦然リ

本品一容量ニ十二容量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シタルモノ十立方センチメートル(10 ccm)ハ黃色血滷鹽溶液〇・五立方センチメートル(0,5 ccm)ニ由テ直チニ藍色ヲ呈ス可カラス

本品三立方センチメートル(3 ccm)ハ定規カリ液二十八・四立方センチメートル(28,4 ccm)ヲ中和スヘシ

壜中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ注意シテ貯フヘシ

○ Acidum hydrochloricum dilutum.

稀鹽酸

稀鹽酸ハ

鹽酸	一分 (1,0)
蒸餾水	二分 (2,0)

ヲ取リ混和シ製スヘシ

本品ハ澄明無色ノ液ニシテ比重約一・〇五ナリ

本品ハ百分中約十分ノ「クロール水素(HCl = 36,46)ヲ含有ス

本品ノ試驗ハ鹽酸ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

壺中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ貯フヘシ

Acidum hydrocyanicum dilutum.
稀青酸

稀青酸ハ苦扁桃樣ノ香氣ヲ有スル無色澄明揮發性ノ液ニシテ弱酸性ノ反應ヲ徵ス比重〇・九九七ナリ

本品ハ百分中二分ノ「チアン水素(HCN＝27,05)ヲ含有ス

本品ハ「ナトロン鹵液ヲ以テ過飽シ硫酸鐵溶液及二三滴ノ過クロール鐵溶液ヲ和シタル後過剩ノ鹽酸ヲ加フレハ暗藍色ヲ呈ス

本品ニ硝酸銀溶液ヲ和シテ生シタル沈澱ハ其上澄液ヲ充分ニ除去シタル後硫酸、水各同容量ヨリ成レル混液ト共ニ煮沸スレハ全ク溶解スヘシ又本品ニ硝酸一二滴ヲ加ヘタルモノハ硝酸バリウム溶液ニ由テ僅微ノ混濁ヲ起スニ過ク可カラス又本品五立方センチメートル(5 ccm)ヲ蒸發スルニ固性物ヲ殘留ス可カラス

本品五立方センチメートル(5 ccm)ニ水九十立方センチメートル(90 ccm)ヲ加ヘテ稀釋シ「カリ鹵液二立方センチメートル(2 ccm)ヲ和シ攪拌シツヽ之ニ十分定規硝酸銀液ヲ滴下シテ復タ消失セサル類白色ノ混濁ヲ生スルニ至ルニハ十分定規硝酸銀液十八・五立方センチメートル(18,5 ccm)ヲ費サヽル可カラス

光ヲ遮リ最モ注意シテ貯フヘシ

Acidum lacticum.
乳酸

乳酸ハ無色澄明或ハ極メテ微ニ類黃色ヲ帶フル舍利別稠ノ液ニシテ臭氣ナク純酸味ヲ有シ水、酒精又エーテル」ニ隨意ノ比例ニ於テ混和ス比重一・二一乃至一・二二ナリ

本品ハ百分中約七十五分ノ純乳酸($C_3H_6O_3$＝90,06)ヲ含有ス

本品ハ過マンガン酸カリウム溶液ト共ニ溫ムレハ「アルデヒード」ノ臭氣ヲ放ツ又本品ハ強ク熱スレハ炭化シ光輝アル火焰ヲ放テ燃燒ス

本品ヲ溫ムルニ脂肪酸ニ類スル臭氣ヲ發ス可カラス又同容量ノ硫酸上ニ層積スルニ十五分時間以內ニ其硫酸染色ス可カラス

本品一分ニ九分ノ水ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ硫化水素水、硝酸バリウム溶液、硝酸銀溶液又蓚酸アムモニウム溶液ニ由テ變化セス又石灰水ノ過剩ヲ和スルニ變化ス可カラス熱スルモ亦然リ

本品一立方センチメートル(1 ccm)ヲ「エーテル二立方センチメートル(2 ccm)ニ滴加スルニ混濁ス可カラス

本品〇・五グラム(0,5 g)ヲ燃化スルニ固性物ヲ殘留ス可カラス

Acidum nitricum.
硝酸

硝酸ハ澄明無色ノ液ニシテ熱スレハ全ク揮散ス比重一・一五三ナリ

本品ニ銅屑ヲ投シ溫ムレハ黃赤色ノ蒸氣ヲ發シテ溶解シ其液ハ藍色ヲ呈ス

本品ハ百分中二十五分ノ純硝酸(HNO_3＝63,05)ヲ含有ス

本品一分ニ水五分ヲ加ヘ「アムモニア水ヲ以テ殆ト中和シタルモノハ硫化水素水ニ由テ變化セス硝酸バリウム溶液ヲ加ヘテ五分時間ヲ經ルモ微ニ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品一分ニ水五分ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ硝酸銀溶液ニ由テ變化ス可カラス

本品一分ニ水二分ヲ加ヘテ稀釋シタルモノニ純亞鉛少許ヲ加ヘタル後少量ノ「クロヽフォルム」ヲ和シテ振盪スルニ之ヲ紫色ニ染ム可カラス

本品一分ニ水九分ヲ加ヘテ稀釋シタルモノ十立方センチメートル(10 ccm)ハ黃色血鹵鹽溶液〇・五立方センチメートル(0,5 ccm)ニ由テ直チニ藍色ヲ呈ス可カラス

本品五立方センチメートル(5 ccm)ハ定規カリ液二十二・九立方センチメートル(22,9 ccm)ヲ中和スヘシ

壜中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ注意シテ貯フヘシ

Acidum nitricum crudum.

粗製硝酸

粗製硝酸ハ澄明無色或ハ淡黃色ノ液ニシテ氣中ニ於テ赤霧ヲ發シ熱スレハ殘渣ヲ遺サスシテ蒸散スル比重一・三八乃至一・四〇ナリ

本品ハ百分中六十一分以上ノ純硝酸(HNO_3 = 63,05)ヲ含有ス

注意。シテ貯フヘシ

Acidum nitricum dilutum.

稀硝酸

稀硝酸ハ

硝酸	十分 (10,0)
蒸餾水	十五分 (15,0)

ヲ取リ混和シ製スヘシ

本品ハ澄明無色ノ液ニシテ比重一・〇五六ナリ

本品ノ試驗ハ硝酸ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

本品ハ百分中十分ノ純硝酸(HNO_3 = 63,05)ヲ含有ス

本品十立方センチメートル(10 ccm)ハ定規カリ液十六・八立方センチメートル(16,8 ccm)ヲ中和スヘシ

壜中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ貯フヘシ

Acidum nitricum fumans.

發烟硝酸

發烟硝酸ハ澄明赤褐色ノ液ニシテ氣中ニ於テ窒息性ノ黃赤色蒸氣ヲ放チ熱スレハ全ク揮散ス比重一・四八六乃至一・五〇〇ナリ

本品ハ百分中約八十六分ノ純硝酸(HNO_3 = 63,05)ヲ含有ス

壜中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ注意シテ冷處ニ貯フヘシ

Acidum oleinicum.

$C_{18}H_{34}O_2$ = 282,34

油酸

油酸ハ淡黃色或ハ帶褐黃色油狀ノ液ニシテ豚脂ニ類スル特異ノ臭味ヲ有シ氣中ニ於テ酸素ヲ吸收シ漸次暗色ニ變ス比重約〇・九ナリ水ニ溶解セス酒精ニ溶解シ弱酸性ノ反應ヲ做シ「エーテル」クロロフォルム」脂肪油及揮發油ニ溶解ス約四度ニ冷却スレハ半流動體トナリ更ニ冷却スレハ遂ニ凝結シテ白色ノ固塊トナル

本品ヲ約九十五度ニ熱スレハ刺戟性ノ蒸氣ヲ發シ更ニ高度ノ熱ニ達ヘハ遂ニ全ク分解ス

本品及酒精等分ヲ混和スルニ澄明ノ液ヲ生シ其上面ニ油滴ヲ析出ス可カラス

本品一グラム(1 gr)ニ酒精二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ加ヘテ熱シタルモノニ「アニリンレイン」溶液二滴ヲ點加シ次ニ濃厚ノ「ナトロン」溶液(1 : 4)ヲ滴加シテ持續スル紅色ヲ呈シ油酸ノ全ク鹼化スルニ至リ之ニ醋酸ヲ加ヘテ紅色ノ褪消スルヲ度トシ濾過シテ得タル澄明ノ液十立方センチメートル(10 ccm)ニ「エーテル」十立方センチメートル(10 ccm)及醋酸鉛溶液一立方センチメートル(1 ccm)ヲ混和スルニ渾濁スルコトアルモ僅微ニ過ク可カラス

Acidum phosphoricum.

燐酸

燐酸ハ澄明無色無臭ノ液ニシテ比重一・一一ナリ

本品ハ百分中二十分ノ純燐酸(H_3PO_4 = 98,03)ヲ含有ス

本品ハ炭酸ナトリウム溶液ヲ以テ中和シタル後硝酸銀溶液ニ由テ硝酸並アムモニア水ニ溶解スヘ

キ黄色ノ沈澱ヲ生ス

本品一立方センチメートル(1 ccm)及亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3 ccm)ノ混和液ハ一時間以内ニ暗色ヲ呈ス可カラス

本品ニ硝酸銀溶液ヲ加フルニ變化ス可カラス之ヲ溫ムルモ亦然リ又本品ニ硫化水素水ヲ和スルニ變色セス

本品一容量ニ三容量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ硝酸バリウム溶液ニ由テ混濁ス可カラス又過剩ノ「アムモニア水ニ由テ又アムモニア水ヲ以テ過飽シタル後蓚酸アムモニウム溶液ニ由テ變化ス可カラス

本品一容量ニ四容量ノ酒精ヲ混和スルニ澄明ヲ失フ可カラス

本品二立方センチメートル(2 ccm)ニ硫酸二立方センチメートル(2 ccm)ヲ混和シ冷後硫酸鐵溶液一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加ヘテ二液層トナスニ其接界ニ於テ類褐色ノ輪帶ヲ生ス可カラス

壜中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ貯フヘシ

Acidum phosphoricum dilutum.
稀燐酸

稀燐酸ハ
燐酸　一分(1,0)
蒸餾水　一分(1,0)
ヲ取リ混和シ製スヘシ

本品ハ澄明無色ノ液ニシテ比重一・〇五七ナリ

本品ハ百分中十分ノ純燐酸(H_3PO_4＝98,03)ヲ含有ス

本品ノ試驗ハ燐酸ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

壜中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ貯フヘシ

Acidum picrinicum.
$C_6H_3N_3O_7$＝229,15
ピクリン酸

ピクリン酸ハ光澤アル黄色ノ小葉狀或ハ鍼狀結晶ニシテ味甚タ苦ク八十六分ノ水ニ溶解シテ鮮黄色ヲ呈シ酸性ノ反應ヲ微シ熱湯、酒精又エーテル」ニ較ベ溶解シ易シ百二十二・五度ニ於テ熔融シ尙强ク熱スレハ爆噴シテ燃化ス

本品ノ酒精溶液ハ白色ノ羊毛若クハ絹絲ヲ鮮黄色ニ染ム又本品ノ溫溶液(1:10)ニ「チアンカリウム溶液(1:2)ヲ加フレハ暗赤色ヲ呈ス

本品ヲ石油ベンチン」ニ溶解スルニ殆ト無色ノ澄明溶液ヲ生スヘシ

本品ヲ注意シテ熱スルニ固性物ヲ殘留セスシテ燃化スヘシ

注意シテ貯フヘシ

○ Acidum salicylicum.
$C_7H_6O_3$＝138,06
サリチール酸

サリチール酸ハ白色鍼狀ノ結晶或ハ白色輕鬆ノ結晶粉ヲナシ臭氣ナク味甘酸ニシテ稍〻苦辣ナリ約百五十七度ニ於テ熔融シ約五百分ノ水竝十五分ノ沸湯ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ微シ熱クロ、フォルム、酒精又エーテル」ニ容易ニ溶解ス

本品ノ水溶液ハ過クロール鐵溶液ニ由テ持續スル藍紫色ヲ現ハシ甚シク稀釋スルトキハ紫紅色ヲ呈ス

本品一分ニ六分ノ硫酸ヲ和スルニ殆ト染色セスシテ溶解スヘシ

本品〇・五グラム(0,5 g)ハ常溫ニ於テ炭酸ナトリウム溶液(1:10)十立方センチメートル(10 ccm)ニ澄明ニ溶解スヘシ此溶液ニ「エーテル」ヲ和シテ振盪シタル後其エーテル液ヲ揮散セシムルニ殘留物

アルモ僅微ニ過キス其殘留物ハ石炭酸ノ臭氣ヲ有ス可カラス又本品一分ヲ九分ノ酒精ニ溶解シタルモノハ常溫ニ於テ酒精分ヲ揮散セシムルニ純白色ノ殘留物ヲ遺サヽル可カラス又少量ノ硝酸ヲ加ヘタル後硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品〇・五グラム(0,5 g)ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

Acidum stearicum.

$C_{18}H_{36}O_2 = 284,36$

ステアリン酸

ステアリン酸ハ白色脂肪樣ノ感覺アル固塊ニシテ破折面ハ顆粒狀ノ結晶性ヲ現ハシ臭味ナク水ニ溶解セス沸騰酒精並エーテル」ニ溶解ス熔融點六十乃至六十五度ナリ

本品ヲ沸騰酒精ニ溶解シ苛性ナトロン」ヲ以テ中和シ蒸發スルニ其殘留物ハ石油ベンチン」ニ溶解セス或ハ溶解スルモノアルモ痕跡ニ過ク可カラス

本品一グラム(1 g)ヲ炭酸ナトリウム一グラム(1 g)及水三十立方センチメートル(30 ccm)ト共ニ潤大ナル硝子壜中ニ於テ煮沸スルニ殆ト澄明ノ溶液ヲ生スヘシ

本品ヲ熱スルニ固性物ヲ殘留セスシテ燃化スヘシ

Acidum sulfuricum.

硫酸

硫酸ハ無色無臭澄明油稠ノ液ニシテ熱スレハ全ク揮散シ比重一・八三六乃至一・八四〇ナリ

本品ノ水ヲ以テ稀釋シタルモノニ硝酸バリウム溶液ヲ加フレハ酸類ニ溶解セサル白色ノ沈澱ヲ生ス

本品ハ百分中九十四乃至九十八分ノ純硫酸($H_2SO_4 = 98,08$)ヲ含有ス

本品一容量及水二容量ノ冷混和液一立方センチメートル(1 ccm)ニ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3 ccm)ヲ和スルニ一時間以內ニ暗色ヲ呈ス可カラス

本品一容量ニ酒精五容量ヲ和シテ久シキヲ經ルモ溷濁ス可カラス又五容量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シタル冷溶液十立方センチメートル(10 ccm)ニ三乃至四滴ノ過マンガン酸カリウム溶液ヲ和スルニ直チニ脫色ス可カラス

本品一容量ニ水十九容量ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ硝酸銀溶液ニ由テ變化ス可カラス其十立方センチメートル(10 ccm)ニ黃色血滴鹽溶液〇・五立方センチメートル(0,5 ccm)ヲ加フルニ直チニ藍色ヲ呈ス可カラス又アムモニア水ヲ加ヘテ殆ト中和シタル後硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス

本品二立方センチメートル(2 ccm)ニ硫酸鐵溶液一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加ヘテ二液層トナスニ其接界ニ於テ類褐色ノ輪帶ヲ生ス可カラス

本品二立方センチメートル(2 ccm)ニ亞硫酸ナトリウム一二小片ヲ溶解セル鹽酸二立方センチメートル(3 ccm)ヲ加ヘテ二液層トナスニ其接界ニ於テ類赤色ノ輪帶ヲ生ス可カラス又之ヲ溫ムルニ赤色ノ沈澱ヲ生ス可カラス

本品一グラム(1 g)ハ定規カリ液十九・二乃至二十立方センチメートル(19,2–20 ccm)ヲ中和スヘシ

壜中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ注意シテ貯フヘシ

Acidum sulfuricum crudum.

粗製硫酸

粗製硫酸ハ無色或ハ類褐色澄明油稠ノ液ニシテ比重一・八三以上ナリ

本品ハ百分中九十一分以上ノ純硫酸($H_2SO_4 = 98,08$)ヲ含有ス

壜中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ注意シテ貯フヘシ

Acidum sulfuricum dilutum.

稀硫酸

稀硫酸ハ硫酸一分(1,0)

蒸餾水　九分(9,0)

ヲ取リ混和シ製スヘシ

本品ハ澄明無色ノ液ニシテ比重一・〇一六四五乃至一・〇一六七〇ナリ

本品ハ百分中九・四乃至九・八分ノ純硫酸(H_2SO_4 = 98,08)ヲ含有ス

本品ノ試驗ハ硫酸ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

本品十立方センチメートル(10 ccm)ハ定規カリ液二十・四乃至二十一・二立方センチメートル(20,4-21,2 ccm)ヲ中和スヘシ

壜中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ貯フヘシ

○ Acidum tannicum.

$C_{14}H_{10}O_9 + 2H_2O = 358,14$

タンニン酸

タンニン酸ハ白色或ハ類黄色ノ粉末或ハ閃輝アル殆ト無色鬆脆ノ鱗片ニシテ味甚タ澁ク五分ノ水ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ微シ一分ノ酒精或「グリセリン」ニ溶解シ「エーテル」「クロロフォルム」又ハ「アセトール」ニ溶解セス

本品ノ水溶液(1:5)ニ硫酸或ハ「クロールナトリウム」ヲ加フレハ沈澱ヲ生シ過クロール鐵溶液ヲ和スレハ硫酸ニ由テ再ヒ溶消スヘキ藍黑色ノ沈澱ヲ生ス

本品ノ水溶液(1:6)二立方センチメートル(2 ccm)ニ酒精一立方センチメートル(2 ccm)ヲ混和スルニ澄明ニ止マリ之ニ「エーテル」一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加フルニ溷濁ス可カラス

本品ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ百分ニ付キ十一分以上ノ重量ヲ減失ス可カラス

本品四グラム(4 gr)ヲ燃化スルニ固性物ヲ殘留スルコトアルモ〇・〇一一グラム(0,012 g)ニ過ク可カラス此殘留物ヲ一一立方センチメートル(2 ccm)ノ醋酸ニ溶解シ水八立方センチメートル(8 ccm)ヲ加ヘテ稀釋シ濾過シテ得タル液五立方センチメートル(5 ccm)ニ硫化水素水ヲ和スルニ溷濁スルコトアルモ僅微ニ過ク可カラス

○ Acidum tartaricum.

$C_4H_6O_6 = 150,06$

酒石酸

酒石酸ハ無色無臭透明柱狀ノ結晶ニシテ屢集合シ或ハ白色ノ結晶粉末ヲナシ氣中ニ於テ變化セス〇・八分ノ水一一・五分ノ酒精又二百五十分ノ「エーテル」ニ溶解シ「クロロフォルム」竝ニ「アセトール」ニ殆ト溶解セス燃燒スレハ砂糖ヲ燒灼スル如キ臭氣ヲ放ツ

本品ノ水溶液(1:3)ニ醋酸カリウム溶液ヲ加フレハ結晶性ノ沈澱ヲ生シ又過剩ノ石灰水ヲ加フレハ初メ絮狀ニシテ後結晶性ニ變スル沈澱ヲ生シ此沈澱ハ「クロールアルモニウム」溶液竝ナトロン溷液ニ溶解シ共ナトロン溷液ヲ煮沸スレハ凝膠樣ノ沈澱ヲ生シ冷ニレハ復タ溶消ス

本品ノ水溶液(1:10)ハ硝酸ベリウム溶液竝後酸アルモニウム溶液ニ由テ微ニ溷濁ヲ起スニ過ク可カラス又アルモニアヲ加ヘテ殆ト中和シタルモノハ硫酸カルチウム溶液ニ由テ變化ス可カラス

本品五グラム(5 gr)ニ水十立方センチメートル(10 ccm)ヲ加ヘテ溶解シタルモノハ「アルモニア」水ヲ以テ殆ト中和シタル後硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス

本品〇・五グラム(0,5 gr)ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

Acidum trichloraceticum.

$C_2HCl_3O_2 = 163,36$

トリクロール醋酸

トリクロール醋酸ハ無色潮解性ノ結晶ニシテ微弱ノ刺戟性臭氣ヲ有シ水ニ溶解シ强酸性ノ反應ヲ敎シ酒精竝「エーテル」ニ溶解シ約五十五度ニ於テ熔融シ約百九十五度ニ於テ沸騰ス熱スレハ殘留物ヲ止メスシテ全ク揮散ス

本品ニ過剩ノ「カリ溷液ヲ加ヘテ熱スレハ「クロロフォルム」ノ臭氣ヲ發ス

本品ノ水溶液(1:10)十立方センチメートル(10 ccm)ニ十分定銀硝酸銀液二滴ヲ加フルニ蛋白石溷ヲ

呈スルコトアルモ僅微ニ過ク可カラス

本品ノ散懸セルモノ一グラム(1 g)ヲ中和スルニハ定規カリ液六・一立方センチメートル(6,1 ccm)ヲ

注意○費スニ過ク可カラス

注意○ヲ貯フヘシ

Adeps benzoatus.

安息香酸脂

安息香酸脂ハ

豚脂	九十九分 (99,0)
安息香酸	一分 (1,0)

ヲ取リ重湯煎上ニ熔融シ之ニ

ヲ溶解シ製スヘシ

Adeps Lanae anhydricus.

無水ラノリン

無水ラノリンハ羊毛ヨリ採集シ精製シタル無水ノ脂肪ナリ

本品ハ淡黄色軟膏狀ノ塊ニシテ殆ト臭氣ナク約四十度ニ於テ熔融シ「エーテル」並クロロフオルム」

ニ溶解シ水ニ溶解セス又水二倍容量以上ヲ混和スルモ尚軟膏狀ノ稠度ヲ失ハス

本品ノ「クロロフオルム」溶液(1 : 50)ヲ注意シテ硫酸上ニ注キ二液層トナスニ其接界ニ於テ漸次帶狀

赤色ノ輪帶ヲ生シ約二十四時間ノ後其色最モ鮮明トナル

本品二グラム(2 g)ヲ「エーテル」十立方センチメートル(10 ccm)ニ溶解シ「フエノールフタレイン」溶液

一滴ヲ加フルニ其溶液無色ニ止マリ之ニ十分定規カリ液〇・一立方センチメートル(0,1 ccm)ヲ和ス

ルニ赤色ヲ呈セサル可カラス

本品十グラム(10 g)ニ水五十グラム(50 g)ヲ和シ重湯煎上ニ於テ絶ヘス攪拌シツツ熔融セシメタル後

冷却スルニ澄明ナル水液ノ上面ニ淡黄色無水ノ脂肪層ヲ析出シ其水液ハ中性ノ反應ヲ徴シ之ヲ蒸

發スルニ「グリセリン」ヲ殘留セス又石灰水ヲ加ヘテ熱スルニ「アルカリ性ノ蒸氣ヲ發スル可カラス又

其水液ノ濾メ濾過シタルモノ十立方センチメートル(10 ccm)ニ過マンガン酸カリウム溶液二滴ヲ

注ク ニ持續スル赤色ヲ呈セサル可カラス

本品一グラム(1 g)ニ純酒精二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ加ヘテ煮沸シ冷後濾過シテ得タル液

ニ硝酸銀ノ酒精溶液(1 : 20)ヲ注クニ濁渾スルコトアルモ温ムレハ復タ澄明トナラサル可カラス

本品ヲ重湯煎上ニ乾燥スルニ重量ヲ減失ス可カラス

本品ヲ熱灼スルニ固性物ヲ殘留スルコトアルモ百分ニ付キ〇・一分ニ過ク可カラス此殘留物ハ水

ヲ以テ濾ホセル赤色試驗紙ヲ藍變スル可カラス

○ Adeps Lanae cum Aqua.

含水ラノリン

含水ラノリンハ

無水ラノリン	七十五分 (75,0)
蒸餾水	二十五分 (25,0)

ヲ頂 混和シ製スヘシ

本品ハ帶黄白色軟膏狀ノ塊ニシテ殆ト臭氣ナク重湯煎上ニ温ムレハ熔融シテ水液及油層ニ分離ス

其水液ヲ除去シタル後油層ヲ重湯煎上ニ乾燥シテ得タル脂肪ノ試驗ハ無水ラノリンノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

本品ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ其減失量二十六分ニ過ク可カラス

Adeps suillus.

Sus scrofa *L.*

豚脂

豚脂ハ健康ナル本動物ノ新鮮ニシテ洗滌セル網膜及腎臓周圍ノ脂肪組織ヨリ熔出シ水分ヲ除去シ

テ得タル脂肪ナリ

本品ハ白色全質柔軟均等ノ塊ヲナシ臭氣ハ微弱特異ニシテ敗油性ナラス三十六乃至四十二度ニ於テ熔融シテ澄明ノ液トナリ其熔液ハ厚サ一センチメートル(1 cm)以下ノ層ニ於テハ無色ナリ

本品十グラム(10 g)ヲ「クロヽフォルム十立方センチメートル(10 ccm)ニ溶解シ之ニ酒精十立方センチメートル(10 ccm)及フェノールフタレイン溶液一滴ヲ添加シ定規カリ」液〇・二立方センチメートル(0,2 ccm)ヲ和シ强ク振盪スルモ赤色ヲ失フ可カラス又本品二分ニ「カリ滷液三分及酒精二分ヲ加ヘ其混和液ノ澄明トナルニ至ル迄煮沸シ之ニ水五十分及酒精十分ヲ和スルニ微ニ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品約〇・二グラム(0,3 g)ヲ硝子栓ヲ有スル壜中ニ取リ「クロヽフォルム十五立方センチメートル(15 ccm)ニ溶解シ酒精製ヨード溶液及酒精製昇汞溶液各十立方センチメートル(10 ccm)ヲ和シ直射光ヲ避ケ四時間放置スルノ後ヨードカリウム二・五グラム(2,5 g)及水百立方センチメートル(100 ccm)ヲ加ヘ十分定規次亜硫酸ナトリウム液ヲ滴下シテ脫色スルニ至ルヘシ本品百分ハ「ヨード」ヲ攝取スルコト四十六分以上ニシテ七十三分ニ超ユ可カラス

本品五グラム(5 g)ヲ試驗管ニ取リ硝酸銀〇・〇五グラム(0,05 g)ヲ「エーテル三立方センチメートル(3 ccm)酒精十二立方センチメートル(12 ccm)及稀硝酸二滴ニ溶解シテ得タル溶液ヲ加ヘテ振盪シ十五分時間重湯煎中ニ挿入スルニ褐色或ハ黑色ヲ呈ス可カラス

Aether.

$C_4H_{10}O = 74,1$

エーテル

「エーテル」ハ無色澄明揮散シ易キ液ニシテ中性ノ反應ヲ徵シ特異ノ氣味ヲ有ス酒精竝脂肪油ニ隨意ノ比例ニ於テ混和シ三十五度ニ於テ沸騰ス比重〇・七二ナリ

本品ヲ濾紙上ニ點滴シテ揮散セシムルニ臭氣ヲ遺ス可カラス又本品十立方センチメートル(10 ccm)ヲ重湯煎上ニ蒸發スルニ殘留物ヲ見ル可カラス

本品五立方センチメートル(5 ccm)ヲ皿上ニ取リ自然ニ揮散セシメ濕潤セル內面ニ藍色試驗紙ヲ接スルニ赤變ス可カラス

本品ヲ新ニ搗碎セル苛性カリ上ニ撒注シ密閉シ光ヲ遮リ放置スルニ半時間以內ニ其苛性カリ」ハ類黃色ヲ呈ス可カラス

本品十容量ヲ硝子壜ニ取リ之ニ「ヨードカリウム溶液一容量ヲ加ヘ全滿密栓シ屢振盪シ光ヲ遮リ放置スルニ一時間以內ニ染色ス可カラス

壜中ニ容レ密栓シ冷暗處ニ貯フヘシ

Aether aceticus.

$C_4H_8O_2 = 88,08$

醋酸エーテル

醋酸エーテル」ハ無色澄明揮發性ノ液ニシテ特異爽快清涼ノ香氣ヲ有シ酒精、エーテル又クロヽフォルム」ニ隨意ノ比例ニ於テ混和シ七十四乃至七十六度ニ於テ沸騰シ比重〇・九〇〇乃至〇・九〇四ナリ

本品ハ藍色試驗紙ヲ直チニ赤變ス可カラス

本品ヲ濾紙上ニ點滴シテ揮散セシムルニ其終リニ臨テ異種ノ「エーテル臭ヲ放ツ可カラス又重湯煎上ニ蒸發スルモ殘留物ヲ見ル可カラス

本品ヲ注意シテ同容量ノ硫酸上ニ注キ二液層トナスニ其接界ニ於テ染色ス可カラス

本品ニ同容量ノ水ヲ加ヘテ强ク振盪スルニ水ノ容量ヲ增スコト十分一ニ過ク可カラス

壜中ニ容レ密栓シ冷處ニ貯フヘシ

○ Aether pro narcosi.

$C_4H_{10}O = 74,1$

麻醉用エーテル

麻醉用エーテル」ハ無色澄明揮散シ易キ液ニシテ中性ノ反應ヲ徵シ特異ノ氣味ヲ有ス酒精竝脂肪

油ニ隨意ノ比例ニ於テ混和シ三十五度ニ於テ沸騰ス比重〇・七二ナリ

本品ヲ濾紙上ニ點滴シテ揮散セシムルニ臭氣ヲ遺スル可カラス又重湯煎上ニ蒸發スルモ殘留物ヲ見ル可カラス

本品二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ皿上ニ取リ自然ニ揮散セシメ濕潤セル內面ニ藍色試驗紙ヲ接スルニ褪色或ハ赤變ス可カラス

本品ヲ新ニ搗碎セル苛性カリ上ニ撒注シ密閉シ光ヲ遮リ放置スルニ六時間以內ニ其苛性カリハ類黃色ヲ呈ス可カラス

本品十容量ヲ硝子壺ニ取リ之ニヨードカリウム溶液一容量ヲ加ヘ全滿密栓シ屢〻振盪シ光ヲ遮リ放置スルニ三時間以內ニ染色ス可カラス

褐色小壺中ニ全滿シ密栓シ冷暗處ニ貯フヘシ

Aethylium bromatum.

$C_2H_5Br = 109{,}01$

ブローム エチール

ブローム エチール　十二分(12,0)

硫酸　七分　(7,0)

酒精(比重〇・八一六)　十二分(12,0)

ヲ取リ混和シ冷後之ニ徐々ニ

ブロームカリウム末

ヲ加ヘ砂浴上ニ於テ蒸餾シ其餾液ニ同容量ノ硫酸ヲ加ヘテ振盪シ其硫酸ヲ除去シタル後炭酸カリウム溶液(1:20)ヲ加ヘテ振盪シ其下層液ヲ取リ「クロールカルチウム」ヲ以テ水分ヲ去リ重湯煎上ニ於テ再餾シ製スヘシ

本品ハ無色澄明揮發性ノ液ニシテ强ク光線ヲ屈曲シ中性ノ反應ヲ徵シ佳快エーテル樣ノ香氣ヲ有シ水ニ混和セス酒精竝エーテル」ニ澄明ニ混和シ三十八乃至四十度ニ於テ沸騰シ比重一・四五三乃至一・四五七ナリ

本品五立方センチメートル(5 ccm)ヲ同容量ノ硫酸ト共ニ直徑三センチメートル(3 cm)ノ共栓硝子圓壜中ニ於テ振盪スルニ一時間以內ニ染色ス可カラス

本品五立方センチメートル(5 ccm)ヲ同容量ノ水ト共ニ數秒時間振盪シタル後迅速ニ水液二・五立方センチメートル(2,5 ccm)ヲ分取シ之ニ硝酸銀溶液一滴ヲ加フルニ少ナクモ五分時間澄明ニ止マルヘシ光ヲ遮リ冷處ニ貯フヘシ

Agaricinum.

$C_{16}H_{32}O_5 + H_2O = 320{,}32$

アガリチン

アガリチン」ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ臭味ナク約百四十度ニ於テ熔融シ淡黃色ノ液ヲナレ較强ク熱スレハ白霧ヲ發シテ炭化シ脂肪ヲ燒灼スル如キ臭氣ヲ發ス水ニ僅微ニ溶解シ熱湯ニ膨脹シ沸湯ニ甚シク泡沫ヲ生シテ澄明ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ徵ス此液ヲ冷却スレハ著シク混濁ス百三十分ノ酒精竝十分ノ熱酒精ニ溶解シ熱氷醋酸竝熱テレビン油ニ較〻溶解シ易ク「エーテル」ニ僅微ニ溶解シ「クロロフォルム」ニ殆ト溶解セス「カリ」鹵液竝アムモニア水ニ溶解シテ澄明液トナリ之ヲ振盪スレハ甚シク泡沫ヲ生ス

本品〇・一グラム(0,1 g)ニ稀硫酸十立方センチメートル(10 ccm)ヲ和シテ熱スレハ混濁セル溶液ヲ生シ重湯煎上ニ放置スルニ共液中ヨリ油滴ヲ析出シ其油滴ハ冷却ノ際結晶性ニ凝固ス

本品〇・一グラム(0,1 g)ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

注意シテ貯フヘシ

Albumen Ovi siccum.

乾燥卵白

乾燥卵白ハ透映角質樣ノ塊ニシテ臭味ナク水ニ混濁シテ溶解シ中性ノ反應ヲ徵シ酒精竝エーテ

ル」ニ溶解セス

本品ノ水溶液(1:1000)五立方センチメートル(5 ccm)ニ硝酸十滴ヲ和シ注意シテ温ムレハ夥シク絮狀ノ沈澱ヲ生ス

本品ノ水溶液(1:100)十立方センチメートル(10 ccm)ニ石炭酸溶液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ混和シ之ニ硝酸五滴ヲ加ヘ振盪シ濾過スルニ澄明ノ濾液ヲ生スヘシ其濾液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ加ヘ二液層トナスニ其接界ニ於テ乳濁ヲ生ス可カラス又其濾液五立方センチメートル(5 ccm)ニ十分定規ヨード液一滴ヲ加フルニ純黄色ヲ呈シ赤黄色ヲ呈ス可カラス

Albuminum tannicum.

タンニン酸アルブミン

タンニン酸アルブミンハ

卵白　二十分　(20,0)

ヲ取リ

蒸餾水　二百分　(200,0)

ニ溶解シ濾過シ其濾液ニ

タンニン酸　十三分　(13,0)

蒸餾水　百三十分　(130,0)

ヲ以テ製シタル水溶液ヲ和シテ生ジタル沈澱ヲ漉布上ニ採集シ二百分ノ水ヲ以テ洗滌シ三十度ニ於テ乾燥シ粉末トナシ尋テ其粉末ヲ溶層トナシ百十五乃至百二十度ニ於テ六時間乾燥シ製スヘシ

本品ハ類褐色ノ粉末ニシテ臭味ナク水竝酒精ニ極メテ僅微ニ溶解ス

本品ニ水ヲ加ヘテ振盪シ濾過シ其濾液ニ過クロール鐵溶液一滴ヲ和スレハ深藍色ヲ呈ス又本品ニ水ヲ和シテ煮沸シ濾過シ其濾液ニ蛋白溶液ヲ加フレハ沈澱ヲ生ス

本品ニ「ナトロン」鹵液ヲ和シテ煮沸シ冷後之ニ鹽酸ヲ加ヘテ過飽スレハ硫化水素ノ臭氣ヲ發ス

本品一グラム(1 g)ヲ取リ之ニ「ペプシン」〇・二五グラム(0,25 g)ヲ水百立方センチメートル(100 ccm)ニ溶解シタルモノ及稀鹽酸一立方センチメートル(1 ccm)ヲ和シ三時間四十度ニ温メタル後濾過シ濾紙上ノ殘渣ヲ十立方センチメートル(10 ccm)ノ水ヲ以テ洗滌シ百度ニ於テ乾燥シ秤量シ又別ニ本品一グラム(1 g)ヲ取リ先ツ前法ニ從ヒ温浸シタル後得タル殘渣ニ更ニ炭酸ナトリウム一・五グラム(1,5 g)ヲ水百立方センチメートル(100 ccm)ニ溶解シタルモノヲ加ヘテ三時間四十度ニ於テ温浸シ濾過シ水ヲ以テ濾紙上ノ殘渣ヲ洗滌シ百度ニ於テ乾燥シ秤量スルニ甲乙兩殘渣ノ差量〇・二グラム(0,2 g)ヨリ少ナカル可カラス

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ一分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラス

Alcohol absolutus.

$C_2H_6O = 46,06$

純アルコホル

純アルコホル」ハ無色澄明揮發性ノ液ニシテ中性ノ反應ヲ微シ特異顫透性ノ香氣ヲ有シ味灼クカ如ク七十八・五度ニ於テ沸騰シ水、エーテル、クロヽフォルム又ペンツォール」ニ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和ス比重〇・七九六乃至〇・八〇〇ナリ

本品ハ百容量中九十九・四乃至九十九・七容量或ハ百分中九十九乃至九十九・六分ノ純アルコホル」ヲ含有ス

本品ハ異臭ヲ有セス又水ト溷濁セスシテ混和スヘシ又木品十立方センチメートル(10 ccm)ニ硝酸銀溶液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ和スルニ溷濁或ハ染色ス可カラス溫ムルモ亦然リ

本品十立方センチメートル(10 ccm)ニ「カリ」鹵液〇・二立方センチメートル(0,2 ccm)ヲ加ヘ蒸散セシメテ一立方センチメートル(1 ccm)トナルニ至リ稀硫酸ヲ以テ過飽スルニ「フーゼル」油ノ臭氣ヲ發ス可カラス

本品五立方センチメートル(5 ccm)ヲ採メ硫酸五立方センチメートル(5 ccm)ヲ容レタル試驗管中ニ注意シテ注キ二液層トナシ永ク放置スルニ其接界ニ於テ薄微紅色ノ輪帶ヲ生ス可カラス

本品十立方センチメートル(10 ccm)ニ過マンガン酸カリウム溶液一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加ヘタルモノハ二十分時間以内ニ變色ス可カラス

本品ハ硫化水素水並アムモニア水ニ由テ染色ス可カラス

本品五立方センチメートル(5 ccm)ヲ重湯煎上ニ於テ蒸散セシムルニ科定シ得ヘキ殘留物ヲ遺ス可カラス

壜中ニ密レ管栓シテ貯フヘシ

○ Aloë.

蘆薈

アフリカニ產スル Aloë 屬ノ諸種

蘆薈ハ本國諸種種物ノ葉ヨリ採集セル粘液ヲ煎製シテ得タルモノナリ

本品ハ暗褐色ノ塊ヲナシ破碎シ易シ其碎片ハ透明ニシテ眞殼狀ヲナシ銳稜ヲ現ハシ硝子樣ノ光澤ヲ帶ヒ類赤色乃至淡褐色ヲ有シ顯微鏡下ニ檢査スルニ結晶性ヲ呈セス臭氣ハ特異ニシテ味ハ苦シ

本品ニ「クロノフォルム」ヲ加ヘテ煮沸シ又ハ「エーテル」ヲ加フレハ微ニ類黃色ヲ呈スルニ止マリ其「エーテル」液ハ之ヲ蒸散セシムルニ甚タ僅微ニ黃色ヲ有スル粘稠性ノ殘渣ヲ遺ス又本品ヲ熱湯ニ溶解シ硼酸ナトリウム」ノ濃厚溶液ヲ加フレハ類綠色ノ螢石彩ヲ呈ス

本品五分ニ水六十分ヲ加ヘテ煮沸スレハ殆ト澄明ノ液ヲ生シ其溶液ヲ冷却セシムルニ約三分ヲ析出スヘシ又本品一分ニ酒精五分ヲ和シ加熱シテ得タル溶液ハ冷後濁ヲ生ス可カラス

本品ノ碎片ニ硝酸ヲ注ケハ二分時間以內ニ其周邊ニ微ニ類綠色ヲ生スルニ止マリ赤色ヲ呈ス可カラス

本品ヲ灰化スルニ百分ニ付キ三分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラス

本品ノ粉末ヲ製スルニハ充分ニ乾燥セルモノヲ用フヘシ本品ノ粉末ハ百度ニ於テ熔著セス又其色澤ヲ變ス可カラス

Alumen.

$Al_2K_2(SO_4)_4 + 24\ H_2O = 949{,}22$

明礬

明礬ハ無色透明堅硬ナル正雜八面晶或ハ結晶塊ヲナシ庶〻麥面ニ白色ノ粉末ヲ帶フ其味微甘ニシテ收斂性ナリ十・五分ノ水ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ微シ酒精ニ溶解セス熱スレハ熔融シ次ニ甚シク本膨起シ終ニ硬樣白色ノ塊トナル

本品ノ水溶液ニ「ナトロン」溶液ヲ和スレハ凝膠樣ノ白土ヲ生シ其過剩ヲ加フレハ溶解ス更ニ過剩ノ「クロールアムモニウム」溶液ヲ和スレハ復タ白土ヲ生ス又本品ノ他和水溶液ニ酒石酸溶液ヲ加ヘ强ク振盪スレハ半時間以內ニ結晶性ノ沈澱ヲ生ス

本品ノ水溶液(1 : 20)ハ硫化水素水ニ由テ變化セス又其二十立方センチメートル(20 ccm)ハ黃色血鹽溶液〇・五立方センチメートル(0,5 ccm)ニ由テ直チニ藍色ヲ呈ス可カラス

本品一グラム(1 g)ニ水一立方センチメートル(1 ccm)及ナトロン溶液三立方センチメートル(3 ccm)ヲ和シテ熱スルニ「アムモニア」ヲ發ス可カラス

Alumen exsiccatum.

$Al_2K_2(SO_4)_4 = 516{,}74$

枯礬

枯礬ハ白色ノ粉末ニシテ三十分ノ水ニ徐々ニ殆ト全ク溶解ス

本品ノ水溶液(1 : 40)ノ試驗ハ明礬ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

本品ヲ强ク熱灼スルニ其重量ヲ減失スルコト百分ニ付キ十分ニ過ク可カラス

壜中ニ密レ管栓シテ貯フヘシ

Aluminium sulfuricum.

$Al_2(SO_4)_3 + 18H_2O = 666{,}74$

硫酸アルミニウム

硫酸アルミニウム」ハ白色結晶性ノ塊片ニシテ一・二分ノ水ニ溶解シ熱湯ニ極メテ溶解シ易ク酸性ノ反應ヲ微シ酒精ニ溶解セス味ハ酸ク且澁シ

本品ノ水溶液ハ硝酸バリウム溶液ニ由テ鹽酸ニ溶解セサル白色ノ沈澱ヲ生ス又ナトロン濾液ニ由テ其過剩ニ溶解スヘキ無色凝膠樣ノ沈澱ヲ生ス此沈澱ヲ過剩ノ「ナトロン濾液ニ溶解シテ得タル液ニ多量ノ「クロールアムモニウム溶液ヲ和スレハ再ヒ沈澱ヲ析出ス

本品ノ水溶液(1:10)ハ無色ニシテ殆ト澄明ナラサル可カラス之ニ硫化水素水ヲ和スルモ變化ス可カラス又十分定規次亞硫酸ナトリウム液同容量ヲ和スルニ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品ノ水溶液(1:20)二十立方センチメートル(20 ccm)ニ黃色血滴鹽溶液〇・五立方センチメートル(0.5 ccm)ヲ和スルニ直チニ藍色ヲ呈ス可カラス

本品ノ百度ニ於テ乾燥セル粉末一グラム(1 g)ニ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3 ccm)ヲ和スルニ一時間以內ニ暗色ヲ呈ス可カラス

Ammoniacum.

Dorema Ammoniacum *Don.*

アムモニアクム

アムモニアクム」ハ木植物ヨリ得タル「ゴム樹脂ナリ

本品ハ篩ヶ分離シ或ハ多少粘合セル顆粒或ハ稍〻巨大ナル塊片ヨリ成リ類褐色ヲ有シ其新破碎面ハ暈類白色ヲ呈ス寒冷ノ時ハ脆ク溫熱ニ逢ヘハ軟化スレトモ澄明ニ熔融セス臭氣ハ特異ニシテ味ハ苦ク辛烈ニシテ芳香性ナリ

本品一分ニ水十分ヲ加ヘ煮沸シテ得タル濁濁液ハ過クロール鐵溶液ニ由テ汚赤紫色ヲ呈ス又本品一分ニ水三分ヲ加ヘテ研磨スレハ白色ノ乳劑ヲ生シ之ニ「ナトロン濾液ヲ加フレハ黃色ヲ呈シ終ニ褐色トナル

本品ヲ成ルヘク細微ニ研磨シ其五グラム(5 g)ニ發烟鹽酸約十三立方センチメートル(13 ccm)ヲ加ヘテ十五分時間煮沸シ濾過シテ得タル澄明ノ液ニ注意シテ「アムモニア水ヲ加ヘ過飽セシムルニ其混和液ハ落射光ニ於テ藍色ノ螢石彩ヲ現ハス可カラス

本品ニ沸騰酒精ヲ加ヘ充分ニ浸出スルニ其殘留物ハ乾燥ノ後百分ニ付キ四十分ニ過ク可カラス又本品ヲ灰化スルニ百分ニ付キ五分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラス

本品ヲ粉末トナスニハ之ヲ除濕器內ニ於テ乾燥シ成ルヘク低度ノ溫ニ於テ粉碎スヘシ

Ammonium benzoicum.

$C_7H_9NO_2 = 139{,}13$

安息香酸アムモニウム

安息香酸アムモニウム」ハ薄板狀結晶或ハ結晶性粉末ニシテ臭氣ナク或ハ微ニ安息香酸ノ香氣ヲ有シ百九十度ニ於テ熔融シ強ク熱スレハ「アムモニア及安息香酸ノ蒸氣ヲ放テ揮散ス六分ノ水竝一・二分ノ沸湯ニ溶解シ中性或ハ微弱酸性ノ反應ヲ微シ三十分ノ酒精ニ溶解ス

本品ノ水溶液ハ「ナトロン濾液ト共ニ溫ムレハ「アムモニアノ臭ヲ發シ過クロール鐵溶液ニ由テ類赤黃色ノ沈澱ヲ生ス又本品ノ水溶液ニ鹽酸ヲ和スレハ絮狀結晶性ノ沈澱ヲ生シ熱スレハ復タ溶解ス

本品ノ水溶液(1:20)ハ硫化水素水、硫化アムモニウム又硝酸バリウム溶液ニ由テ變化セス又同容量ノ酒精及少量ノ硝酸ヲ和シタル後硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品〇・一グラム(0.1 g)ニ炭酸ナトリウム溶液一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加ヘ蒸發乾涸シタル後弱ク熾灼シ其殘留物ヲ水三十立方センチメートル(30 ccm)ニ溶解シ濾過シテ得タル液ハ硝酸ヲ以テ酸性トナシタル後硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品ヲ熱スルニ固性物ヲ殘留セスシテ燃化スヘシ

器中ニ容レ密閉シテ貯フヘシ

Ammonium bromatum.

$NH_4Br = 98{,}04$

ブロームアムモニウム

ブロームアムモニウム」ハ無色ノ結晶或ハ白色ノ結晶性粉末ニシテ久シク大氣ニ觸ルレハ微黄色ヲ呈シ一・五分ノ水竝約百五十分ノ酒精ニ溶解シ熱スレハ全ク揮散ス

本品ノ水溶液ニ少量ノ「クロール水及クロヽフォルム」ヲ加ヘテ振盪スレハ其クロヽフォルム」ハ赤褐色ヲ呈シ又ナトロン鹵液ヲ和シテ熱スレハ「アムモニア」ヲ發生ス

本品ノ粉末少量ヲ白色ノ瓷皿ニ取リ之ニ稀硫酸二三滴ヲ注クニ直チニ黄色ヲ呈ス可カラス

本品ノ水溶液(1:20)ハ澄明中性ニシテ硫化水素水、硝酸バリウム溶液又稀硫酸ニ由テ變化ス可カラス又其二十立方センチメートル(20 ccm)ハ黄色血滴鹽溶液〇・五立方センチメートル(0,5 ccm)ニ由テ直チニ藍色ヲ呈ス可カラス

本品ノ百度ニ於テ乾燥シタルモノ三グラム(3 g)ヲ水百立方センチメートル(100 ccm)ニ溶解シ此溶液十立方センチメートル(10 ccm)ニ「クロームム酸カリウム溶液」二滴ヲ加ヘ次ニ十分定規硝酸銀液ヲ滴加シテ生スル赤色復タ消失セサルニ至ルニハ其銀液ヲ費スコト三十・九立方センチメートル(30,9 ccm)ニ過ク可カラス

Ammonium carbonicum.

$C_2H_8N_2O_5 = 157{,}23$

炭酸アムモニウム

炭酸アムモニウム」ハ無色纖密堅硬透映ナル纖維狀結晶性ノ塊ニシテ强キ「アムモニア」臭ヲ有シ氣中ニ風化シテ不透映白色トナリ熱ニ逢ウテ揮散ス約五分ノ水ニ徐々ニ全ク溶解シ「アルカリ性ノ反應ヲ徵シ稀酸類ニ劇シク泡沸シテ溶解ス

本品ノ水溶液(1:20)ハ醋酸ヲ以テ過飽シタル後硝酸バリウム溶液、蓚酸アムモニウム溶液又硫化水素水ニ由テ變化セス又鹽酸ヲ以テ過飽シタル後過クロール鐵溶液ニ由テ赤色ヲ呈セス又過剩ノ硝酸銀溶液ヲ和シタル後硝酸ノ過剩ヲ注クニ褐色ヲ呈セス或ハ二分時間以内ニ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品一グラム(1 g)ニ硝酸ヲ加ヘテ過飽シ重湯煎上ニ蒸發スルニ無色ノ殘留物ヲ得ヘシ此殘留物ハ熱スルニ全ク揮散シ貯フヘシ

塩中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

Ammonium chloratum.

$NH_4Cl = 53{,}53$

硇砂

クロールアムモニウム

硇砂ハ白色結晶性ノ粉末或ハ纖維狀ノ堅キ結晶塊ニシテ臭氣ナク氣中ニ於テ變化セス熱スレハ揮散シ三分ノ水竝等分ノ沸湯ニ溶解シ酒精ニ溶解シ難シ

本品ノ水溶液ニ硝酸銀溶液ヲ和スレハ「アムモニア」水ニ全溶スヘキ白色乾酪樣ノ沈澱ヲ生ス又ナトロン鹵液ヲ和シテ熱スレハ「アムモニア」ヲ發ス

本品ノ水溶液(1:20)ハ無色澄明ニシテ中性ノ反應ヲ徵シ硫化水素水、硝酸バリウム溶液、蓚酸アムモニウム溶液又稀硫酸ニ由テ變化セス又鹽酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ過クロール鐵溶液ニ由テ赤色ヲ呈ス可カラス

本品ノ水溶液(1:20)二十立方センチメートル(20 ccm)ハ黄色血滴鹽溶液〇・五立方センチメートル(0,5 ccm)ニ由テ直チニ變化ス可カラス

本品一グラム(1 g)ニ少量ノ硝酸ヲ加ヘ重湯煎上ニ蒸發シテ得タル殘留物ハ無色ナラサル可カラス又之ヲ熱スルニ全ク揮散スヘシ

Ammonium sulfoichthyolicum.

スルフォイヒチオール酸アムモニウム

スルフォイヒチオール酸アムモニウム」ハ帶赤褐色含利別稠ノ液ニシテ焦性ノ臭氣ヲ有シ熱スレ

ハ炭化シテ強ク膨起シ熱灼スレハ固性物ヲ遺サスシテ燃化ス水ニ澄明ニ混和シ微ニ酸性ノ反應ヲ微ス酒精ニ若シク、エーテル竝石油ベンチン」ニ僅ニ溶解シ酒精及エーテル各同容量ノ混和液ニ殆ト全溶ス

本品ニ「カリ鹵液ヲ和シテ熱スレハ「アムモニア」ヲ發シ更ニ此混和物ヲ熱シテ炭化シ之ニ鹽酸ヲ加フレハ硫化水素ヲ發生ス

本品ノ水溶液(1:20)ニ鹽酸ヲ和スレハ暗色樹脂様ノ物質ヲ沈降ス此沈澱ハ「エーテル竝水ニ溶解シ其水溶液ニ鹽酸或ハ「クロールナトリウム」ヲ加フレハ復タ析出ス

本品ノ百度ニ於テ乾燥セルモノ〇・五グラム(0,5 g)ニ硝酸カリウム二グラム(2 g)及無水炭酸ナトリウム三グラム(3 g)ヲ混和シ注意シツヽ燃化シテ得タル白色ノ熔塊ヲ温湯ニ溶解シ鹽酸ヲ以テ酸性トナシ之ニ「クロールバリウム溶液ヲ加ヘテ得タル硫酸バリウム」ノ量ハ〇・五一乃至〇・六二グラム(0,51–0,62 g)ナラサル可カラス

本品ハ百度ニ於テ乾燥シ復タ重量ヲ減セサルニ至ルニ其減失百分ニ付キ五十分ニ過ク可カラス

Amygdalae amarae.

Prunus Amygdalus *Baill.*, var. amara *D. C.*

苦扁桃

苦扁桃ハ本植物ノ種子ナリ

本品ハ不相對性ノ卵圓形ヲナシ脆扁セラレ長サ平均二センチメートル(2 cm)幅一・二センチメートル(1,2 cm)ニ至リ一端ハ尖鋭ニシテ他ノ一端ハ圓形ヲナシ此部位ニ於テハ厚サ〇・八センチメートル(0,8 cm)ニ至ル其子殼ハ褐色ニシテ外面ハ脱落シ易キ厚壁性ノ表皮細胞ニ由テ粉末狀ヲ呈シ内部ニハ雲黠ヨリ出ツル多數ノ脈管束迂走ス

本品ヲ熱湯中ニ軟化セシムレハ薄キ胚乳ト共ニ子殼ヲ剝離スルコトヲ得子葉ハ純白色ナリ

本品ハ味甚タ苦クシテ敗油性ナラス又水ヲ注キテ搗碎スルニ揮發苦扁桃油ノ香氣ヲ放ツヘシ

Amygdalae dulces.

Prunus Amygdalus *Baill.*

甘扁桃

甘扁桃ハ本植物ノ種子ナリ

本品ハ不相對性ノ卵圓形ヲナシ脆扁セラレ長サ平均二・二五センチメートル(2,25 cm)幅一・五センチメートル(1,5 cm)ニ至リ一端ハ尖鋭ニシテ他ノ一端ハ圓形ヲナシ此部位ニ於テハ厚サ一センチメートル(1 cm)ニ超ユルコトアリ其子殼ハ褐色ニシテ外面ハ脱落シ易キ厚壁性ノ表皮細胞ニ由テ粉末狀ヲ呈シ内部ニハ雲黠ヨリ出ツル多數ノ脈管束迂走ス

本品ヲ熱湯中ニ軟化セシムレハ薄キ胚乳ト共ニ子殼ヲ剝離スルコトヲ得子葉ハ純白色ナリ

本品ノ味ハ緩和油様粘液性ニシテ微ニ甘ク敗油性ナル可カラス又水ヲ注キテ搗碎スルニ揮發苦扁桃油ノ香氣ヲ放ツ可カラス

Amylium nitrosum.

$C_5H_{11}NO_2 = 117,15$

亞硝酸アミール

亞硝酸アミール」ハ澄明類黄色揮發性ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ其味芳香性ニシテ灼クカ如ク九十七乃至九十九度ニ於テ沸騰ス水ニ殆ト溶解セス酒精竝エーテル」ニ隨意ノ比例ニ於テ混和ス

黠火スレハ光輝アル黄色ノ火焔ヲ放チ煤烟ヲ發シテ燃燒ス比重〇・八七乃至〇・八八ナリ

本品ニ過剩ノ「カリ鹵液ヲ和シテ煮沸スレハ「アミールアルコホル」ノ臭氣ヲ放チ冷後之ニ「ヨードカリウム」ヲ加ヘ醋酸ヲ以テ酸性トナスニ「ヨード」ヲ析出ス

本品五立方センチメートル(5 ccm)ニ「アムモニア水〇・一立方センチメートル(0,1 ccm)及水一立方センチメートル(1 ccm)ノ混和液ヲ加ヘ振盪シテ得タル液ハ酸性ノ反應ヲ呈ス可カラス又本品一立方センチメートル(1 ccm)ニ硝酸銀溶液純アルコホル各一・五立方センチメートル(1,5 ccm)及アムモ

ニアル水二三溶ヨリ成レル混和液ヲ加ヘテ微温ヲ與フルニ褐色或ハ黑色ヲ呈ス可カラス
本品ハ冷却シテ容器ニ至ルモ混濁ス可カラス
小壜ニ容レ光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

○ **Amylum.**

澱粉

(甲) カタクリ

Erythronium dens canis *L.*

カタクリハ本植物ノ根ヨリ得タル澱粉ナリ
本品ハ純白色無味無臭ノ粉末ヲナシ顕微鏡下ニ檢視スレハ大小不同多クハ卵圓形ノ顆粒ヲナシ著明ナラサル紋理ヲ現ハシ通例其狹端ニ近キ處ニ小孔ヲ有ス

(乙) 葛

Pueraria Thunbergiana *Benth.*

葛ハ本植物ノ根ヨリ得タル澱粉ナリ
本品ハ純白色無味無臭ノ粉末ヲナシ顕微鏡下ニ檢視スレハ大小不同多クハ橢圓ヨリ成レル有角性顆粒ヲ呈ス

(丙) 馬鈴薯澱粉

Solanum tuberosum *L.*

馬鈴薯澱粉ハ微ニ光澤ヲ帶フル白色ノ粉末ニシテ顕微鏡下ニ檢視スレハ貝殼形或ハ卵圓形或ハ梨子形ヲナセル巨大ノ顆粒ヲナシ著シク外心性ノ紋理ヲ現ハシ通常其狹端ニ罅隙ヲ存ス
澱粉ハ冷水或酒精ニ溶解セス本品一分ヲ水百分ニ攪和シ煮沸シテ放冷スルトキハ中性ノ粘膠トナリ其粘膠ハ「ヨード」溶液ニ由テ暗藍色ヲ呈ス
本品ヲ灰化スルニ百分ニ付キ一分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラス

Anetholum.

$C_{10}H_{12}O = 148,12$

アネトール

「アネトール」ハ「アニース」油或ハ茴香油中ニ存スル酸素含有ノ部分ナリ
本品ハ白色結晶性ノ塊ニシテ强キ芳香ヲ有シ味甘ク熔融點二十乃至二十一度沸騰點二百三十一乃至二百三十四度、比重一・二十五度ニ於テ〇・九八四乃至〇・九八六ナリ
本品一分ハ二分ノ酒精ニ澄明ニ溶解セサル可カラス

○ **Antidotum Arsenici.**

砒石解毒劑

砒石解毒劑ハ

過硫酸鐵液	百分	(100,0)
蒸餾水	二百五十分	(250,0)

ヲ取リ混和シテ後篩ヘ

蒸餾水	二百五十分	(250,0)

ト熔解ニ研和セル

煅製マグネシア	十五分	(15,0)

ヲ加ヘ全體均等ノ糊狀トナルニ至ル迄注意シテ振盪シ製スヘシ
本品ハ用ニ臨テ製スヘシ但常ニ過硫酸鐵液百グラム(100 g)及煅製マグネシア十五グラム(15 g)ヲ各別ニ秤量シ貯フヘシ

○ **Antipyrinum.**

$C_{11}H_{12}N_2O = 188,2$

アンチピリン

「アンチピリン」ハ無色稜柱狀ノ結晶或ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ殆ト臭氣ナク味微ニ苦ク百十二

度ニ於テ熔融シ水、酒精又クロヽフォルム約等分ニ溶解シ又約五十分ノ「エーテル」ニ溶解ス
本品ノ水溶液(1:100)ニ「タンニン」酸溶液ヲ和スレハ白沉ヲ生ス又其二立方センチメートル(2 ccm)ニ二滴ノ發烟硝酸ヲ加フレハ綠色ヲ呈シ之ヲ熱シテ沸騰スルニ至リ更ニ發烟硝酸數滴ヲ和スレハ赤色ニ變ス
本品ノ水溶液(1:1000)二立方センチメートル(2 ccm)ニ數滴ノ過クロール鐵溶液ヲ和スレハ血赤色ヲ呈シ尋テ硫酸十滴ヲ加フレハ黃色ニ變ス
本品ノ水溶液(1:2)ハ無色ニシテ中性ノ反應ヲ徵シ又硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス
本品ハ硫酸ニ無色ニ溶解スヘシ
本品〇・一グラム(0,1 g)ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス
注意シテ貯フヘシ

Antipyrinum salicylicum.

$C_{11}H_{12}N_2O.C_7H_6O_3 = 326,26$

サリチール酸アンチピリン

サリチール酸アンチピリン」ハ白色無臭結晶性ノ粉末或ハ六邊形ノ板狀結晶ニシテ微ニ甘味ヲ有シ約二百分ノ水竝二十五分ノ沸湯ニ溶解シ酒精竝クロヽフォルム」ニ容易ニ溶解シ「エーテル」ニ較ヘ溶解シ難シ熔融點九十一乃至九十二度ナリ
本品ノ水溶液(1:200)ニ「タンニン」酸溶液ヲ加フレハ白色ノ混濁ヲ生シ又發烟硝酸數滴ヲ和スレハ綠色ヲ呈ス又其溶液十立方センチメートル(10 ccm)ニ過クロール鐵溶液一滴ヲ加フレハ紫紅色ヲ呈ス
本品〇・五グラム(0,5 g)ヲ水十五立方センチメートル(15 ccm)及鹽酸一立方センチメートル(1 ccm)ト共ニ熱スレハ溶解シテ無色澄明ノ液ヲ生シ之ヲ冷却スレハ白色絮狀ノ結晶ヲ析出ス此結晶ハ水ヲ以テ洗滌シ乾燥シタル後約百五十七度ニ於テ熔融ス又之ヲ二十立方センチメートル(20 ccm)ノ熱湯ニ溶解シ其溶液ニ過クロール鐵溶液五滴ヲ和スレハ濃紫色ヲ呈ス
本品ノ水溶液(1:200)ハ硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス
本品〇・一グラム(0,1 g)ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス
注意シテ貯フヘシ

Apomorphinum hydrochloricum.

$C_{17}H_{17}NO_2.HCl = 303,67$

鹽酸アポモルヒネ

鹽酸アポモルヒネ」ハ白色或ハ灰白色ノ結晶ニシテ濕潤セル氣中ニ於テ殊ニ光ニ觸ルレハ直チニ綠色ニ變ス約四十分ノ水竝酒精ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徵シ「エーテル竝クロヽフォルム」ニ殆ト溶解セス
本品ハ硝酸ニ溶解シテ血紅色ヲ呈ス又本品ヲ過剩ノ「ナトロン」溶液ニ溶解シタルモノハ氣中ニ於テ速ニ紫紅色ヲ呈シ終ニ黑色ニ變ス又本品ノ水溶液ニ重炭酸ナトリウム溶液ヲ加フレハ白色無晶形ノ沈澱ヲ生ス此沈澱ハ氣中ニ於テ綠色トナリ「エーテル」ニ紅紫色、クロヽフォルム」ニ藍紫色ヲ呈シテ溶解ス又本品ノ水溶液ニ「アムモニア」水ヲ加ヘタルモノハ硝酸銀溶液ヲ直チニ還元ス
本品ノ水溶液ハ無色或ハ殆ト無色ナルヘシ又本品一分ヲ百分ノ水ニ溶解スルニ綠色ヲ呈ス可カラス又本品ノ乾燥セルモノニ「エーテル」ヲ和シ振盪スルニ其「エーテル」ハ染色セス或ハ微ニ淡類紅色ヲ呈スルニ過ク可カラス
本品〇・〇二グラム(0,02 g)ヲ燃化スルニ固性物ヲ殘留ス可カラス
光ヲ遮リ最モ注意シテ貯フヘシ

Aqua Ammoniae.

アムモニア水

アムモニア水ハ無色澄明揮發性ノ液ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ强アルカリ性ノ反應ヲ徵シ稀鹽酸ヲ

以テ濾ホシタル硝子棒ヲ近クレハ白霧ヲ放ツ比重〇.九六ナリ
本品ハ百分中十分ノ純アムモニア(NH_3＝17,07)ヲ含有ス
本品一容量ニ四容量ノ石灰水ヲ混和シ一時間密閉器中ニ放置スルニ僅微ノ溷濁ヲ起スニ過ク可カラス又二容量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ硫化水素水竝蓚酸アムモニウム溶液ニ由テ變化ス可カラス
本品ニ醋酸ヲ加ヘテ過飽シタルモノハ硝酸バリウム溶液ニ由テ變化ス可カラス又本品ニ稀硝酸ヲ加ヘテ過飽シタルモノハ硝酸銀溶液ニ由テ微ニ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス
本品ニ硝酸ヲ加ヘテ過飽シ重湯煎上ニ蒸發シテ得タル殘留物ハ無色ナラサル可カラス又之ヲ熱スルニ全ク揮散スヘシ
本品五立方センチメートル(5 ccm)ハ定規鹽酸二十八乃至二十八.二立方センチメートル(28-28,2 ccm)ヲ中和スヘシ
壜中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ冷處ニ貯フヘシ

Aqua Amygdalarum amararum.
苦扁桃水

苦扁桃水ハ
苦扁桃　十二分(12,0)
ヲ取リ搗碎シ溫ヲ與ヘスシテ壓搾シ成ルヘク充分ニ脂肪油ヲ除去シ中末トナシ濶大ナル蒸餾器ニ容レ之ニ
常水　二十分(20,0)
ヲ混和シ水蒸氣ヲ通シテ蒸餾シ豫メ酒精三分ヲ容レタル受器中ニ其九分ヲ餾取シ下ニ掲クル方法ニ據リ「チアン」水素ノ含量ヲ檢定シ之ニ
酒精　一分(1,0)
蒸餾水　三分(3,0)

ノ混液ヲ加ヘテ其千分中チアン水素一分ヲ含ムノ度トナルニ至ルマテ稀釋シ製スヘシ
本品ハ澄明或ハ殆ト澄明ニシテ藍色試驗紙ヲ赤變セス著シク揮發苦扁桃油ノ香氣ヲ有ス硝酸銀溶液ヲ加ヘ振盪シテ「チアン」水素ヲ結合シタル後ト雖モ亦然リ比重〇.九七乃至〇.九八ナリ
本品十立方センチメートル(10 ccm)ニ十分定規硝酸銀液〇.八立方センチメートル(0,8 ccm)及硝酸二三滴ヲ和シ生シタル沈澱ヲ濾過シテ得タル液ニ更ニ硝酸銀液ヲ加フルモ復タ溷濁ヲ起ス可カラス
本品二容量ニ「アムモニア」水一容量ヲ加フルニ十分時間以內ニ微ニ溷濁シ二十分時間以內ニ溷濁スヘシ
本品二十五立方センチメートル(25 ccm)ニ水百立方センチメートル(100 ccm)ヲ加ヘテ稀釋シ之ニ「カリ」溶液一立方センチメートル(1 ccm)ヲ和シタル後絕ヘス攪拌シツヽ十分定規硝酸銀液ヲ滴加シテ復タ消失セサル類白色ノ溷濁ヲ生スルニ至ルニハ其硝酸銀液ヲ費スコト四.五乃至四.八立方センチメートル(4,5-4,8 ccm)ナラサル可カラス
本品五立方センチメートル(5 ccm)ヲ蒸發スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス
本品ハ杏仁水及バクチ水ニ代用スルコトヲ得
光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

Aqua Anisi.
アニース水

アニース水ハ
アニース實　一分　(1,0)
ヲ取リ蒸餾器ニ容レ之ニ
常水　二十分(20,0)
ヲ混和シ其十分ヲ餾取シ製スヘシ

Aqua Calcariae.

石灰水

石灰水ハ

煆製石灰　一分　(1,0)

ヲ取リ

常水　四分　(4,0)

ヲ加ヘテ水化石灰トナシ攪拌シツヽ

常水　五十分 (50,0)

ヲ注加シ靜置シテ沈定セシメ上清液ヲ傾瀉シ去リ其殘渣ニ

常水　五十分 (50,0)

ヲ混和シ反覆振盪シ壜中ニ容レ塞栓シテ貯フヘシ

本品ハ澄明無色ノ液ニシテ强アルカリ性ノ反應ヲ微シ大氣ニ觸レ或ハ煮沸スレハ濁ス

本品ニ炭酸ノ過剩ヲ通シテ少時之ヲ煮沸シタルモノハ"アルカリ性ノ反應ヲ缺スル可カラス

本品百立方センチメートル(100 ccm)ヲ中和スルニハ定規鹽酸四乃至四・五立方センチメートル(4-4,5 ccm)ヲ要サヽル可カラス

本品ハ用ニ臨ミ傾瀉シ或ハ濾過スヘシ

○ **Aqua carbolisata.**

石炭酸水

石炭酸水ハ

流動石炭酸　二十二分　(22,0)

ヲ取リ

蒸餾水　九百七十八分 (978,0)

ニ混和シ製スヘシ

本品ハ澄明無色ノ液ニシテ百分中二分ノ石炭酸ヲ含有スヘシ

Aqua carbolisata pro Desinfectione.

消毒用石炭酸水

消毒用石炭酸水ハ

石炭酸　五分　(5,0)

ヲ取リ

常水　九十四分 (94,0)

ニ溶解シ之ニ

鹽酸　一分　(1,0)

ヲ和シ製スヘシ

Aqua Carvi.

カールム水

カールム水ハ

カールム實　一分　(1,0)

ヲ取リ蒸餾器ニ容レ之ニ

常水　二十分 (20,0)

ヲ混和シ其十分ノ餾取シ製スヘシ

Aqua Chloroformii.

クロヽフォルム水

クロヽフォルム水ハ

クロヽフォルム　一容量

ヲ取リ
蒸餾水　一分(1,0)
ニ混和シ振盪シ製スヘシ

Aqua Cinnamomi.
桂皮水

桂皮水ハ　四百容量
桂皮粗末　一分(1,0)
ヲ取リ蒸餾器ニ容レ之ニ
酒精　一分(1,0)
常水　適宜
ヲ注キ二十四時間靜置シ其十分ヲ餾取シ製スヘシ

Aqua cresolica.
クレゾール水

クレゾール水ハ　六分　(6,0)
クレゾール石鹼液　九十四分(94,0)
水
ヲ取リ混和シ製スヘシ
本品ハ百分中三分ノ粗製クレゾール」ヲ含有ス
本品ヲ治療用ニ供スルニハ蒸餾水ヲ用ヒ消毒用ニ供スルニハ常水ヲ用ヒ製スヘシ
本品ノ蒸餾水ヲ以テ製シタルモノハ淡黃色澄明ノ液ナリ
本品ノ常水ヲ以テ製シタルモノハ少シク混濁セル液ヲナスモ油滴ヲ析出スルコトアル可カラス

⊙ Aqua destillata.
蒸餾水

蒸餾水ハ澄明無色ノ液ニシテ臭味ナク中性ノ反應ヲ徵ス
本品ハ「ネスレル試藥」硝酸銀溶液、硫化水素水又アムモニア水ヲ和シタル後硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス又本品一容量ヲ二容量ノ石灰水ニ和スルニ澄明ニ止マルヘシ
本品百立方センチメートル(100 ccm)ニ稀硫酸一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加ヘタル後熱シテ沸騰スルニ至リ之ニ〇·三立方センチメートル(0,3 ccm)ノ過マンガン酸カリウム溶液ヲ注キ三分時間煮沸スルニ之ヲ脫色ス可カラス
本品十立方センチメートル(10 ccm)ヲ蒸發スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

Aqua Florum Aurantii.
橙花水

橙花水ハ　一分(1,0)
橙花油　千分(1000,0)
溫蒸餾水
ヲ取リ混和シ强ク振盪シ冷後濕潤セル濾紙ヲ用ヒテ濾過シ製スヘシ

Aqua Foeniculi.
茴香水

茴香水ハ　一分(1,0)
*搗碎セル茴香
ヲ取リ蒸餾器ニ容レ之ニ
常水　適宜
ヲ注キテ濡ホシ其三十分ヲ餾取シ製スヘシ

Aqua formalinata.

フオルマリン水

フオルマリン水ハ

フオルマリン　一分　(1,0)

常水　三十四分　(34,0)

ヲ取リ混和シ製スヘシ

Aqua Menthae.

薄荷水

薄荷水ハ

粗剪截薄荷葉　一分　(1,0)

ヲ取リ蒸餾器ニ容レ之ニ

常水　適量

ヲ注キテ濾ホシ其三十分ヲ餾取シ製スヘシ

Aqua Picis.

タール水

タール水ハ

水タール　一分　(1,0)

浮石粗末　三分　(3,0)

ヲ取リ混和シ之ニ

常水　十分　(10,0)

ヲ和シ五分時間振盪シ濾過シ製スヘシ

本品ハ類黃色乃至類褐色澄明ノ液ニシテ水タール」ノ臭味ヲ有ス

用ニ臨テ製スヘシ

○ **Aqua Pruni armeniacae.**

杏仁水

杏仁水ハ杏仁ヲ取リ苦扁桃水ノ條ニ掲クル方法ニ據リ製スヘシ

本品ノ性質實性反應試驗及貯藏法ハ苦扁桃水ノ條ニ掲クル所ニ同シ

本品ハ苦扁桃水及バクチ水ニ代用スルヨトヲ得

Aqua Pruni macrophyllae.

バクチ水

バクチ水ハ

新鮮ナル「バクチ葉　十二分　(12,0)

ヲ以リ搗碎シ潤大ナル蒸餾器ニ容レ之ニ

常水　三十六分　(36,0)

ヲ和シ水蒸氣ヲ通シテ蒸餾シ豫メ酒精三分ヲ容レタル受器中ニ其五分ヲ餾取シ苦扁桃水ノ條ニ掲クル方法ニ據リ「チアン水素ノ含量ヲ檢定シ之ニ

酒精　一分　(1,0)

蒸餾水　三分　(3,0)

ノ混液ヲ加ヘテ其千分中チアン水素一分ヲ含ムノ度トナルニ至ルマテ稀釋シ製スヘシ

本品ノ比重ハ〇・九六五乃至〇・九六九ナリ其他性質實性反應試驗及貯藏法ハ苦扁桃水ノ條ニ掲クル所ニ同シ

本品ハ苦扁桃水及杏仁水ニ代用スルヨトヲ得

Aqua Rosae.
薔薇水

薔薇水ハ	四滴
薔薇油	
ヲ取リ	
微溫蒸餾水	千立方センチメートル(1000 ccm)

ニ混和シ暫時振盪シ製スヘシ

本品ハ佳快ノ香氣ヲ有スル殆ト澄明ノ液ナリ

Argentum nitricum.
$AgNO_3 = 169,97$
硝酸銀

硝酸銀ハ光輝アル無色板狀ノ結晶ニシテ〇·六分ノ水並約十分ノ酒精ニ溶解ス

本品ノ水溶液ニ鹽酸ヲ和スレハ白色乾酪樣ノ沈澱ヲ生シ其沈澱ハ「アムモニア水ニ全溶シ硝酸ニ溶解セス

本品ノ水溶液ハ中性ノ反應ヲ微シ酸性ノ反應ヲ微スルコトアルモ極メテ微弱ニ過ク可カラス

本品ノ水溶液(1:20)五立方センチメートル(5 ccm)ニ過剩ノ鹽酸ヲ加ヘテ煮沸シ濾過シテ得タル液ヲ蒸發スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

Argentum nitricum cum Kalio nitrico.
硝酸銀加硝石

硝酸銀加硝石ハ

硝酸銀
硝酸カリウム　一分(1,0)
ヲ取リ混和シ注意シテ熔融シ梃子形ニ鑄成シ製スヘシ　一分(1,0)

本品ハ白色或ハ帶灰白色ノ堅キ小梃子ニシテ其破折面ハ顆粒狀結晶性ヲ現ハス

本品〇·五グラム(0,5 g)ヲ五立方センチメートル(5 ccm)ノ水ニ溶解シ之ニ十分定規クロールナトリウム液十五立方センチメートル(15 ccm)及クロールム酸カリウム溶液一二滴ヲ和シ次ニ十分定規硝酸銀液ヲ滴加シテ生スル赤色復タ消失セサルニ至ルニハ其銀液ヲ費スコト〇·五立方センチメートル(0,5 ccm)ニ過ク可カラス

光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

○Argentum nitricum fusum.
熔製硝酸銀

熔製硝酸銀ハ白色或ハ帶灰白色ノ小梃子ニシテ其破折面ハ放線狀ノ結晶紋理ヲ現ハシ熱スレハ熔融ス

本品ノ試驗ハ硝酸銀ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

Argentum proteïnatum.
プロテイン銀

プロテイン銀ハ淡黃色(細微ノ粉末ニシテ微ニ礦味ヲ有シ水ニ容易ニ溶解シ中性若クハ微弱アルカリ性ノ反應ヲ微ス

本品ノ水溶液(1:10)ハ褐色ヲ有シ熱スレハ「ナトロン滷液ニ溶解スヘキ沈澱ヲ生ス又之ニ過剩ノ「ナトロン滷液及少量ノ硫酸銅ヲ加フレハ紫色ヲ呈シ「ピクリン酸ヲ和スレハ黃色ノ沈澱ヲ生ス

本品ヲ燃化シテ得タル固性物ヲ硝酸ニ溶解シ其溶液ニ鹽酸ヲ加フレハ「アムモニア水ニ溶解スヘ

キ白色絮狀ノ沈澱ヲ生ス

本品ノ水溶液(1:10)ハ「ナトロン」鹵液、硫化カリウム溶液、クロールナトリウム溶液又蛋白溶液ニ由テ變化ス可カラス

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ八乃至十二分ノ固性物ヲ殘留シ其固性物ハ硝酸ニ全溶セサル可カラス

壜中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ貯フヘシ

Arsenum jodatum.

$AsJ_3 = 455,55$

ヨード砒素

ヨード砒素ハ帶褐橙赤色結晶性ノ塊片或ハ光澤アル鱗屑狀結晶ニシテ「ヨード」樣ノ臭氣ヲ有シ三・五分ノ水竝十分ノ酒精ニ溶解シ中性ノ反應ヲ微ス又エーテル竝硫化炭素ニ全溶ス

本品ノ水溶液ハ黃色ヲ呈シ硝酸ヲ和シテ熱スレハ紫色ノ蒸氣ヲ放チ又硫化水素水ヲ和スレハ朠樣黃色ノ沈澱ヲ生ス

本品ヲ熱スルニ固性物ヲ殘留セスシテ全ク揮散スヘシ

最モ注意シテ貯フヘシ

Asa foetida.

阿魏

アサフェチダニ產スル Ferula 屬ノ莖種特ニ

Ferula Asa foetida L. et

Ferula Narthex Boiss.

阿魏ハ木屬諸種植物ヨリ得タル「ゴム」樹脂ナリ

本品ハ箇々分離シ或ハ相粘合シ或ハ稍々巨大ノ塊片ヲナシ外面ハ類黃色、紫色又ハ類褐色ヲ有シ其新破碎面ハ白色ニシテ漸次紅色ノ虹彩ヲ現ハシ後褐色トナル氣味特異ナリ

本品一分ニ水三分ヲ加ヘテ研磨スレハ類白色ノ乳劑トナリ之ニ「アムモニア水」一滴ヲ加フレハ黃色ヲ呈ス

本品ニ沸騰酒精ヲ加ヘテ充分ニ浸出シ其不溶分ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ百分ニ付キ五十分ニ過ク可カラス又本品ヲ灰化スルニ百分ニ付キ十分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラス

本品ヲ粉末トナスニハ之ヲ除濕器內ニ於テ乾燥シ低度ノ溫ニ於テ粉碎スヘシ

○ Atropinum sulfuricum.

$(C_{17}H_{23}NO_3)_2.H_2SO_4 = 676,62$

硫酸アトロピン

硫酸アトロピン」ハ百十五・五度ニ於テ熔融スル「アトロピン」ヲ以テ製シタル白色結晶性ノ粉末ニシテ百八十度ニ於テ溶融シ等分ノ水竝三分ノ酒精ニ溶解シテ無色中性ノ溶液トナリ「エーテル」竝クロヽフォルム」ニ殆ト溶解セス

本品〇・〇一グラム(0,01 g)ヲ小硝子管中ニ熱シテ白霧ヲ起スニ至リ硫酸一・五立方センチメートル(1,5 ccm)ヲ和シ更ニ熱シテ褐色ヲ呈スルニ至リ直チニ水二立方センチメートル(2 ccm)ヲ加フレハ佳快特異ノ香氣ヲ放チ次ニ過マンガン酸カリウム」ノ小結晶一片ヲ加フレハ揮發苦扁桃油ノ香氣ヲ發ス

本品〇・〇一グラム(0,01 g)ヲ瓷皿ニ取リ發烟硝酸五滴ヲ加ヘ重湯煎上ニ乾燥スルニ其殘留物ハ微ニ類黃色ヲ呈シ冷後之ニ酒精製カリ鹵液ヲ滴加スレハ紫色ヲ呈ス又本品ノ水溶液ニ硝酸バリウム溶液ヲ和スレハ酸類ニ溶解セサル白色ノ沈澱ヲ生ス

本品ノ水溶液(1:1000)ハ珠苛辣ニシテ苦ク之ヲ眼結膜上ニ點滴スレハ瞳孔ヲ散大ス

本品ノ水溶液(1:60)ハ「ナトロン」鹵液ニ由テ溷濁シ「アムモニア水」ニ由テ溷濁ス可カラス

本品〇・一グラム(0,1 g)ハ硫酸二立方センチメートル(2 ccm)ニ由テ殆ト染色セス之ニ少量ノ硝酸ヲ加フルモ亦然リ

本品〇・〇一二グラム(0,02 g)ヲ燃化スルニ固性物ヲ殘留ス可カラス

注意　藥ヲ貯フベシ

Balsamum Copaivae.

コパイバノルサム

Copaïfera 屬ノ諸種特ニ
Copaïfera officinalis *L.*
Copaïfera guyanensis *Desfon. et*
Copaïfera coriacea *Mart.*

コパイバノルサム」ハ本屬諸種植物ノ幹部ニ附セル傷痕ヨリ滲出セル「バルサム」ナリ

本品ハ稍〻澄明ニ多少濃厚ノ液ニシテ帶黃褐色ヲ有シ綠石彩ヲ現ハサズ或ハ之アルモ僅微ニ過キズ

臭ハ特異ニ味ハ辛烈ニシテ少シク苦シ「クロロフォルム」ニ全ク或ハ殆ト澄明ニ混和ス

本品四滴ニ水酸化カリウム〇・九八〇乃至〇・九九二グラム(7 ccm)及硝酸六滴ノ混液ヲ和スルニ類紅色或ハ紫色ヲ呈ス可カラス

本品一グラム(1 g)ヲ酒精五十立方センチメートル(50 ccm)ニ溶解シ「フェノールフタレイン」溶液十滴ヲ添加スルノ後酒精製一分定規カリ液ヲ滴加シテ赤色ヲ呈スルニ至ルニハ二・一四〇乃至二・一六二グラム(2,5–3 ccm)ナラサル可カラス更ニ此混和液ニ酒精製一分定規カリ液ヲ滴加シ之ニ「フェノールフタレイン」溶液十滴ヲ添加シ之ニ一分定規鹽酸ヲ用ヒテ剩餘ノ「カリ」液ヲ中和スルニ其鹽酸ヲ要スコト十七立方センチメートル(17 ccm)ニ過ク可カラス

本品一・五グラム(2,5 g)水十五立方センチメートル(15 ccm)及ナトロン溶液十五立方センチメートル(15 ccm)ノ混和液ニ逐次三回各十立方センチメートル(10 ccm)ノ「エーテル」ヲ加ヘテ振盪シ其エーテル分ヲ蒸散セシメテ得タル殘留物ヲ電湯煮上ニ乾燥スルニ其殘留物ノ量少ナクモ一・四グラム(1,4 g)ナラサル可カラス此殘留物ヲ酒精二十五立方センチメートル(25 ccm)ニ溶解シ之ニ酒精製一分定規カリ液二十五立方センチメートル(25 ccm)ヲ混和スルノ後半時間電湯煮上中ニ熱シ「フェノールフタレイン」溶液十滴ヲ添加シ之ニ一分定規鹽酸ヲ用ヒテ剩餘ノ「カリ」液ヲ中和スルニ其鹽酸ヲ要スコト十二・二立方センチメートル(13,2 ccm)ニ過ク可カラス

Balsamum tolutanum.

Myroxylon Toluifera *Humb. Bompl. et Kunth.*

トルーバルサム

トルーバルサム」ハ本植物ヨリ得タル樹脂ナリ

本品ハ帶褐赤色結晶性ノ塊ヲナシ乾燥セルモノハ類黃色ノ粉末トナスヲ得香氣ハ甚タ佳快味ハ本芳香性ニシテ酸味ヲ帶ヒ少シク苦辣ナリ

本品ハ酒精クロロフォルム又カリ溶液ニ溶解シ僅微ノ木屑ヲ遺スニ過ク可カラス

本品一グラム(1 g)ヲ酒精五十立方センチメートル(50 ccm)ニ溶解シ「フェノールフタレイン」溶液十滴ヲ添加スルノ後酒精製二分定規カリ液ヲ滴加シテ赤色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スコト四乃至六立方センチメートル(4-6 ccm)ナラサル可カラス更ニ此混和液ニ酒精製二分定規カリ液ヲ注加シ其カリ液ノ全量二十立方センチメートル(20 ccm)トナルニ至リ重湯煎中ニ半時間熱シ二分定規鹽酸ヲ用ヒテ剩餘ノ「カリ液」ヲ中和スルニ其酸液ヲ費スコト十三・二乃至十四・五立方センチメートル(13,2-14,5 ccm)ナラサル可カラス

Benzinum Petrolei.

石油ベンチン

石油ベンチンハ石油中五十乃至七十五度ニ於テ餾出スル澄明無色點火シ易キ揮發性ノ液ニシテ螢石彩ヲ現ハサス不快ナラサル特異ノ臭氣ヲ有シ中性ノ反應ヲ徴ス水ニ溶解セス約五分ノ酒精ニ溶解ス比重約〇・六四乃至〇・六七ナリ

本品ニ少量ノ「アムモニア」性硝酸銀溶液ヲ和シ之ニ少量ノ酒精ヲ加ヘテ熱スルニ變色ス可カラス

本品ニ少量ノ「アムモニア」性硝酸銀溶液ヲ和シ之ニ少量ノ酒精ヲ加ヘテ熱スルニ變色ス可カラス

塊中ニ容レ密栓シ冷處ニ貯フヘシ

Benzoë.

安息香

安息香ハ扁平或ハ圓形褐色ノ塊片ニシテ內部ハ白色ヲ呈ス重湯煎上ニ熱スレハ甚タ佳快ノ香氣ヲ發シ强ク熱スレハ刺戟性ノ蒸氣ヲ發ス

本品ニ酒精ヲ加ヘテ熱シ濾過シテ得タル液ハ酸性ノ反應ヲ徴シ水ヲ和スレハ乳狀ヲ呈ス

本品一分ニ硫化炭素十分ヲ加ヘテ熱スレハ軟化シ其無色ノ液ヲ冷却スレハ安息香酸ノ結晶ヲ析出ス

本品ヲ細微ニ粉碎シ其少量ニ過マンガン酸カリウム」ヲ加ヘテ氷ク放置スルモ揮發苦扁桃油ノ香氣ヲ發生ス可カラス

本品ニ沸騰酒精ヲ加ヘテ充分ニ浸出シ其殘留物ヲ乾燥スルニ百分ニ付キ五分ニ過ク可カラス

本品ヲ灰化スルニ百分ニ付キ二分以上ノ固性物ヲ遺ス可カラス

Bismutum subcarbonicum.

次炭酸蒼鉛

次炭酸蒼鉛ハ白色或ハ類黃白色無晶形ノ粉末ニシテ臭味ナク氣中ニ於テ變化セス水竝酒精ニ溶解セス

本品ハ硝酸竝鹽酸ニ泡沸シテ溶解シ此溶液ハ多量ノ水ニ由テ白色ノ沈澱ヲ生ス

本品ハ稀硝酸ニ澄明ニ溶解シ之ニ少量ノ水ヲ和シテ稀釋シタル澄明液ハ硝酸銀溶液、硝酸バリウム溶液又二倍容量ノ稀硫酸ニ由テ混濁ス可カラス又過剩ノ「アムモニア」水ヲ注キ濾過シテ得タル液ハ全ク無色ニシテ硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス又燐酸ナトリウム溶液ニ由テ混濁ス可カラス

本品一グラム(1 g)ニ過剩ノ「ナトロン」鹵液ヲ和シテ熱スルニ「アムモニア」ヲ發ス可カラス

本品一グラム(1 g)ヲ弱ク熾灼スレハ黃色ノ酸化蒼鉛〇・八五乃至〇・九一グラム(0,85-0,91 gr)ヲ殘留スヘシ此殘留物ヲ約十立方センチメートル(10 ccm)ノ鹽酸ニ溶解シ其一半ニ一・五立方センチメートル(1,5 ccm)ノ亞クロール錫溶液ヲ加ヘテ熱スルニ一時間以內ニ暗色ヲ呈ス可カラス又他ノ一半ニ水ヲ和シテ稀釋シ硫化水素ヲ以テ充分ニ沈降セシメ之ヲ濾過シテ得タル液ハ蒸發ノ後固性物ヲ殘留スルモ痕跡ニ過ク可カラス

本品〇・二グラム(0,2 g)ニ硫酸一立方センチメートル(1 ccm)ヲ和シ之ニ硫酸鐵ノ飽和溶液二立方センチメートル(2 ccm)ヲ加ヘ注意シテ二液層トナスニ其接界ニ於テ類褐色ノ輪帶ヲ生ス可カラス

Bismutum subgallicum.

$BiC_7H_5O_6 = 411,57$

次沒食子酸蒼鉛

次沒食子酸蒼鉛ハ黃色無晶形ノ粉末ニシテ臭味ナク水、酒精又「エーテル」ニ溶解セス熾灼スレハ熔

融セスシテ炭化シ終ニ黄色ノ物質ヲ殘留ス
本品ニ過剩ノ燒化水素水ヲ和シ振盪スレハ黑褐色ヲ呈ス之ヲ濾過シテ得タル液ヲ煮沸シ冷却シ之ニ稀薄ノ過クロール鐵溶液ヲ滴加スレハ藍黑色ヲ呈ス
本品一グラム(1g)ヲ弱ク燒灼シ極メテ少量ノ硝酸ニ溶解シ注意シテ蒸發乾燥シ更ニ燒灼スルニ少ナクモ〇・五一グラム(0,51g)ノ酸化蒼鉛ヲ遺サヽル可カラス此殘留物ヲ硝酸ニ溶解シ水ヲ以テ二十立方センチメートル(20 ccm)ニ稀釋シタルモノハ硝酸バリウム溶液竝硝酸銀溶液ニ由テ變化ス可カラス又過剩ノ「アムモニア」水ヲ和シ濾過シテ得タル液ハ全ク無色ニシテ硫化水素水ヲ和スルモ變化セス之ヲ蒸發シ燃灼スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス
本品一グラム(1g)ニ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3 ccm)ヲ和スルニ一時間以內ニ暗色ヲ呈ス可カラス
本品一グラム(1g)ニ十立方センチメートル(10 ccm)ノ酒精ヲ加ヘテ振盪シ濾過シテ得タル液ヲ蒸發スルニ秤定シ得ヘキ殘留物ヲ遺ス可カラス
本品一グラム(1g)ハ「ナトロン」滷液五立方センチメートル(5 ccm)ニ澄明ニ溶解スヘシ之ニ亞鉛及鐵粉各〇・五グラム(0,5g)ヲ混和シ熱スルニ「アムモニア」ヲ發ス可カラス

○ Bismutum subnitricum.

次硝酸蒼鉛

次硝酸蒼鉛ハ
蒼鉛粗末　一分　(1,0)
ヲ取リ豫メ七十五乃至九十度ニ熱シタル
硝酸(比重一・二)　五分　(5,0)
中ニ少量ツヽ漸次ニ投入シ終リニ臨ミ硝酸ノ作用衰フルニ至リ更ニ强熱ヲ與ヘテ蒼鉛ノ溶解ヲ助クヘシ尋テ蒼鉛ノ溶液ヲ數日間放置シタル後上層ノ澄明液ヲ傾瀉シ之ヲ蒸發シテ結晶セシメ茲ニ得タル結晶ヲ硝酸含有ノ蒸餾水少量ヲ以テ二回洗滌シ此結晶ニ
蒸餾水　一分　(1,0)
ヲ加ヘテ研和シ次ニ之ヲ
沸騰蒸餾水　四分　(4,0)
中ニ攪拌シツヽ投入シ茲ニ生シタル沈澱ノ沈著スルニ至リ速ニ上清液ヲ除去シ沈澱ヲ漏斗中ニ採集シ液分ノ充分ニ滴下シタル後　二十一分(21,0)
冷蒸餾水　二十五分(25,0)
ヲ以テ洗淨シ三十度ノ溫ニ於テ乾燥シ製スヘシ
本品ハ白色細微結晶性ノ重キ粉末ニシテ酸性ノ反應ヲ微ス
本品ヲ燒灼スレハ黃赤色ノ蒸氣ヲ發シ終ニ百分ニ付キ七十九乃至八十二分ノ酸化蒼鉛ヲ殘留ス
本品〇・五グラム(0,5g)ハ常溫ニ於テ稀硫酸二十五立方センチメートル(25 ccm)ニ澄明ニ全溶シ炭酸ヲ發ス可カラス此溶液ノ一半ヲ取リ過剩ノ「アムモニア」水ヲ和シタル後濾過スルニ全ク無色ノ液ヲ得ヘシ又他ノ一半ニ多量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シ之ニ過剩ノ硫化水素水ヲ和シ濾過シテ得タル液ハ蒸發ノ後秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス
本品一グラム(1g)ヲ熱灼シテ蒸氣ノ發生全ク熄ムニ至リ其殘留物ヲ少量ノ鹽酸ニ溶解シ之ニ二倍容量ノ亞クロール錫溶液ヲ和スルニ一時間以內ニ暗色ヲ呈ス可カラス
本品〇・五グラム(0,5g)ヲ硝酸五立方センチメートル(5 ccm)ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過キス又同容量ノ水ヲ以テ稀釋シタル〇・五立方センチメートル(0,5 ccm)ニ由テ變化セス又過剩ノ「ナトロン」滷液ニ和硝酸バリウム溶液〇・五立方センチメートル(0,5 ccm)ニ由テ變化セス又過剩ノ「アムモニア」ヲ發ス可カラス
シテ熱スルニ「アムモニア」ヲ發ス可カラス

○ Bismutum subsalicylicum.

$BiC_7H_5O_4 = 361,55$

次サリチール酸蒼鉛

次サリチール酸蒼鉛ハ白色或ハ帶黃白色無晶形ノ粉末ニシテ臭味ナク水竝酒精ニ殆ト溶解セス熾灼スレハ熔融セスシテ炭化シ終ニ黃色ノ物質ヲ殘留ス

本品ニ稀薄ノ過クロール鐵溶液ヲ注ケハ紫色ヲ呈シ硫化水素水ヲ和スレハ黑褐色ヲ呈ス

本品〇·五グラム(0,5 g)ニ水五立方センチメートル(5 ccm)ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ハ藍色試驗紙ヲ直チニ赤變ス可カラス

本品一グラム(1 g)ヲ弱ク熾灼シ極メテ少量ノ硝酸ニ溶解シ注意シテ蒸發乾燥シ更ニ熾灼スルニ少ナクモ〇·六二グラム(0,63 g)ノ酸化蒼鉛ヲ遺サヽル可カラス此殘留物ヲ硝酸ニ溶解シ水ヲ以テ二十立方センチメートル(20 ccm)ニ稀釋シタルモノハ硝酸バリウム溶液竝硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過キス又二倍容量ノ稀硫酸ニ由テ變化ス可カラス又過剩ノ「アムモニア」水ヲ和シ濾過シテ得タル液ハ全ク無色ニシテ硫化水素水ヲ和スルモ變化セス之ヲ蒸發シ熱灼スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

本品一グラム(1 g)ニ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3 ccm)ヲ和スルニ一時間以內ニ暗色ヲ呈ス可カラス

本品〇·五グラム(0,5 g)ニ「ナトロン鹵液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ和シ之ニ亞鉛及鐵粉各〇·五グラム(0,5 g)ヲ加ヘテ熱スルニ「アムモニア」ヲ發ス可カラス

光ヲ遮リ貯フヘシ

Bismutum tribromphenylicum.

$Bi_2C_6H_3Br_3O_4 = 795,91$

トリブローム石炭酸蒼鉛

トリブローム石炭酸蒼鉛ハ黃色ノ粉末ニシテ臭味ナク水竝酒精ニ溶解セス

本品ニ稀薄ノ「ナトロン鹵液ヲ加ヘテ熱スレハ黃色ノ酸化蒼鉛ヲ遺シテ溶解シ冷後濾過シテ得タル液ニ鹽酸ヲ加フレハ白色ノ沈澱ヲ生ス

本品一グラム(1 g)ニ硝酸ヲ加ヘテ蒸發シ熾灼スルニ約〇·五八グラム(0,58 g)ノ殘留物ヲ得ヘシ此殘留物ヲ約十立方センチメートル(10 ccm)ノ鹽酸ニ溶解シ之ニ三立方センチメートル(3 ccm)ノ亞クロール錫溶液ヲ加ヘテ熱スルニ一時間以內ニ暗色ヲ呈ス可カラス

Bolus alba.

白陶土

白陶土ハ主トシテ抱水珪酸アルミニウム「コリ成リ白色土樣ノ塊ヲナシ磨碎シ易ク物ニ觸ルレハ汚著シ水ヲ以テ濡ホセハ可塑性ヲ呈シ水中ニ投スレハ潰崩スレトモ溶解セス

本品ニ鹽酸ヲ注クニ泡沸ス可カラス又淘汰スルモ砂狀ノ殘留物ヲ遺ス可カラス

Borax.

$Na_2B_4O_7 + 10\,H_2O = 382,3$

硼砂

硼砂ハ白色堅硬ノ結晶或ハ結晶性塊片ニシテ十七分ノ水竝〇·五分ノ沸湯ニ溶解シ弱アルカリ性ノ反應ヲ徵シ「グリセリン」ニ多量ニ溶解シ酒精ニ溶解セス熱スレハ初メ其結晶水中ニ溶解シ著シク膨起シ終ニ白色鬆疎ノ塊トナリ更ニ紅灼スレハ熔融シテ白色硝子樣ノ物質ニ變ス

本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黃色ニ染ム又本品ノ水溶液ニ少量ノ鹽酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ黃色試驗紙ヲ赤褐色ニ染ム此試驗紙ヲ乾燥スレハ其色愈〻著明トナリ更ニ少量ノ「アムモニア」水ヲ以テ濡ホセハ綠黑色ニ變ス

本品ノ水溶液(1:50)ハ硫化水素水竝蓚酸アムモニウム溶液ニ由テ變化ス可カラス又硝酸ヲ以テ酸性トナスニ泡沸セス又硝酸バリウム溶液竝硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品ノ鹽酸性水溶液(1:50)五十立方センチメートル(50 ccm)ニ黃色血鹵鹽溶液〇·五立方センチ

メートル(0,5 ccm)ヲ和スルニ直チニ藍色ヲ呈ス可カラス

Bromum.

Br＝79,96

ブローム

ブロームハ暗赤褐色揮發性ノ液ニシテ常溫ニ於テ強キ刺戟性ノ臭氣ヲ有スル黃赤色ノ蒸氣ヲ發シ三十分ノ水酒精、エーテル硫化炭素又クロヽフォルム」ニ容易ニ溶解シテ赤褐色ヲ呈ス比重三・九乃至三・〇ナリ

本品ハ「ナトロン濃液ニ溶解シ久シク澄明ニ止マルヘシ又本品ノ水溶液(1:30)ニ鐵粉ノ過剩ヲ和シテ振盪シ濾過シテ得タル液ニ過クロール鐵溶液及澱粉溶液ヲ加フルニ藍色ヲ呈ス可カラス

壜中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ注意シテ冷處ニ貯フヘシ

Bulbus Scillae.

Urginea maritima Bak.

海葱

海葱ハ木植物ノ肉質樣葱殼ヲ剝徹シテ條片トナシ乾燥セルモノナリ

本品ノ表皮ハ兩面共ニ裂孔ヲ具有シ中層組織ハ主トシテ澱粉ヲ含有セサル略〻球圓形ノ細胞ヨリ成リ多數ノ束鍼晶細胞ヲ含蓄シ並行セル一側性脈管束ヲ圍繞ス

本品ハ臭氣ナク味ハ不快ニシテ苦シ

本品ノ帶黃白色ニシテ半透明ナルモノハ硝子樣ニ破折セサル可カラス

本品ノ粉末ハ束鍼狀ノ蓚酸鹽結晶ニ富ミ澱粉ヲ含有スルモ少量ニ過ク可カラス又スクレヽンヒーム細胞ヲ含有ス可カラス

密閉シテ貯フヘシ

Caffeino-Natrium benzoïcum.

安息香酸ナトリウムカフェイン

安息香酸ナトリウムカフェイン」ハ

カフェイン　五十分　(50,0)

安息香酸ナトリウム　五十九分　(59,0)

蒸餾水　二百分　(200,0)

ヲ取リ之ヲ

ニ溶解シ蒸發乾燥シ製スヘシ

本品ハ白色無晶形粉末或ハ顆粒狀塊ニシテ臭氣ナク苦味ヲ有シ二分ノ水並四十分ノ酒精ニ溶解シ無色ノ液トナリ中性ノ反應ヲ微ス

本品ヲ硝子管中ニ熱スレハ白色ノ蒸氣ヲ發シ其蒸氣ハ管ノ冷部ニ凝結シテ「カフェイン」ノ細微結晶ヲ附著ス

本品ノ水溶液(1:10)ハ鹽酸ニ由テ「エーテル」ニ溶解スヘキ白色ノ結晶ヲ析出ス又過クロール鐵溶液ニ由テ淡褐色ノ沈澱ヲ生シ此沈澱ハ鹽酸及酒精ニ由テ再ヒ溶消ス又本品ヲ「クロヽフォルム」ト共ニ溫メ濾過シテ得タル液ハ蒸散ノ後カフェイン」ノ反應ヲ微スル結晶性ノ殘渣ヲ留ム

本品ノ水溶液(1:20)ハ硫化水素水並硝酸バリウム溶液ニ由テ變化ス可カラス又同上ノ水溶液二容量ニ酒精三容量ヲ和シ硝酸ヲ以テ酸性トナシタルモノハ硝酸銀溶液ニ由テ乳白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品〇・一七グラム(0,17 g)ヲ弱ク燒灼シ其殘留物ヲ水三十立方センチメートル(30 ccm)ニ溶解シ濾過シテ得タル液ハ硝酸ヲ以テ酸性トナシタル後硝酸銀溶液ニ由テ乳白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品〇・五グラム(0,5 g)ヲ水十立方センチメートル(10 ccm)ニ溶解シ之ニ「ナトロン濃液一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加ヘタル後逐次三回各十立方センチメートル(10 ccm)ノ「クロヽフォルム」ヲ

和シテ五分時間振盪シ其クロノフォルム液ヲ集メテ之ヲ蒸散シ百度ニ於テ乾燥スルニ少ナクモ〇・一一グラム(0,22 g)ノ乾燥カフェイン」ヲ殘留セサル可カラス

注意。シテ貯フヘシ

Caffeïno-Natrium salicylicum.

サリチール酸ナトリウムカフェイン

「サリチール酸ナトリウムカフェイン」ハ

カフェイン	五十分 (50,0)
サリチール酸ナトリウム	六十分 (60,0)

ヲ取リ之ヲ

蒸餾水	一百分 (200,0)

ニ溶解シ蒸發乾燥シテ製スヘシ

本品ハ白色無晶形ノ粉末或ハ白色顆粒狀ノ塊ニシテ臭氣ナク味微ニ苦クシテ甘味ヲ帶フ一分ノ水或約五十分ノ酒精ニ溶解ス

本品ノ水溶液(1:10)ハ過クロール鐵溶液ニ由テ紫色ヲ呈シ醋酸ニ由テ「エーテル」ニ溶解スヘキ白色ノ結晶ヲ析出ス又本品ヲ「クロノフォルム」ト共ニ混メ濾過シテ得タル液ハ蒸散ノ後カフェイン」ノ反應ヲ微スル結晶性ノ殘渣ヲ留ム

本品ノ水溶液(1:5)ハ無色ニシテ暫時放置ノ後呈色スルコトアルモ微ニ淡紅色ヲ呈スルニ過クル可カラス又酸性ノ反應ヲ微スルモ微弱ニ過クル可カラス

本品〇・一グラム(0,1 g)ヲ硫酸一立方センチメートル(1 ccm)ニ溶解スルニ泡沸又ハ着色ス可カラス

本品ノ水溶液(1:20)ハ硫化水素水或硝酸バリウム溶液ニ由テ變化セス又其二容量ニ酒精三容量ヲ和シ硝酸ヲ以テ酸性トナシタルモノハ硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過クル可カラス

本品〇・五グラム(0,5 g)ヲ水十立方センチメートル(10 ccm)ニ溶解シ之ニ「ナトロン」過一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加ヘタル後遂次三回各十立方センチメートル(10 ccm)ノ「クロノフォルム」ヲ和シテ五分時間振盪シ其クロノフォルム液ヲ集メテ之ヲ蒸散シ百度ニ於テ乾燥スルニ少ナクモ〇・一一グラム(0,2 g)ノ乾燥カフェイン」ヲ殘留セサル可カラス

注意。シテ貯フヘシ

Caffeïnum.

$C_8H_{10}N_4O_2 + H_2O = 212,28$

カフェイン

「カフェイン」ハ絹絲狀ノ光澤アル柔軟白色ノ鍼狀結晶ニシテ味微ニ苦ク八十分ノ水ニ無色ニ溶解シ中性ノ反應ヲ微シ一一分ノ沸湯ニ溶解シ冷後凝結シテ結晶性ノ膠狀トナル約五十分ノ酒精或九分ノ「クロノフォルム」ニ溶解シ「エーテル」ニ僅ニ溶解シ氣中ニ於テ風化シ百度ニ於テ結晶水ヲ失セ二百三十・五度ニ於テ熔融ス又本品ヲ徐キニ熱スレハ約百度ニ於テ一部揮散シ百八十度ニ至リ固性物ヲ殘留セスシテ全ク昇華ス

本品ノ水溶液ニ「タンニン」酸溶液ヲ和スレハ其過剰ニ溶解スヘキ沈澱ヲ生ス又本品一分ヲ「クロール」水十分ニ溶解シ電湯煎上ニ蒸發シテ得タル殘留物ハ黃赤色ヲ有シ之ニ少量ノ「アムモニア」水ヲ和スレハ紫紅色ヲ呈ス

本品ノ冷飽和水溶液ハ「クロール」水或ハ「ヨード」溶液ニ由テ混濁セス又アムモニア水ニ由テ染色ス可カラス又本品〇・一グラム(0,1 g)ハ硫酸或硝酸各一立方センチメートル(1 ccm)ニ無色ニ溶解スヘシ

注意。シテ貯フヘシ

Calcaria chlorata.

クロール石灰

クロール石灰ハ白色或ハ類白色ノ粉末ニシテ「クロール」樣ノ臭氣ヲ放チ其一部分ハ水ニ溶解ス

本品ニ醋酸ヲ加フレハ「クロール」ヲ發生シテ溶解シ之ニ水ヲ加ヘテ稀釋シ濾過シテ得タル液ハ蓚酸アムモニウム溶液ニ由テ白色ノ沈澱ヲ生ス

本品ハ百分中二十五分以上ノ有力クロール(Cl=35,45)ヲ含有ス

本品〇・五グラム(0,5 g)ヲ水二十立方センチメートル(20 ccm)ニ和シテ研磨シ「ヨードカリウム」一グラム(1 g)及鹽酸二十滴ヲ加フルニ由リ遊離シ來レル「ヨード」ヲ結合スルニハ十分定量次亞硫酸ナトリウム液少ナクモ三十五・二立方センチメートル(35,2 ccm)ヲ費サヽル可カラス

密閉シテ冷處ニ貯フヘシ

Calcaria sulfurata.
硫化石灰

硫化石灰ハ	七十分 (70,0)
蝦製硫酸カルチウム	十分 (10,0)
木炭末	二分 (2,0)
澱粉	

ヲ取リテ親密ニ混和シ坩堝内ニ容レ蓋閉シテ紅燼シ其内容物黑色ヲ失フニ至リテ放冷シ之ヲ研磨シテ粉末トナシ直チニ堝中ニ密閉スヘシ

本品ハ淡灰色ノ粉末ニシテ微ニ硫化水素ノ臭氣ヲ放チ氣中ニ於テ漸次ニ分解シ水ニ僅微ニ溶解シ熱湯ニ較〻溶解シ易ク酒精ニ溶解セス

本品ニ稀醋酸ヲ和スレハ夥シク硫化水素瓦斯ヲ發生シ渾濁シテ溶解ス其溶液ヲ濾過シテ得タル澄明液ニ蓚酸アムモニウム溶液ヲ加フレハ鹽酸ニ溶解スヘキ白色ノ沈澱ヲ生ス

硫酸銅二・〇八グラム(2,08 g)ヲ水五十立方センチメートル(50 ccm)ニ溶解シテ得タル液ヲ熱シテ沸騰スルニ至リ之ニ本品一グラム(1 g)ヲ漸次ニ投入シ次ニ重湯煎上ニ於テ十五分時間溫メ冷後濾過シテ得タル液ニ黃色血滷鹽溶液一滴ヲ和スルニ呈色ス可カラス

堝中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

Calcaria usta.
$CaO = 56$
蝦製石灰

蝦製石灰ハ類白色堅實ノ塊ニシテ半量ノ水ヲ注ケハ熱ヲ發シ漸々崩壞シテ白色ノ粉末ニ變シ三乃至四分ノ水ニハ全質均等ノ稠粥トナル之ニ硝酸ヲ注ケハ泡沸セスシテ殆ト全ク溶解シ此溶液ニ水ヲ加ヘテ稀釋シ過剩ノ醋酸ナトリウム溶液ヲ加ヘタル後蓚酸アムモニウム溶液ヲ注ケハ白澱ヲ生ス

密閉シテ貯フヘシ

Calcium carbonicum praecipitatum.
$CaCO_3 = 100$
沈降炭酸カルチウム

沈降炭酸カルチウムハ白色細微結晶性ノ粉末ニシテ水ニ殆ト溶解セス

本品ハ醋酸ニ泡沸シテ全溶シ其溶液ニ蓚酸アムモニウム溶液ヲ和スレハ白色ノ沈澱ヲ生ス

本品一分ニ沸湯五十分ヲ加ヘテ振盪シ濾過シテ得タル液ハ「アルカリ」性ノ反應ヲ徵セス又之ヲ蒸發スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

本品ニ稀醋酸ヲ加ヘ煮沸シテ得タル水溶液(1:50)ハ硝酸バリウム溶液ニ由テ直チニ變化セス硝酸銀溶液ニ由テ五分時間ヲ經ルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス又アムモニア水若クハ石灰水ヲ以テ過飽スルニ變化ス可カラス

本品一グラム(1 g)ヲ鹽酸性ノ水五十立方センチメートル(50 ccm)ニ溶解シタルモノハ黃色血滷鹽溶液〇・五立方センチメートル(0,5 ccm)ニ由テ藍色ヲ呈ス可カラス

Calcium hypophosphorosum.

$CaH_4(PO_2)_2 = 170,04$

次亞燐酸カルチウム

次亞燐酸カルチウム」ハ白色結晶性ノ粉末或ハ無色透映板狀ノ結晶ニシテ七分ノ水ニ溶解シ酒精ニ溶解セス

本品ヲ熱スレハ帶赤黃色ヲ呈シ自然ニ發火スル蒸氣ヲ發ス又本品ノ水溶液ニ蓚酸アムモニウム溶液ヲ和スレハ醋酸ニ溶解セサル白色ノ沈澱ヲ生シ又本品ノ水溶液ニ鹽酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノヲ過剩ニ昇汞溶液ニ和スレハ初メ白色後灰色ニ變スル沈澱ヲ生ス

本品ノ水溶液(1:20)ハ中性或ハ微弱酸性ノ反應ヲ微シ醋酸鉛溶液ヲ和スルモ沈澱ヲ生ス可カラス又クロールアムモニウム溶液及炭酸アムモニウム溶液ヲ加ヘ濾過シテ得タル液ハ燐酸ナトリウム溶液ニ由テ溷濁ス可カラス又硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシタル後硝酸バリウム溶液ヲ和スルニ溷濁ヲ起スニ過ク可カラス

壜中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

Calcium phosphoricum praecipitatum.

$CaHPO_4 + 2H_2O = 172,05$

沈降燐酸カルチウム

沈降燐酸カルチウム」ハ	二十分 (20,0)
炭酸カルチウム	五十分 (50,0)
ヲ取リ之ニ	五十分 (50,0)
鹽酸	
蒸餾水	

ノ混液ヲ攪拌シツヽ徐々ニ注加シ炭酸ノ發生衰フルニ至リ微溫ヲ與ヘ茲ニ得タル上澄液ヲ傾瀉シ之ニ「クロール水ヲ過剩ニ加ヘ更ニ熱シテ全ク「クロール臭ノ消失スルニ至リ

水化石灰	一分 (1,0)
ヲ加ヘ三十五乃至四十度ノ溫ニ於テ半時間放置シタル後濾過シ冷後其濾液ニ	
燐酸	一分 (1,0)
ヲ加ヘ別ニ	
燐酸ナトリウム	六十一分 (61,0)
ヲ	三百分 (300,0)
溫蒸餾水	

ニ溶解シ濾過シ二十乃至二十五度ノ溫ニ冷却シタルモノヲ攪拌シツヽ徐々ニ注加シ茲ニ生シタル沈澱ヲ善ク攪拌シ其結晶性トナルヲ俟チ漉布上ニ採集シ水ヲ以テ反覆洗滌シ其洗液ニ硝酸ヲ加ヘ酸性トナシ硝酸銀溶液ヲ加フルニ微ニ蛋白石濁ヲ起スニ過キサルニ至リ壓搾シテ水分ヲ去リ微溫ニ於テ乾燥シ細粉トナシ製スヘシ

本品ハ白色ノ輕キ結晶性粉末ニシテ水ニ殆ト溶解セス冷醋酸ニ僅ニ溶解シ鹽酸竝硝酸ニ泡沸セスシテ容易ニ溶解ス

本品ハ硝酸銀溶液ヲ以テ濕ホセハ黃色ヲ呈シ永ク熾灼シタル後ハ然ラス又本品ヲ醋酸ニ溶解シ之ニ蓚酸アムモニウム溶液ヲ加フレハ白色ノ沈澱ヲ生ス

本品一グラム(1g)ハ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3ccm)ニ由テ一時間以內ニ暗色ヲ呈ス可カラス

本品一分ニ水二十分ヲ和シテ振盪シ其濾液ニ醋酸ヲ加ヘタル後硝酸バリウム溶液ヲ和スルニ變化ス可カラス又硝酸銀溶液ヲ加フルモ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品ノ硝酸性水溶液(1:20)ハ過剩ノ「アムモニア水及硫化水素水ニ由テ純白色ノ沈澱ヲ生セサル可カラス

本品ヲ熾灼スルニ其重量ヲ減失スルコト百分ニ付キ二十五乃至二十六分ナラサル可カラス

○ Calcium sulfuricum ustum.　*Gypsum ustum.*

焙製硫酸カルチウム　燒石膏

焙製硫酸カルチウム」ハ白色ノ粉末ニシテ其一分ニ〇・五分ノ水ヲ和スレハ五分時間以內ニ固結スヘシ

密閉シテ貯フヘシ

○ Camphora depurata.

$C_{10}H_{16}O = 152,16$

精製樟腦

精製樟腦ハ無色透徹若シハ白色半透明結晶性柔韌ノ塊片或ハ白色結晶性粉末ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味ハ微苦ニシテ灼クカ如ク後清涼ナリ百七十五度ニ於テ溶融シ二百四度ニ於テ沸騰シ重湯浴ノ溫ニ於テ全ク揮散シ點火スレハ煙煤多キ光輝アル火焰ヲ放テ燃燒ス水ニ殆ト溶解セス「エーテル」「クロロフオルム」又酒精ニ容易ニ溶解ス

本品ヲ粉碎スルニハ酒精或ハ「エーテル」ヲ以テ濕ホスヘシ

壓中ニ容レ嚴密シ冷處ニ貯フヘシ

Camphora monobromata.

$C_{10}H_{15}BrO = 231,11$

プロームス樟腦

プロームス樟腦ハ無色稜柱形ノ鹽狀或ハ板狀結晶ニシテ氣中ニ於テ變化セス香味ハ樟腦ニ類シ軟化度七十六度ニ於テ溶融ス水ニ殆ト溶解セス中性ノ反應ヲ微シ酒精「エーテル」又「クロロフオルム」ニ容易ニ溶解ス

本品ヲ稀硝酸一容量及酒精五容量ノ混和液ニ和シ熱ス煮ヘテ溶解シ之ニ純粗鉛ヲ投シ水蒸瓦斯ノ發生少時持續シ後硝酸銀溶液ヲ加フレハ帶黃白色ノ沈澱ヲ生ス

本品ハ硫酸ニハ全ク或ハ殆ト無色ニ溶解スヘシ

本品ノ酒精溶液ニ硝酸銀溶液ヲ加ヘテ震盪スルニ沈澱ヲ生ス可カラス

注意○・○一グラム(0,02 gr)ヲ燃化スルニ固性物ヲ殘留ス可カラス

密閉シテ貯フヘシ

Cantharides.

Epicauta Gorhami *Mars.*

カンタリス

カンタリス」ハ本昆蟲ヲ乾燥セルモノナリ

本品ハ長サ一・五乃至一・八センチメートル(1,5–1,8 cm)廣サ四乃至五ミリメートル(4–5 mm)ナリ甲殼ハ暗黑色ニシテ邊緣及中央ニ於テ類黃色ノ毛ヨリ成レル線條アリ頭ハ略〻心臟形ニシテ二角形ヲナシ其後部ハ代赭色ヲ有ス腹部ハ黑色ニシテ光澤ヲ有シ下腹部ハ類黃色ノ毛ヨリ成レル四乃至五條ノ帶帶ヲ具フ

カンタリス」ハ不快ノ劇臭ヲ有ス

本品ノ中末十グラム(10 g)ニ「クロロフオルム」百立方センチメートル(100 ccm)及醋酸一立方センチメートル(2 ccm)ヲ加ヘ屢〻振盪シツツ放置スルコト二十四時間ノ後クロロフオルム液五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ取リ乾燥濾紙ヲ用ヒテ善ク蒸發シツツ殘メ精密ニ秤量シタル硝子皿中ニ濾入シ蒸溜シテ「クロロフオルム」分ヲ去リ殘溜ニ石油ベンチン五立方センチメートル(5 ccm)ヲ注キ密閉シ時々搖動シツツ放置スルコト十二時間ノ後豫メ百度ノ溫ニ於テ乾燥シ秤量シタル石油ベンチンヲ以テ濕ホシタル直徑五センチメートル(5 cm)ノ濾紙ヲ用ヒテ濾過シ不溶分ニハ搖動シツツ適次二回各石油ベンチン十立方センチメートル(10 ccm)ヲ注キ前ノ濾紙ヲ用ヒテ濾過シ濾紙及硝子皿ハ乾燥シ每十立方センチメートル(10 ccm)ニ炭酸アムモニウム溶液一滴ヲ添加セル水ノ少量ヲ以テ洗滌シ洗液ノ黃色ヲ呈スルニ至リ更ニ一回水五立方センチメートル(5 ccm)ヲ以テ洗滌シ硝子皿

壺及濾紙ノ液分ヲ滴去セシメタル後乾燥シ濾紙ハ内容ト共ニ硝子壺ニ容レ百度ノ溫ニ於テ乾燥シ恆量ヲ得ルニ至ルニ其結晶性殘渣ノ重量少ナクモ〇・一グラム(0.1 g)ナラサル可カラス

本品ヲ灰化スルモ百分ニ付キ八分以上ノ固性物ヲ遺ス可カラス

注意シテ貯フヘシ

Capsulae Copaïvae.

コパイバ膠囊

コパイバ膠囊ハ其一箇中コパイバ「トルサム」ノ條ニ掲クル性質ヲ具フル「コパイバトルサム〇・五グラム(0.5 g)ヲ包有スル膠囊ナリ

Carbo Ossium pulveratus.

骨炭末

骨炭末ハ尋常骨炭ヲ粉碎シ數回稀鹽酸ヲ加ヘテ溫浸シ沸湯ヲ以テ充分ニ洗滌シタル後其一小部分ヲ取リ燃燒スルニ固性物ヲ殘留スルコト極メテ僅微ニ過キサルニ至リ之ヲ乾燥シ更ニ坩堝ニ入レ閉蓋シテ熾灼シ微溫ニ乘シテ器中ニ密閉シ貯フヘシ

本品ハ黑色ノ粉末ニシテ之ニ水ヲ和シテ煮沸スルニ其液ハ酸性ノ反應ヲ微ス可カラス又稀鹽酸ヲ和シテ煮沸シ濾過シテ得タル液ハ硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス

Carrageen.

Chondrus crispus *Lyngbye. et*
Gigartina mammillosa *J. G. Agardh.*

カラゲーン

カラゲーン」ハ本植物ヲ乾燥セルモノナリ

本品ハ黃白色乃至類褐黃色角質樣ニシテ葉狀ヲナシ手大ニ過キス廣狹種々ニ瓣裂ス

本品一分ニ水三十分ヲ加フレハ軟化シテ粘滑トナリ更ニ煮沸スレハ冷後濃稠トナリ「ヨード溶液ニ由テ藍色ヲ呈セサル淡味ノ粘漿ヲ生ス

本品一分ニ水五分ヲ加ヘ平等ニ浸シ濾過シテ得タル液ハ藍色試驗紙ヲ赤變ス可カラス其濾液十立方センチメートル(10 ccm)ハ十分定規ヨード液一滴ニ由テ黃色ヲ呈セサル可カラス

本品ニ他ノ藻類ヲ混有スルコトアルモ些少ニ過ク可カラス

Carvonum.

$C_{10}H_{14}O = 150,14$

カルウォン

カルウォン」ハ「カールム油中ニ存スル酸素含有ノ部分ナリ

本品ハ無色或ハ淡類黃色ノ液ニシテ「カールム實ニ類スル芳香性ノ氣味ヲ有シ沸騰點二百二十九乃至二百三十度比重〇・九六以上ナリ

本品一分ハ二分ノ稀酒精ニ澄明ニ溶解セサル可カラス

Caryophylli.

Eugenia aromatica *Baill.*

丁香

丁香ハ本植物未開ノ花ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ褐色ヲ有シ其實礎ハ長ク鈍四稜性圓壔ヲナシ上部ニ二箇ノ小房ヲ具有ス上端ニハ四裂セル蕚ヲ戴キ內側ニハ殆ト圓形淡褐色ノ花瓣ヲ附著シ花瓣ハ多數ノ雄蕊ヲ擁包シ球狀ヲナス

本品ノ實礎及蕚ハ特ニ巨大圓形ノ分泌器ヲ包藏シ壓スレハ揮發油ヲ滲出ス

本品ハ氣味特異芳香性ニシテ峻烈ナリ

密閉シテ貯フヘシ

Cascara sagrada. *Cortex Rhamni Purshianae.*

Rhamnus Purshiana. *D. C.*

カスカラサグラダ

カスカラサグラダ」ハ本植物ノ皮ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
本品ハ半管狀又ハ管狀ヲナシ長サ三乃至十センチメートル(3-10 cm)厚サ二ミリメートル(2 mm)ニ至リ外面ハ褐色ニシテ横形ノ枹疣ヲ有シ屢灰白色ノ地衣ヲ被ルモノアリ内面ハ類黄色乃至類褐色ヲ有ス破折面ハ類黄色ヲ呈シ厚キ皮ニ在テハ其内邊稍纖維性ナリ味ハ苦シ
本品ノ粗末一分ニ水百分ヲ和シ冷浸シテ得タル澄明ノ液ニ「アムモニア水」二三滴ヲ加フレハ黄赤色ヲ呈ス
本品ヲ石灰水ニ浸セハ其内面暗赤色ヲ呈ス

Catechu.
阿仙藥

(甲) ガムビール
Ourouparia Gambir *Bail.*

「ガムビール」ハ印度ニ於テ本植物ノ葉及稚梢ヨリ製セル乾燥越幾斯ニシテ類褐色破碎シ易キ塊ヲナシ内部ハ淡色ナリ

(乙) ペグ阿仙藥
Acacia Catechu *Willd.*

ペグ阿仙藥ハ印度ニ於テ本植物ノ木心ヨリ製セル乾燥越幾斯ニシテ内外共ニ暗褐色ヲ有スル塊ヲナシ時トシテハ孔穴ヲ有シ破碎面ハ大貝殼狀ヲ呈ス
阿仙藥ヲ「グリセリン」ト共ニ研和シ顕微鏡下ニ二百倍ニ廓大シテ檢視スレハ概シテ結晶性ヲ呈ス
味ハ收斂性ニシテ稍〻苦ク後微甘ナリ
本品ノ稀薄酒精溶液ハ過クロール鐵溶液ニ由テ綠色ヲ呈ス
本品一分ニ十分ノ水ヲ加ヘテ煮沸スレハ帶褐赤色酸性ノ混濁液ヲ生シ其不溶分ヨリ傾瀉シタル液ハ冷後膠シク褐色ノ沈澱ヲ生ス前ノ不溶分ハ熱湯ヲ以テ之ヲ洗滌シ百度ニ於テ乾燥スルニ百分ニ付キ十五分ニ過グ可カラス又本品ニ沸騰酒精ヲ加ヘテ充分ニ浸出シ茲ニ殘留スル物質ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ百分ニ付キ十五分ニ過グ可カラス
本品ヲ灰化スルニ百分ニ付キ六分以上ノ固性物ヲ遺ス可カラス

Cautschuc.
彈力ゴム

「彈力ゴム」ハ熱帶地方ニ產スル桑科、蕁麻科、大戟科及夾竹桃科ニ屬スル諸種ノ喬木ヨリ採集シタル乳汁ヲ乾燥シ精製シテ得タルモノナリ
本品ハ褐色半透明厚サ約〇.五ミリメートル(0,5 mm)ノ板形ヲナシ强キ彈力ヲ有シ水並酒精ニ溶解セス「ベンツォール」、石油「ベンチン」、クロトフォルム又硫化炭素ニ溶解ス本品ハ約百二十度ニ於テ熔融シ熱湯ニ浸漬スルモ軟化セス又搓揑性トナラス
本品一分ニ石油「ベンチン」七.五分ヲ加フルニ數時間以内ニ溶解シ殘渣ヲ遺ス可カラス
本品〇.二グラム(0,2 g)ヲ細切シ之ヲ硝酸ナトリウム一分ヨリ成レル熔和物二グラム(2 g)中ニ漸々投入スレハ火焰ヲ發シテ燃化シ其熔塊ハ冷後殘渣ヲ留メスシテ水ニ溶解スヘシ又其溶液(1:50)ハ硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシタル後硝酸バリウム溶液ニ由テ變化ス可カラス

Cera alba.
白蠟

白蠟ハ黄蠟ノ日光ニ晒白シテ得タルモノナリ
本品ハ白色或ハ類白色ノ塊ニシテ約六十四度ニ於テ熔融シ無色ノ液トナル比重〇.九六五乃至〇.九七五ナリ
本品ハ取油性ノ臭氣ヲ有ス可カラス
酒精三分ニ水七分ヲ混和シ氣泡ノ消失シ盡クルニ至ル迄十五度ニ於テ放置シ之ニ本品ノ球粒狀ニ

裝成セルモノヲ投スルニ其球粒ハ液中ニ懸留セサル可カラス或ハ然ラサルモ更ニ水ヲ混和シテ其混液ノ比重ヲ〇・九六五乃至〇・九七五トナストキハ懸留スルニ至ラサル可カラス此用ニ供スル本品ノ球粒ヲ作ルニハ本品ヲ成ルヘク低度ノ溫ニ於テ熔融セシメ酒精ヲ容レタル硝子器中ニ滴下セシムヘシ但此球粒ハ二十四時間氣中ニ放置スルノ後試驗ニ供スヘシ

本品一グラム(1 g)ニ酒精二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ加ヘ二三分時間煮沸シ一時間ノ後濾過シテ得タル無色ノ冷液ハ藍色試驗紙ヲ赤變スルモ僅微ニ過ク可カラス又水ヲ和スルニ著シク溷濁ス可カラス

本品一グラム(1 g)ニ水十立方センチメートル(10 ccm)及炭酸ナトリウム三グラム(3 g)ヲ加ヘ熱シテ劇シク沸騰スルニ至リ冷却セシムレハ本品ハ液面ニ析出シ其液ハ蛋白石濁ヲ現ハスニ過ク可カラス

本品三グラム(3 g)ニ酒精五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ加ヘ熱シテ沸騰スルニ至リ冷後フェノールフタレイン溶液十二滴ヲ添加シ之ニ酒精製二分定規カリ液ヲ滴加シテ赤色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スコト〇・五乃至〇・八五立方センチメートル(0,5–0,85 ccm)ナラサル可カラス更ニ此混和液ニ酒精製二分定規カリ液二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ注加シ一時間重湯煎中ニ熱シ二分定規鹽酸ヲ用ヒテ剩餘ノ「カリ」液ヲ中和スルニ其酸液ヲ費スコト十乃至十一・四立方センチメートル(10–11,4 ccm)ナラサル可カラス

Cera flava.
黃蠟

黃蠟ハ蜂巢ヨリ蜂蜜ヲ採集シタル後注意シテ熔出セシモノナリ

本品ハ淡黃色乃至黃色ノ塊ヲナシ六十三乃至六十四度ニ於テ熔融シテ蜂蜜ノ香氣ヲ有スル澄明ノ液トナル比重〇・九六二乃至〇・九七二ナリ

酒精二分ニ水七分ヲ混和シ氣泡ノ消失シ盡クルニ至ル迄十五度ニ於テ放置シ之ニ本品ノ球粒狀ニ裝成セルモノヲ投スルニ其球粒ハ液中ニ懸留セサル可カラス或ハ然ラサルモ更ニ水ヲ混和シテ其混液ノ比重ヲ〇・九六二乃至〇・九七二トナストキハ懸留スルニ至ラサル可カラス此用ニ供スル本品ノ球粒ヲ作ルニハ本品ヲ成ルヘク低度ノ溫ニ於テ熔融セシメ酒精ヲ容レタル硝子器中ニ滴下セシムヘシ但シ此球粒ハ二十四時間氣中ニ放置スルノ後試驗ニ供スヘシ

其他ノ試驗ハ白蠟ノ條ニ掲クル所ニ同シ

Cerium oxalicum.
蓚酸セリウム

$Ce_2(C_2O_4)_3 + 9H_2O = 706,18$

蓚酸セリウム」ハ白色無味無臭顆粒狀ノ粉末ニシテ氣中ニ於テ變化セス水竝酒精ニ溶解セス

本品ノ鹽酸溶液ニ「ナトロン」溷液ヲ加フレハ其過剩ニ溶解セサル凝膠樣ノ沈澱ヲ生ス其濾液ヲ醋酸ヲ以テ過飽シ之ニ「クロールカルチウム」溶液ヲ加フレハ白澱ヲ生ス

本品ハ泡沸セスシテ鹽酸ニ溶解シ其溶液ニ「ナトロン」溷液ヲ加ヘテ生シタル凝膠樣ノ沈澱ヲ濾別シ此濾液ニ過剩ノ「クロールアムモニウム」溶液ヲ和シテ熱スルニ沈澱ヲ生ス可カラス之ニ硫化アムモニウム」ヲ加フルモ亦然リ

本品ヲ弱ク熾灼スルニ百分ニ付キ黃色或ハ帶黃赤色中性ノ粉末約四十八分ヲ殘留スヘシ此殘留物ヲ鹽酸ニ溶解シ水ヲ以テ稀釋シタル液(1:40)ハ硫化水素水ニ由テ沈澱ヲ生ス可カラス此溶液ヲ「アムモニア」水ヲ以テ過飽シ濾過シテ得タル液ハ蓚酸アムモニウム溶液竝燐酸ナトリウム溶液ニ由テ沈澱ヲ生ス可カラス

本品一分ニ五十分ノ水ヲ加ヘ振盪シ濾過シテ得タル液ハ硝酸銀溶液ニ由テ强蛋白石濁又硝酸バリウム溶液ニ由テ溷濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品ヲ「ナトロン」溷液ニ和シテ熱スルニ「アムモニア」臭ヲ發ス可カラス

注意シテ貯フヘシ

Cetaceum.
Physeter macrocephalus *L.*

鯨蠟

鯨蠟ハ主トシテ本動物ノ頭部ニ於ケル腔窩中ニ存スル油質ノ固形成分ヲ精製セルモノナリ
本品ハ巨葉狀ノ紋理ヲ有シ眞珠樣ノ光澤アル白色ノ結晶塊ヲナシ破碎シ易ク四十五乃至五十度ニ於テ熔融シテ敗油性ナラサル微弱ノ臭氣ヲ有スル無色澄明ノ液トナル比重約〇・九四三ナリ
本品ハ「エーテル、クロ、フォルム、硫化炭素又沸騰酒精ニ溶解ス本品一分ヲ約五十分ノ沸騰酒精ニ溶解レ常温ニ於テ放置スレハ徐々ニ再ヒ結晶ス其結晶ヨリ傾瀉シタル液ハ試驗紙ヲ變色セス又同容量ノ水ヲ和スルニ絮狀ノ沈渣ヲ生ス可カラス
本品一グラム(1g)ニ無水炭酸ナトリウム一グラム(1g)及酒精五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ和シ煮沸シ濾過シテ得タル液ニ醋酸ヲ加ヘテ酸性トナスモ溷濁ヲ生スルニ止マリ沈渣ヲ生ス可カラス

Charta rubefaciens.
引赤紙

引赤紙ハ	
黄蠟	八分 (8,0)
鯨蠟	三分 (3,0)
オレーフ油	四分 (4,0)
カンタリス細末	一分 (1,0)
テレビンチーナ	一分 (1,0)
常水	十分 (10,0)

ヲ取リ混和シ絶ヘス攪拌シテ二時間煮沸シ歴ヲ加ヘスシテ絨布ヲ以テ濾過シ濾液ノ凝塊ヲ扁皿中ニ容レ重湯煎上ニ熔融シテ液狀ヲ保タシメ平等ニ紙片ノ一面ニ塗布シ製スヘシ

Chininum aethylcarbonicum.

$C_{20}H_{24}N_2O_2 = 396,36$

エチール炭酸キニーネ

エチール炭酸キニーネ」ハ無色柔軟ノ鍼狀結晶ニシテ殆ト臭氣ナク微ニ苦味ヲ有シ九十五度ニ於テ熔融ス水ニ僅微ニ酒精、エーテル又クロ、フォルム」ニ容易ニ溶解ス
本品〇・一グラム(0,1g)ヲ「クロール水ニ溶解シ之ニ過剰ノ「アムモニア水ヲ加フレハ綠色ヲ呈ス又本品ハ少量ノ稀硫酸ヲ和シタル水ニ容易ニ溶解シ其液ハ藍綠色ノ螢石彩ヲ呈ス
本品〇・一グラム(0,1g)ニ硫酸一立方センチメートル(1 ccm)ヲ和シ熱ヲ加ヘテ溶解シ之ニ重クロームム酸カリウム溶液一滴ヲ加フレハ綠色ノ溶液ヲ生シ「アルデヒード」ノ臭氣ヲ放ツ
本品ノ硝酸性水溶液ハ硝酸バリウム溶液竝硝酸銀溶液ニ由テ溷濁ス可カラス
本品ヲ燃スレハ固性物ヲ殘留セスシテ燃化スヘシ

Chininum bisulfuricum.

$C_{20}H_{24}N_2O_2 . H_2SO_4 + 7H_2O = 548,54$

重硫酸キニーネ

重硫酸キニーネ」ハ光輝アル無色稜柱狀結晶ニシテ氣中ニ於テ風化シ光ニ觸ルレハ黄色トナリ味甚タ苦ク十一分ノ水竝三十二分ノ酒精ニ溶解シ其水溶液ハ酸性ノ反應ヲ微シ藍色ノ螢石彩ヲ現ハス熔融點約八十度ナリ
本品ノ水溶液ニ「クロール水ヲ和シタル後過剰ノ「アムモニア水ヲ加フレハ綠色ヲ呈ス又硝酸バリウム溶液ヲ加フレハ酸類ニ溶解セサル白渣ヲ生ス
本品ヲ硫酸又ハ硝酸ヲ以テ濡ホスニ類黄色ヲ呈スルニ過ク可カラス 又本品ノ水溶液(1:50)ニ二三滴ノ硝酸ヲ和シタルモノハ硝酸銀溶液ニ由テ溷濁ス可カラス
本品二グラム(2g)ヲ試驗管ニ取リ水二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ和シ微温ヲ與ヘテ溶解シ定規カリ液ヲ以テ精密ニ中和シ絶ヘス振盪シツヽ半時間六十乃至六十五度ノ温ヲ與ヘ尋テ試驗管ヲ十五度ノ水中ニ入レ屢振盪シツヽ二時間放置シ茲ニ於テ其内容物ヲ約百平方センチメートル

(100 gcm)ノ乾燥布片ニ包ミ絞搾シテ得タル液ヲ直徑七センチメートル(7 cm)ノ濾紙ニ由テ濾過シ十五度ニ於テ其濾液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ乾燥セル試驗管ニ取リ十五度ニ於テ徐々ニ「アムモニア水ヲ加ヘテ輕ク搖動スルニ初メ生シタル沈澱復タ全ク溶消シテ澄明トナルニ至ルニハ其アムモニア水ヲ費スコト七・五立方センチメートル(7,5 ccm)ニ過ク可カラス

本品ヲ百度ニ於テ徐々ニ乾燥シ恆量ヲ得ルニ至ルニ其減失百分ニ付キ二十三分ニ過ク可カラス

本品〇・二グラム(0,2 g)ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

器中ニ容レ密閉シ光ヲ遮リ貯フヘシ

Chininum ferro-citricum

枸櫞酸鐵キニーネ

枸櫞酸鐵キニーネ」ハ光澤アル　透映暗赤褐色ノ薄キ小葉片ニシテ其味苦ク鐵味ヲ帶ヒ水ニ徐々ニ全溶シ酒精ニ僅微ニ溶解ス

本品ノ水溶液ニ鹽酸ヲ加ヘテ酸性トナシタル　黄色血滷鹽溶液ニ由テ藍色ヲ呈シ「アムモニア水ヲ加フレハ「エーテル」ニ全溶スヘキ白色ノ沈澱ヲ生ス

本品ハ百分中九乃至十分ノ純キニーネ($C_{20}H_{24}N_2O_2$=324,32)ヲ含有ス

本品ヲ熱スレハ初メ炭化シ尋テ燃燒ス其殘留物ハ「アルカリ性ノ反應ヲ微ス可カラス

本品ノ水溶液(1:5)ニ「カリ滷液ノ過剩ヲ和シテ煮沸シ其鐵分悉ク沈降スルニ至ルニ「アムモニア」ヲ發ス可カラス　其濾滓ヲ濾別シテ得タル液ニ醋酸ヲ加ヘテ酸性トナスニ久シキヲ經ルモ結晶性ノ沈澱ヲ生ス可カラス　又其水溶液(1:20)ニ硝酸バリウム溶液ヲ和スルモ僅微ノ溷濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品一グラム(1 g)ヲ水四立方センチメートル(4 ccm)ニ溶解シ之ニ「ナトロン滷液ヲ和シテ強アルカリ性トナシ逐次三回各七立方センチメートル(7 ccm)ノ「エーテル」ヲ加ヘテ振盪シ「エーテル液ヲ採集シ蒸發シ其殘留物ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ其重量少ナクモ〇・〇九グラム(0,09 g)ナラサル可カラス　以上ノ方法ニ由テ得タル「キニーネ」ヲ酒精ニ溶解シ之ニ稀硫酸ヲ加ヘテ全ク中性トナシ蒸發シテ結晶セシメタルモノ、試驗ハ硫酸キニーネ」ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

本品一グラム(1 g)ヲ弱ク熾灼シ硝酸ヲ以テ濡ホシ微溫ニ於テ蒸發シ更ニ熾灼スルニ少ナクモ〇・三グラム(0,3 g)ノ酸化鐵ヲ殘留セサル可カラス

光ヲ遮リ貯フヘシ

○ Chininum hydrochloricum.

$C_{20}H_{24}N_2O_2$. HCl+2 H_2O=396,82

鹽酸キニーネ

鹽酸キニーネ」ハ白色鍼狀ノ結晶ニシテ味甚タ苦ク　三分ノ酒精並三十四分ノ水ニ溶解ス其水溶液ハ無色中性ニシテ螢石彩ヲ現ハサス

本品ノ水溶液(1:200)五立方センチメートル(5 ccm)ニ「クロール水一立方センチメートル(1 ccm)ヲ和シ尋テ「アムモニア水ノ過剩ヲ加フレハ綠色ヲ呈ス　又其水溶液ニ硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシタル後硝酸銀溶液ヲ和スレハ白沈澱ヲ生ス

本品ノ水溶液(1:50)ハ硝酸バリウム溶液ニ由テ溷濁スルモ僅微ニ過ク可カラス　又稀硫酸ニ由テ溷濁ス可カラス

本品〇・〇五グラム(0,05 g)ニ硫酸十滴及硝酸一滴ヲ和スルニ帶赤黄色ヲ呈ス可カラス　又本品ヲ石灰乳ニ和シテ煮沸スルニ「アムモニア」ヲ發ス可カラス

本品二グラム(2 g)ニ水二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ和シ六十度ノ溫ヲ與ヘテ溶解スルニ至リ其溶液ニ風化セサル硫酸ナトリウム」ノ新ニ粉末トナセルモノ一グラム(1 g)ヲ投シ茲ニ生シタル糜粥狀塊ヲ攪和シツヽ重湯煮上ニ五分時間燃シタル後十五度ニ於テ一時間放置シ其內容物ヲ約百平方センチメートル(100 qcm)ノ乾燥布片ニ包ミ絞搾シテ得タル液ヲ直徑七センチメートル(7 cm)ノ濾紙ニ由テ濾過シ十五度ニ於テ其濾液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ乾燥セル試驗管ニ取リ十五度ニ於テ徐々ニ「アムモニア水ヲ加ヘテ輕ク搖動スルニ初メ生シタル沈澱復タ全ク溶消シテ澄明トナルニ至ルニハ其アムモニア水ヲ費スコト六立方センチメートル(6 ccm)ニ過ク可カラス

本品一グラム(1g)ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト〇・〇九グラム(0,09 g)ニ過ク可カラス

本品〇・二グラム(0,2 g)ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

Chininum sulfuricum.

$(C_{20}H_{24}N_2O_2)_2.H_2SO_4+8H_2O=890,88$

硫酸キニーネ

硫酸キニーネハ白色細緻ノ鍼狀結晶ニシテ味甚タ苦ク約八百分ノ水二十五分ノ沸湯又六分ノ沸騰酒精ニ溶解ス其水溶液ハ中性ニシテ螢石彩ヲ現ハサス之ニ稀硫酸一滴ヲ點スレハ藍色ノ螢石彩ヲ現ハス

本品ノ冷飽和水溶液五立方センチメートル(5 ccm)ニ「クロール」水一立方センチメートル(1 ccm)ヲ和シ尋テ「アムモニア」水ノ過剩ヲ加フレハ綠色ヲ呈ス又硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシタル後硝酸「バリウム」溶液ヲ和スレハ白堊ヲ生ス

本品ヲ硫酸若クハ硝酸ヲ以テ濡ホスニ殆ト染色ス可カラス又石灰乳ニ和シテ「煮沸スルニ「アムモニア」ヲ發ス可カラス又本品ノ冷飽和水溶液ハ稀硝酸ヲ以テ酸性トナシタル後硝酸銀溶液ヲ加フルニ變化ス可カラス

本品一グラム(1g)ニ「クロロフォルム」二容量及純アルコホル一容量ノ混和液七立方センチメートル(7 ccm)ヲ和シ少時四十乃至五十度ノ溫ヲ與フルニ全ク溶解シ冷ユルモ殆ト澄明ニ止マルヘシ

本品ノ四十乃至五十度ニ於テ充分風化シタルモノ二グラム(2g)ヲ試驗管ニ取リ水二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ和シ絕ヘス攪拌シツヽ半時間六十乃至六十五度ノ溫ヲ與ヘ尋テ試驗管ヲ十五度ノ水中ニ入レ屢振盪シツヽ二時間放置シ其內容物ヲ約百平方センチメートル(100 qcm)ノ乾燥布片ニ包ミ絞搾シテ得タル液ヲ直徑七センチメートル(7 cm)ノ濾紙ニ由テ濾過シ十五度ニ於テ其濾液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ乾燥セル試驗管ニ取リ十五度ニ於テ徐々ニ「アムモニア」水ヲ加ヘテ輕ク搖動スルニ初メ生シタル沈澱復タ全ク溶消シテ澄明トナルニ至ルニハ其「アムモニア」水ヲ費スコト六立方センチメートル(6 ccm)ニ過ク可カラス

本品一グラム(1g)ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト〇・一五グラム(0,15 g)ニ過ク可カラス

本品〇・二グラム(0,2 g)ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

光ヲ遮リ貯フヘシ

Chininum tannicum.

タンニン酸キニーネ

タンニン酸キニーネハ帶黃白色無臭無晶形ノ粉末ニシテ極メテ微弱ノ苦味並澁味ヲ有シ水ニ僅微ニ溶解シ酒精ニ較〻溶解シ易シ

本品ハ百分中三十乃至三十二分ノ純キニーネ($C_{20}H_{24}N_2O_2=324,32$)ヲ含有ス

本品ノ水溶液若クハ酒精溶液ニ過クロール鐵溶液ヲ加フレハ藍黑色ヲ呈ス

本品ニ水及少許ノ硝酸ヲ和シテ振盪シ濾過シテ得タル液(1:50)ハ硫化水素水並硝酸銀溶液ニ由テ變化ス可カラス又硝酸バリウム溶液ニ由テ直チニ溷濁スルモ僅微ニ止マルヘシ

本品一グラム(1g)ヲ分液漏斗ニ取リ水四立方センチメートル(4 ccm)ヲ和シ「ナトロン」瀉液ヲ以テ強アルカリ性トナシ十五立方センチメートル(15 ccm)ノ「エーテル」ヲ加ヘ強ク振盪シ其澄明ナル上層液ヲ豫メ秤量セル器中ニ取リ尙二回各十五立方センチメートル(15 ccm)ノ「エーテル」ヲ加ヘテ振盪分取スヘシ斯ノ如ク採集シタル「エーテル」液ヲ蒸餾若クハ蒸發シ殘留物ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ其重量少ナクモ〇・二グラム(0,3 g)ナラサル可カラス又較〻多量ノ「タンニン酸キニーネ」ヲ取リ同上ノ方法ニ由リ製出シタル「キニーネ」ヲ更ニ酒精ニ溶解シ稀硫酸ヲ加ヘテ精密ニ中和シ蒸發シテ得タルモノハ其性質總ヘテ硫酸キニーネ」ノ條ニ掲クル所ニ一致セサル可カラス

本品〇・二グラム(0,2 g)ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

光ヲ遮リ貯フヘシ

○ Chloralum hydratum.

$C_2HCl_3O.H_2O = 165,38$

抱水クロラール

抱水クロラール」ハ無色透明ノ乾燥結晶ニシテ鹽透性ノ臭氣ヲ放チ味ハ腐蝕性ニシテ稍〻苦シ五十八度ニ於テ熔融シ水、酒精又エーテル」ニ容易ク、脂肪油竝硫化炭素ニ僅ニ又五分ノ「クロ、フォルム」ニ徐々ニ溶解ス

本品ニ「ナトロン溶液ヲ和シテ熱スレハ初メ溷濁シ次ニ「クロ、フォルム」ヲ析出シテ澄明ノ液トナル

本品一グラム(1 g)ヲ酒精十立方センチメートル(10 ccm)ニ溶解シテ得タル液ハ藍色試驗紙ヲ殆ト赤變セス之ニ硝酸銀溶液ヲ加フルニ直チニ變化ス可カラス又本品〇・五グラム(0.5 g)ヲ硫酸五立方センチメートル(5 ccm)ト共ニ硝子栓ヲ有スル內徑三センチメートル(3 cm)ノ硝子管ニ容レ屢〻振盪シテ放置スルモ一時間以內ニ染色ス可カラス

本品〇・二グラム(0.2 g)ヲ注意シテ熱スル生スル蒸氣ハ燃燒性ヲ有ス可カラス

壜中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ

○ Chloroformium.

$CHCl_3 = 119,36$

クロロフォルム

クロロフォルム」ハ澄明揮發性ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味微ニ甘ク六十乃至六十二度ニ於テ沸騰ス水ニ極メテ僅微ニ溶解シ酒精、エーテル、脂肪又揮發油ニ混和ス比重一・四八五乃至一・四九五ナリ

本品ニ半容量ノ水ヲ和シテ振盪スルニ其水ハ藍色試驗紙ヲ赤變セス又本品ヲ等分ノ水ヲ以テ稀釋シタル硝酸銀溶液中ニ注意シテ注加スルニ其硝酸銀溶液溷濁ス可カラス

本品ハ之ニ「ヨード亞鉛澱粉溶液ヲ和シ振盪スルニ染色セス又其ヨード亞鉛澱粉溶液ハ藍染ス可カラス

本品二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ硫酸十五立方センチメートル(15 ccm)ト共ニ硝子栓ヲ有スル硝子管ニ入レ屢〻振盪スルニ一時間以內ニ其硫酸染色ス可カラス

壜中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

Chrysarobinum. *Araroba depurata.*

Andira Araroba *Aguiar.*

クリサロビン　精製ゴア末

クリサロビン」ハ本植物ノ幹ノ空窩中ニ析出セル物質ヲ精製セルモノナリ

本品ハ黃色ノ輕キ結晶性粉末ニシテ二千倍ノ水ヲ加ヘテ煮沸スルモ悉ク溶解セス之ヲ濾過シテ得タル無味ノ液ハ微ニ帶褐類赤色ヲ呈シ試驗紙ヲ變色セス又過クロール鐵溶液ニ由テ著色セス

本品ニ「アムモニア水ヲ和シ振盪シテ一日間放置スレハ徐々ニ洋紅色ヲ呈ス又本品〇・〇〇一グラム(0.001 g)ヲ時計硝子ニ取リ發烟硝酸一滴ヲ加ヘ其赤色ノ溶液ニ「アムモニア水ヲ混攪スレハ紫色ヲ呈ス

本品ヲ硫酸ニ撒布スレハ帶赤黃色ノ液ヲ生セサル可カラス又本品一分ハ百五十分ノ熱酒精、溫クロロフォルム又硫化炭素ニ溶解シテ僅微ノ不溶分ヲ遺スニ過ク可カラス

本品ヲ熱スレハ熔融シテ黃色ノ蒸氣ヲ放チ炭化スルモ僅微ニ過キス

本品〇・二グラム(0.2 g)ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

○ Cocaïnum hydrochloricum.

$C_{17}H_{21}NO_4.HCl = 339,71$

鹽酸コカイン

鹽酸コカイン」ハ白色無臭ノ小葉狀或ハ稜柱狀結晶或ハ結晶性ノ粉末ニシテ水竝酒精ニ溶解シ中

性ノ反應ヲ微ス此溶液ハ苦味ヲ有シ舌上鈍麻ノ感覺ヲ起ス

本品ノ水溶液ニ鹽酸ヲ和シテ酸性トナシタルモノハ昇汞溶液ニ由テ白沍、ヨード溶液ニ由テ褐沍又カリ滷液ニ由テ酒精或「エーテル」ニ溶解シ易キ白沍ヲ生ス又硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ硝酸銀溶液ニ由テ白沍ヲ生ス

本品〇・一グラム(0,1 g)ヲ硫酸一立方センチメートル(1 ccm)ト共ニ五分時間約百度ニ溫メ注意シテ之ニ水二立方センチメートル(2 ccm)ヲ注ケハ安息香酸「エーテル」ノ香氣ヲ發シ冷ユレハ夥シク結晶ヲ析出ス此析出物ハ酒精二立方センチメートル(2 ccm)ニ由テ復タ溶消ス

本品及甘汞各等分ヨリ成レル混和物ニ稀酒精ヲ和シテ濕潤スレハ黑變ス

本品〇・〇五グラム(0,05 g)ヲ水五立方センチメートル(5 ccm)ニ溶解シ之ニ「クロームム酸溶液五滴ヲ點滴スルニ每滴黃沍ヲ生シ此沈沍ハ混和液ヲ搖動スレハ溶消シ更ニ鹽酸〇・八立方センチメートル(0,8 ccm)ヲ加フレハ復タ析出ス

本品〇・一グラム(0,1 g)ハ硫酸一立方センチメートル(1 ccm)或硝酸一立方センチメートル(1 ccm)ニ無色ニ溶解スヘシ又本品〇・一グラム(0,1 g)ヲ水五立方センチメートル(5 ccm)ニ溶解シ之ニ稀硫酸三滴ヲ和シタル後過マンガン酸カリウム溶液五滴ヲ和スルニ紫色ヲ呈シ半時間以內ニ殆ト減色ス可カラス

本品〇・一グラム(0,1 g)ヲ水百立方センチメートル(100 ccm)ニ溶解シ之ニ「アムモニア水四滴ヲ和シ放置スルニ一時間以內ニ溷濁ス可カラス

本品ノ水溶液(1:20)ハ硝酸バリウム溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過キス又ナトロン滷液ニ由テ白色結晶性ノ沈沍ヲ生シ其際アムモニア「ヲ發ス可カラス

本品ハ百度ニ於テ其重量ヲ減失ス可カラス

本品〇・二グラム(0,2 g)ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

注意シテ貯フヘシ

Coccionella.

Coccus Cacti L.

臙脂蟲　コセニル

臙脂蟲ハ本昆蟲ノ雌蟲ヲ乾燥セルモノナリ

本品ハ長サ五ミリメートル(5 mm)ニ至ル稍〻卵圓形又ハ楕圓形ノ顆粒ヲナシ橫徑ノ線條ヲ現ハシ上部ハ凸形下部ハ平坦若クハ凹形ヲナシ帶紫黑色或ハ帶紫灰色ヲ有シ銀色ヲ帶スルヲ常トス粉碎シ易ク其粉末ハ暗赤色乃至暗褐色ヲ有ス

本品ハ異物ヲ混有ス可カラス

本品ヲ灰化スルニ其百分ニ付キ六分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラス

Codeinum phosphoricum.

$C_{18}H_{21}NO_3.H_3PO_4+1\frac{1}{2}H_2O = 424,31$

燐酸コデイン

燐酸コデイン」ハ白色細微ノ鱗狀結晶或ハ堅質ノ結晶ニシテ苦味ヲ有シ約三分ノ水ニ溶解シ弱酸性ノ反應ヲ微ス酒精ニ溶解シ難シ

本品〇・〇一グラム(0,01 g)ヲ硝酸十立方センチメートル(10 ccm)ニ投スレハ無色ニ溶解ス又本品〇・〇一グラム(0,01 g)ヲ硝酸十立方センチメートル(10 ccm)及五滴ノ過クロール鐵溶液ノ混液ト共ニ溫ムルニ藍色或ハ紫色ヲ呈ス又本品ノ水溶液(1:20)ハ硝酸銀溶液ニ由テ黃沍又カリ滷液ニ由テ白沍ヲ生ス

本品ノ水溶液(1:100)一立方センチメートル(1 ccm)ニ赤色血滷鹽一小粒ヲ水十立方センチメートル(10 ccm)ニ溶解シ之ニ過クロール鐵溶液一滴ヲ和シタルモノヲ注加スルニ直チニ藍色ヲ呈ス可カラス

本品ノ水溶液(1:20)ニ硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ硝酸銀溶液ニ由テ變化セス又硝酸バリウム溶液ニ由テ直チニ溷濁ス可カラス

注意。本品ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト百分ニ付キ約八分ニ過ク可カラス
貯フベシ

Cognac.

コンニアク

「コンニアク」ハ葡萄酒ヲ蒸餾シテ製シタル品質良好ノ酒精性飲料ニシテ澄明黄色、氣味ハ佳快ナリ
本品百立方センチメートル(100 ccm)中ニハ二十五乃至三十九グラム(35–39 g)ノ純アルコホル(C_2H_6O = 46,06)ヲ含有ス

Colla piscium. *Ichthyocolla.*

Acipenser Huso *L.*

焦膠

魚膠ハ本魚ノ儡ヨリ得タルモノナリ
本品ハ類白色强靭ニ透明角質様ノ皮膜或ハ無色透映ニシテ虹彩ヲ帶フル薬片或ハ纖細ナル截片ヲ
ナシ臭味ナク水ニ浸タセハ膨起シ沸騰或沸騰稀酒精ニ殆ト全ク溶解ス本品一分ヲ二十分ノ熱湯ニ
溶解シタルモノハ冷後殆ト透明無色ノ凝膠トナルベシ
本品ヲ灰化スルニ百分ニ付キ一・二分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラス

Collemplastrum.

膠質硬膏

膠質硬膏ハ

焦臭樹脂油	百五十分	(500,0)
コパイバノルサム	百分	(100,0)
ロフオニウム	百分	(100,0)
無水ラノリン	五十分	(50,0)
黄蠟	二十分	(30,0)
細刻截精製グッタペルカ	二百五十分	(250,0)

ヲ取リ
ニ溶解シタルエーテル　千二百分　(1200,0)
之ニ
イリス根細末　二百二十分　(220,0)
サンダラック細末　五十分　(50,0)
エーテル　四百分　(400,0)
ノ混和物ヲ加ヘ親密ニ混和シ全體均等ノ塊ヲ得ルニ至リ布片ニ塗布シ製スベシ

Collodium.

コロヂウム

「コロヂウム」ハ

粗製硝酸	四百分	(400,0)

ヲ取リ之ニ
粗製硫酸　千分　(1000,0)
ヲ注意シテ徐々ニ混和シ其混液ノ二十度ノ溫ニ冷却スルニ至リ之ニ
精製綿　五十五分 (55,0)
ヲ浸漬シ十五乃至二十度ノ溫ニ於テ二十四時間放置シタル後漏斗中ニ移シ更ニ二十四時間放置シ
テ過剩ノ酸液ヲ滴瀝セシメ水ヲ以テ洗滌シ酸ノ全ク除去スルニ至リ壓搾シ二十五度ノ溫ニ於テ乾
燥セル
コロヂウム綿　二分　(2,0)
ヲ壜中ニ取リ之ニ

酒精　七分　(7,0)
ヲ加ヘテ善ク浸潤セシメ尋テ
エーテル　四十二分(42,0)
ヲ和シ反覆振盪シ靜置シテ其上澄液ヲ傾取シ製スヘシ
本品ハ無色或ハ微ニ黄色ヲ有スル舍利別稠ノ液ニシテ中性ノ反應ヲ徴シ薄層トナシテ「エーテル酒精」ヲ蒸散セシムレハ無色韌性ノ皮膜ヲ止ム
本品ヲ蒸發スルニ其百分ニ付キ約三・五分ノ殘留物ヲ得ヘシ
壜中ニ容レ密栓シ冷處ニ貯フヘシ

Collodium elasticum.
彈力コロヂウム

彈力コロヂウム」ハ　九十四分(94,0)
コロヂウム　五分(5,0)
テレビンチーナ　一分(1,0)
蓖麻子油
ヲ取リ混和シ製スヘシ
本品ハ殆ト無色或ハ微ニ黄色ヲ有ス
壜中ニ容レ密栓シ冷處ニ貯フヘシ

Collodium epispasticum.
發泡コロヂウム

發泡コロヂウム」ハ　一分(1,0)
カンタリス中末
ヲ取リ

エーテル
ヲ和シテ冷澄シ濾過シ澄明ノ濾液ヲ取リ微温ヲ以テ蒸發シ舍利別稠トナルニ至リ之ニ　適宜
コロヂウム　適宜
ヲ混和シ其全量ヲ一分トナシ製スヘシ
本品ハ舍利別稠オレーフ綠色澄明ノ液ニシテ微ニ酸性ノ反應ヲ徴シ其エーテル酒精分ヲ揮散セシムレハ綠色韌性ノ皮膜ヲ止ム
壜中ニ容レ密栓シ注意シテ冷處ニ貯フヘシ

Collodium jodoformiatum.
ヨードフォルムコロヂウム

ヨードフォルムコロヂウム」ハ　一分(1,0)
ヨードフォルム
ヲ取リ　九分(9,0)
コロヂウム
ニ溶解シ製スヘシ
本品ハ類褐色ノ液ニシテ暗褐色ヲ呈ス可カラス
壜中ニ容レ密栓シ冷處ニ貯フヘシ

Colophonium.
Pinus 屬ノ脂液

コロフォニウム
コロフォニウム」ハ本屬諸種植物ヨリ採集シタル「テレビンチーナ」ヨリ「テレビン油ヲ除去シタル樹脂ナリ
本品ハ硝子様透明類黄色或ハ淡褐色破碎シ易キ塊ニシテ表面ハ粉霜ヲ帶ヒ破碎面ハ大貝殼狀ヲ現

ハレ重湯煎上ニ熱スレハ熔融シテ澄明粘靱性ノ液トナリ強ク熱スレハ白色芳香性ノ重キ蒸氣ヲ發ス

本品一分ハ一分ノ純アルコホル竝二分ノ氷醋酸ニ溶解シ又稀薄ノ「カリ滷液(1:10)八分ニ澄明ニ溶解ス

本品一グラム(1g)ヲ常温ニ於テ酒精製二分定規カリ液二十五立方センチメートル(25 ccm)ニ溶解シ「フェノールフタレイン」溶液十滴ヲ添加スルノ後之ニ二分定規鹽酸ヲ滴加シテ脫色スルニ至ルニハ其酸液十八・六乃至十九・六立方センチメートル(18,6-19,6 ccm)ヲ費サヽル可カラス

Cortex Aurantii Fructus.

Citrus Bigaradia *Duham.*

橙皮

橙皮ハ本植物ノ熟セル果實ノ皮ヲ剝離シ切斷シ乾燥セルモノナリ

本品ハ其外面類褐色ヲ有シ粗糙ノ陷黙ヲ現ハシ內面ハ類白色ヲ有ス

氣味芳香性ニシテ甚タ苦シ

本品ハ十五分時間冷水中ニ軟化セシメ充分ニ水ヲ除去シ蓋覆シテ放置シ翌日ニ至リ軟化セル海綿樣ノ組織ヲ除去シ乾燥シ用フヘシ

Cortex Cascarillae.

Croton Eluteria *Benn.*.

カスカリラ皮

カスカリラ皮ハ本植物ノ幹及枝ノ皮ヲ採集セルモノナリ

本品ハ管狀又ハ半管狀ヲナシ厚サ一乃至二ミリメートル(1-2 mm)外面ハ處々ニ類白色ノ栓層ヲ存シ其栓層ハ橫徑缺裂樣ノ栓洸及不整ノ縱裂ヲ帶ヲ栓層ノ脫落セル部位ハ類褐色ヲ現ハス

本品ノ組織中ニハ長形ノ「スクレヽンヒーム」纖維ヲ散在シ石核細胞ハ存在セス

本品ハ氣味芳香性ニシテ苦シ

本品ハ木片ヲ混有ス可カラス

○ Cortex Chinae.

Cinchona 屬殊ニ Cinchona succirubra *Pur.*

キナ皮

キナ皮ハ本屬諸種植物ノ幹及枝ノ皮ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ管狀或ハ半管狀ヲナシ外面ハ帶灰類褐色ニシテ粗糙ノ縱皺ト橫徑ノ短キ龜裂ヲ現ハス內面ハ帶褐赤色ニシテ纖維性ヲ呈ス破折シ易シ顯微鏡下ニ檢視スレハ本品ノ特徵タル內皮纖維ヲ見ル

本品ノ粉末ヲ小硝子管中ニ熱スレハ洋紅色ノ「タール」ヲ生ス

本品ノ百度ニ於テ乾燥シタル細末十二グラム(12 g)ニ「エーテル」百二十五立方センチメートル(125 ccm)及クロヽフォルム二十五立方センチメートル(25 ccm)ヲ加ヘ強ク振盪シ次ニ「ナトロン」滷液十立方センチメートル(10 ccm)ヲ和シ屢〻強ク振盪シツヽ三時間放置シタル後更ニ十立方センチメートル(10 ccm)若クハ尙多量ノ水ヲ加ヘ強ク振盪シテ粉末ヲ集團セシメ一時間放置シ澄明ノ「クロヽフォルム」「エーテル」液百二十五立方センチメートル(125 ccm)ヲ取リ善ク蓋覆シタル漏斗ニ乾燥濾紙ヲ用ヒテ小硝子壺中ニ濾入シ蒸餾シテ約其半量ヲ去リ殘留セル「クロヽフォルム」「エーテル」液ヲ分液漏斗ニ容レ逐次三回各「エーテル」六立方センチメートル(6 ccm)及クロヽフォルム一立方センチメートル(1 ccm)ノ混液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ用ヒテ小硝子壺ヲ洗浄シ分液漏斗中ノ液ニ合シ之ニ十分定規鹽酸二十五立方センチメートル(25 ccm)ヲ和シ強ク振盪シ必要ノ場合ニハ更ニ適量ノ「エーテル」ヲ混和シ「クロヽフォルム」「エーテル」層ノ析出スルニ至リ下層ノ酸性澄明液ヲ豫メ水ヲ以テ濡ホセル小濾紙ヲ用ヒテ內容百立方センチメートル(100 ccm)ノ無色硝子壺中ニ濾入シ更ニ「クロヽフォルム」「エーテル」液ニ逐次三回各十立方センチメートル(10 ccm)ノ水ヲ加ヘ稀釋シテ百立方センチメートル(100 ccm)トナシ其五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ取リ新ニ「ヘマトキシリン」一小片ヲ酒精一

立方センチメートル(1 ccm)ニ溶解セル液ヲ點加シ搖動シツヽ十分定規カリ液ヲ滴加シ類黃色ノ液ヲ搖動スルニ直チニ類藍紫色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スコト四・三立方センチメートル(4.3 ccm)ニ過グ可カラス又揮子壜中ニ殘留スル液ノ五立方センチメートル(5 ccm)ニ「クロール水一立方センチメートル(1 ccm)ヲ和シ之ニ「アムモニア水ヲ加フルニ美麗ナル綠色ヲ呈セサル可カラス

Cortex Cinnamomi.

Cinnamomum Cassia Bl.

桂皮

桂皮ハ支那ノ南部ニ於テ培養セル本植物ノ幹及枝ノ皮ヲ剝離シ帶灰褐色ノ枹層ヲ殆ト全ク除去シ乾燥セルモノナリ

本品ハ管狀又ハ半管狀ヲナシ厚サ約一乃至三ミリメートル(1-3 mm)直徑〇・五乃至三センチメートル(0.5-3 cm)外面ハ淡褐色ヲ有ス

本品ヲ顯微鏡下ニ檢視スルニ第二期皮部ニハ長サ概シテ〇・七ミリメートル(0.7 mm)中央部ニ於テ太サ〇・〇二乃至〇・〇五ミリメートル(0.02-0.05 mm)ノ「スクレヽンヒーム纖維單獨ニ散在シ稀ニハ二箇或ハ三箇相伴ウテ存在ス又皮條中ニハ粘液細胞及分泌細胞ヲ箝在シ髓線ハ概シテ二細胞列ヲナス

本品ハ桂皮油ノ香氣ヲ有シ味ハ殆ト收斂性ナラス又粘液性ナル可カラス

Cortex Citri Fructus.

Citrus Limonum Risso.

枸櫞皮

枸櫞皮ハ本植物ノ新鮮ナル稔熟果實ノ皮ヲ螺旋形帶條ニ剝取シ乾燥セルモノナリ

本品外面澄褐黃色ヲ有シ陷在セル多數ノ油室ニ由テ窩點ヲ現ハシ內面ハ類白色ヲ有ス

本品ハ枸櫞油ノ香氣ヲ有シ味ハ芳香性ニシテ少シク苦シ

Cortex Condurango.

コンヂュランゴ皮

コンヂュランゴ皮ハ厚サ二乃至七ミリメートル(2-7 mm)ニシテ多クハ稍〻彎曲セリ外面ハ帶褐灰色破折面ハ淡類黃灰色ニシテ概ネ顆粒狀ヲ呈シ稚皮ヲ橫折スレハ外邊ヨリ長キ纖維ヲ出タス本品ノ橫斷面ヲ顯微鏡下ニ檢視スレハ第二期ノ皮部ニ於テ第二期ノ髓線ヲ現ハシ共髓線ハ廣サ一細胞列稀ニハ二細胞列高サ十乃至四十細胞層ニシテ多クハ十五細胞層ナリ髓線ノ細胞ハ一部ハ蓚酸鹽簇晶ヲ包藏ス皮條ハ乳脈管及主軸ノ方向ニ延長セル石核細胞簇ヲ具有シ石核細胞ハ疎ニ觸線列ヲナシテ存在ス第二期皮部ノ「パレンヒーム」ハ澱粉ニ富ム第一期皮部ノ內邊ニハ一乃至二細胞列ヲナシ觸線性ニ配置セル纖維束ヲ見ル枹層ハ薄壁性細胞ヨリ成ル

本品一分ニ水四分ヲ和シ冷浸シテ得タル澄明ノ液ハ熱スレハ著シク溷濁シ冷ユレハ復タ澄明トナル

Cortex Frangulae.

Rhamnus Frangula L.

フラングラ皮

フラングラ皮ハ本植物ノ幹及枝ノ皮ヲ採集セル後少ナクモ一箇年間貯藏セシモノナリ

本品ハ厚サ一・五ミリメートル(1.5 mm)ヲ超エス外面帶灰褐色ニシテ多數ナル類白色ノ枹疣ヲ有シ刀ヲ以テ其外皮ヲ搔剝スレハ赤色ヲ現ハス內面ハ帶赤黃色乃至類褐色ナリ

本品ヲ石灰水中ニ軟化セシムレハ其內面赤色ヲ呈ス

本品ハ之ヲ顯微鏡下ニ檢視スレハ赤色ノ物質ヲ包有セル枹層ヲ現ハシ第二期ノ皮部ニハ廣サ一乃至三細胞列高サ十乃至二十五細胞層ノ髓線アリ皮條中ニハ無色ノ長キ「スクレヽンヒーム纖維ヨリ成レル廣キ把束散在ス其纖維束ニハ單一ノ結晶ヲ包藏セル小細胞縱列ヲナシテ隨伴シ又其他ノ「パレンヒーム組織中ニハ蓚酸鹽簇晶ヲ見ル「スクレヽンヒーム纖維束ハ皮部ノ內邊ニ於テハ

觸線列ヲナシ石核細胞ハ缺如ス

本品ニ水ヲ加ヘ煮沸シテ得タル液ハ帶黃類赤色或ハ類褐色ヲ有シ過クロール鐵溶液ニ由テ深褐色ヲ呈ス味ハ粘液性ニシテ微ニ苦甘ナリ

Cortex Granati.

Punica Granatum *L.*

石榴皮

石榴皮ハ本植物ノ幹、枝及根ノ皮ヲ剝離シ乾燥セルモノナリ

本品ハ略〻管狀或ハ反曲セル皮片ヲナシ厚サ一乃至三ミリメートル(1-3 mm)外面ハ帶綠黃色或ハ帶灰褐色破折面ハ平坦ニシテ類黃色ヲ呈シ間〻其外邊ニ於テ稍〻褐色或ハ灰色ヲ現ハスコトアリ外皮ハ栓層ヨリ成リ其栓細胞ハ內壁著シク厚化シ明ニ層積ヲ現ハシ胞孔ヲ有ス第二期皮部ハ髓線ヲ有シ其髓線ハ通常一細胞列甚タ稀ニハ二細胞列ヨリ成ル皮條ハ橫斷面ニ於テハ正レキ觸線列ヲナセル平方形細胞ヨリ成リ其各細胞中ニハ一箇ノ蓚酸鹽簇晶ヲ包有シ其細胞列ハ篩脈管ヲ含蓄セル橫列ノ「パレンヒーム」ト交互ニ排置シ殊ニ第二期皮部ノ外邊ニ直徑〇・〇二乃至〇・二〇ミリメートル(0,02-0,20 mm)ノ厚化スクレ、ンヒーム細胞ヲ散在ス

本品ノ細切セルモノ一分ニ微ニ酸性トナセル水百分ヲ加ヘテ一時間放置スレハ黃色ノ浸液ヲ生シ之ニ過クロール鐵溶液二三滴ヲ和スレハ帶黑藍色ヲ呈シ又五倍容量ノ石灰水ヲ和スレハ帶黃赤色ヲ現ハシテ溷濁シ時ヲ經ルニ從ヒ橙赤色絮狀ノ沈澱ヲ析出シテ黑色トナル

本品ノ粉末ハ直徑〇・〇〇二五乃至〇・〇〇八ミリメートル(0,0025-0,008 mm)ノ球圓形單澱粉稀ニハ複合澱粉、特異ノ栓細胞及スクレ、ンヒーム細胞蓚酸鹽簇晶及單晶ヲ包藏セル細胞又本品ノ「パレンヒーム細胞及篩脈管ノ外異物ヲ混有ス可カラス

本品ノ百度ニ於テ乾燥シタル中末十二グラム(12 g)ニ「エーテル百二十五立方センチメートル(125 ccm)及クロ、フォルム二十五立方センチメートル(25 ccm)ヲ加ヘ強ク振盪シ次ニ「ナトロン滷液二分及水一分ノ混液十立方センチメートル(10 ccm)ヲ和シ屢〻強ク振盪シツ、三時間放置シタル後更ニ十立方センチメートル(10 ccm)若クハ尙多量ノ水ヲ加ヘ強ク振盪シテ粉末ヲ集團セシメ一時間放置シ澄明ノ「クロ、フォルム、エーテル液百二十五立方センチメートル(125 ccm)ヲ取リ善ク蓋覆シタル漏斗ニ乾燥濾紙ヲ用ヒテ分液漏斗中ニ濾入シ之ニ百分定規鹽酸五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ和シ振盪シ下層ノ酸性澄明液ヲ孫メ水ヲ以テ潤ホセル小濾紙ヲ用ヒテ內容百立方センチメートル(100 ccm)ノ硝子壺中ニ濾入シ更ニ「クロ、フォルム、エーテル液ニ逐次三回各十立方センチメートル(10 ccm)ノ水ヲ加ヘテ振盪シ其水液ヲ前ノ濾紙ヲ用ヒテ濾過シ尙水ヲ以テ濾紙ヲ洗浣シ其全濾液ニ水ヲ加ヘ稀釋シテ百立方センチメートル(100 ccm)トナシ其五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ內容約二百立方センチメートル(200 ccm)ノ無色硝子壺中ニ取リ水約五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ加ヘ尋テ「エーテル」ヲ注加シテ壺中エーテル層ノ高サ約一センチメートル(1 cm)ニ達スルニ至リ「ヨードエオジン溶液五滴ヲ點加シ強ク振盪シツ、百分定規カリ液ヲ滴加シ下層ノ水液淡紅色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スコト十一立方センチメートル(11 ccm)ニ過ク可カラス

Cortex Mezereei.

Daphne Mezereum *L.*

白瑞香皮

白瑞香皮ハ本植物ノ皮ニシテ廣サ一乃至三センチメートル(1-3 cm)ノ長キ帶條ヲナシ通常ハ其內面ヲ外方ニ向ケ卷縮シテ把束ニ裝成シタルモノナリ

本品ハ外面淡褐色ニシテ微ニ赤色ヲ呈シ滑澤ニシテ光輝ヲ帶ヒ處〻ニ萠芽及褐色ノ葉痕ト多數ナル細小類黑色ノ栓粃ヲ存ス內面ハ帶黃白色ニシテ微ニ光澤ヲ帶フ本品ハ甚タ柔撓性ニシテ內皮層ハ長キ細小ノ纖維トナシ剝離スルコトヲ得

味ハ苛烈ニシテ灼クカ如シ

Cortex Quillaiae.

Quillaia Saponaria *Molina.*

キラヤ皮

キラヤ皮ハ本植物ノ枝條及幹ノ皮ヲ採集シ褐色ノ皮鱗ヲ除去シ乾燥セルモノナリ

本品ハ厚サ一センチメートル(1 cm)ニ至リ之ヲ破折スレハ噴嚏ヲ誘起スヘキ粉塵ヲ放チ破折面ハ尖銳ニシテ類黃白色ヲ呈ス「ルーペ」ヲ以テ檢視スルニ蓚酸カルチウム」ノ稜柱狀結晶ヲ見ルヲ得ヘシ其結晶ハ長サ〇・〇六乃至〇・二ミリメートル(0,06–0,2 mm)ニシテ皮條ノ「パレンヒーム細胞中ニ單獨ニ存在ス横斷面ニ於テハ皮條中ニ單獨ニ散在セル無色ノ「スクレヽンヒーム纖維束併在ス横ニ聯結セル不整形ノ「スクレヽンヒーム纖維束併在ス

本品ニ水ヲ加ヘ煑沸シテ得タル液ヲ振盪スレハ甚シク泡沫ヲ生シ味ハ粘液性ニシテ苦辣ナリ

Cresolum crudum.

粗製クレゾール

粗製クレゾール」ハ澄明類黃色乃至黃褐色中性ノ液ニシテ水ヨリ重ク焦臭ヲ有シ水ニ充分ニ溶解セス酒精竝エーテル」ニ容易ニ溶解ス

本品十立方センチメートル(10 ccm)ヲ「ナトロン鹵液及水各五十立方センチメートル(50 ccm)ト共ニ內容二百立方センチメートル(200 ccm)ノ有栓劃度圓壜中ニ於テ振盪シ放置スルニ久シキヲ經テ僅少ノ絮狀物ヲ析出スルニ過ク可カラス尋テ之ニ鹽酸三十立方センチメートル(30 ccm)及クロールナトリウム十グラム(10 g)ヲ和シ振盪シタル後靜定スルニ八・五乃至九立方センチメートル(8,5–9 ccm)ノ油狀クレゾール層ヲ分離スヘシ茲ニ分離セル「クレゾール〇・五立方センチメートル(0,5 ccm)ヲ水三百立方センチメートル(300 ccm)及過クロール鐵溶液二・五立方センチメートル(2,5 ccm)ニ和シテ振盪スレハ藍紫色ヲ呈スヘシ

Creta praeparata.

調製白堊

調製白堊ハ白堊ヲ粉碎シ淘汰シ乾燥セルモノナリ

本品ハ白色ノ細微無晶形粉末或ハ粉碎シ易キ塊片ヲナシ臭味ナク水竝酒精ニ溶解セス

本品ハ醋酸ニ泡沸シテ殆ト全ク溶解シ其溶液ニ蓚酸アムモニウム溶液ヲ和スレハ白色ノ沈澱ヲ生ス

本品ノ稀醋酸溶液(1:20)ハ硫酸カルチウム溶液竝クロールバリウム溶液ニ由テ混濁ス可カラス又黃色血鹽溶液ヲ加フルニ微ニ藍色ヲ呈スルニ過ク可カラス又蓚酸アムモニウム溶液ヲ加ヘ充分ニ沈降セシメ濾過シテ得タル液ニ燐酸ナトリウム溶液及アムモニア水ヲ和スルニ著シク混濁ス可カラス

Crocus.

Crocus sativus L.

サフラン

「サフラン」ハ本植物ノ赤色雌蕊頭ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ヲ水ニ浸シ軟化セシムレハ其各條ハ下方ニ向テ狹細トナリ一側ニ於テ開裂セル長サ三十乃至三十五ミリメートル(30–35 mm)ノ管ヲナシ上端ハ鈍鋸齒ヲ有シ其基部ヨリ入リ來ル細キ一條ノ脈管束ハ上部ニ到ルニ從ヒ反覆肉叉狀ニ分岐シ上端ノ太キ部位ニ於テハ約二十條ノ脈管束トナル

本品一分ニ十万分ノ水ヲ加ヘテ振盪スルニ其水著シク純黃色ヲ呈ス

本品ヲ百度ニ於テ乾燥スルニ百分ニ付キ十五分以上ノ重量ヲ失ハス又其乾燥セルモノヲ炭化スルニ燥嚼セス百分ニ付キ七・五分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラス

本品ハ峻烈ノ香氣及芳香性ノ苦味ヲ有セサル可カラス

密閉シ光ヲ遮リ貯フベシ

Cubebae.

Piper Cubeba L. fil.

蓽澄茄

蓽澄茄ハ本植物ノ充分成長セル未熟ノ果實ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ略ヽ球圓形ヲナシ直徑五ミリメートル(5 mm)ニ超エス外面ハ暗褐色ニシテ皺紋ヲ現ハス頂端ニハ三乃至五箇ノ雌蕊頭瓣ヲ存シ基底ハ長サ四乃至十ミリメートル(4–10 mm)ニシテ太サ一ミ

リメートル(1 mm)ニ過キサル小梗ニ移ル
本品果殼ノ破碎面ニハ較〻淡明ナル堅キ内壁層ヲ見ル其内壁層ハ少シク半徑ノ方向ニ延長セル稍〻厚壁ノ「スクレレンヒーム」細胞二乃至三列ヨリ成ル果殼ノ中層組織中ニハ分泌細胞ヲ包藏シ「スクレレンヒーム」細胞ヲ存セス表皮ノ直下ニハ一列又ハ二列ヨリ成レル「スクレレンヒーム」細胞層ヲ見ル果殼ノ心底ニハ稍〻發育セル一箇ノ種子ヲ附著シ其氣味ハ芳香性ニシテ苦シ
本品ノ碎片ニ硫酸一滴ヲ點スレハ其硫酸著シク赤色ヲ呈ス

Cuprum aluminatum. *Lapis divinus.*

銅礬　神効石

銅礬ハ	各十分(10,0)
硫酸銅	熔融スルニ至リ之ニ
硝酸カリウム	一分　(1,0)
明礬	

ヲ取リ粉末トナシ混和シ瓷皿ニ盛リ砂鍋上ニ熱シテ熔融スルニ至リ之ニ精製樟腦末　一分　(1,0)
ヲ加ヘ瓷皿ニ傾瀉シ或ハ鱗型中ニ注入シ小挺子トナシ製スヘシ
本品ハ全質均等淡類綠藍色ノ乾燥塊或ハ小挺子ニシテ樟腦ノ香氣ヲ有シ十六分ノ水ニ少量ノ殘滓ヲ留メテ溶解ス
壜中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ

○ Cuprum sulfuricum.
$CuSO_4 + 5H_2O = 249,76$

硫酸銅

硫酸銅ハ透映藍色ノ結晶ニシテ乾燥氣中ニ於テ徐々ニ風化シ三・五分ノ水並一分ノ沸湯ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ微シ酒精ニ溶解セス
本品ノ水溶液ニ硝酸バリウム溶液ヲ和スレハ鹽酸ニ溶解セサル白堊ヲ生シ過剩ノ「アムモニア水」ヲ和スレハ澄明深藍色ノ液ヲ生ス
本品〇・五グラム(0,5 g)ノ水溶液ニ過剩ノ硫化水素水ヲ注加シ茲ニ生スル黑色ノ沈堊ヲ濾過シテ得タル無色ノ液ハ「アムモニア」水ニ由テ染色セス又之ヲ蒸發シ熱灼スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス
注意シテ貯フヘシ

Decocta.

煎劑

煎劑ヲ製スルニハ之ニ供用スル藥物ヲ必要ノ場合ニハ細切シ水ヲ注キ時々振盪シツヽ三十分時間重湯煎上ニ熱シ溫ニ乘シテ壓漉スヘシ
處方中藥物ノ分量ヲ記載セサルトキハ藥物一分ニ付キ十分ノ漉液ヲ得ヘキ液量ヲ取ルヘシ
劇藥ニ屬スル藥物ニ於テハ醫師必ス其分量ヲ記スヘシ又多量ノ粘液質ヲ含有スル藥物ニ於テハ藥劑師其分量ヲ定ムヘシ

Diastasa.

ヂアスターゼ

ヂアスターゼ」ハ帶黃白色ノ粉末ニシテ水ニ溷濁シテ一部分溶解シ酒精ニ殆ト溶解セス
本品〇・一グラム(0,1 g)ヲ百度ノ溫ニ於テ乾燥シタル馬鈴薯澱粉六グラム(6 g)及水三十立方センチメートル(30 cem)ノ混和物ニ攪拌シツヽ沸騰蒸餾水七十立方センチメートル(70 cem)ヲ注加シ更ニ三十分時間重湯煎内ニ放置シテ製シタル糊液ニ和シ五十度ニ於テ屢〻搖動シツヽ六時間放置シテ得タル溶液十立方センチメートル(10 cem)ハ五十立方センチメートル(50 cem)ノ「フェーリング溶液ヲ脫色セサル可カラス

壜中ニ密閉シテ貯フベシ

Dimethylamjdoantipyrinum.

$C_{13}H_{17}N_3O = 231,29$

ヂメチールアミドアンチピリン

ヂメチールアミドアンチピリンハ白色微細ノ結晶ニシテ微ニ苦味ヲ有シ百八度ニ於テ熔融ス約二十分ノ水酒精又エーテル」ニ容易ニ溶解ス

本品ノ他和水溶液ニ少量ノ過クロール鐵溶液ヲ加フレハ黃褐色ヲ呈シ更ニ其多量ヲ和スレハ始メ藍紫色ヲ呈シ後暗紅色ニ變ス又發烟硝酸ニ由テ藍色「ヨード」溶液ニ由テ美麗ナル藍紫色ヲ呈ス

本品ハ硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス

本品ヲ燃灼スルニ固性物ヲ殘留セスシテ變化スヘシ

注意。貯フベシ

Elaeosacchara.

油糖劑

油糖劑ハ

處方セル揮發油	一分	(1,0)
白糖中末	五十分	(50,0)

ヲ取リ混和シ製スヘシ

用ニ臨テ製スヘシ

Electuarium Sennae compositum.

複方セルチ劑

複方セルチ劑ハ

メヤリンド	十分	(10,0)

ヲ取リ

蒸餾水	四十分	(40,0)

ヲ注キ約二時間溫ヲ與ヘテ攪拌シ全質均等トナルニ至リ豫メ秤定セル盛皿中ニ篩過シ之ニ

甘草越幾斯	一分	(1,0)
白糖	五十五分	(55,0)
蒸餾水	三十五分	(35,0)

ヲ加ヘ重湯煎上ニ溫メ甘草越幾斯及白糖ヲ全溶セシメ別ニ

センナ葉細末	七分	(7,0)
橙皮細末	三分	(3,0)
茴香細末	一分	(1,0)
沈降硫黃	三十五分	(35,0)
重酒石酸カリウム細末	十分	(10,0)

ヲ取リ粘密ニ混和セルモノヲ之ニ併合シ更ニ重湯煎上ニ於テ攪拌シツヽ蒸發シ其全量ヲ百三十五分トナシメル後之ニ

橙皮含利別	三十五分	(35,0)

ヲ混和シ次ニ白糖ヲ焦燒シテ暗褐色トナセルモノ適量ヲ加ヘ能ク攪和シ全質均等褐色ノ軟塊トナシ硬膏スヘシ

乾燥冷涼ノ處ニ貯フヘシ

Emplastra.

硬膏劑

硬膏劑ヲ製スルニハ特別ニ記スルモノヽ外ハ先ツ難熔性ノ物質ヲ熔融シ次ニ易熔性ノ物質ヲ和シ半ハ冷却セル熔塊ニ難物ヲ親密ニ混和シ全質均等トナルニ至リ適當ノ形狀ヲ與フヘシ

本品ハ常溫ニ於テ固塊ヲナシ體溫ニ於テ接揑性、溫ムレハ液體トナル
本劑ハ鑛又ハ不透性紙ヲ以テ包ミ揮發性ノ藥物ヲ含有スルモノハ尙鐵藥器中ニ容レ冷乾處ニ貯フヘシ

○ Emplastrum adhaesivum anglicum.
英法絆創膏

英法絆創膏ハ

魚膠	十分 (10,0)

ヲ取リ漉液百二十分ヲ得ルノ比例ニ於テ熱湯ニ溶解シ先ツ溶液六十分ヲ取リ緊張セル白色ノ絹片上ニ塗布スルコト數回每次之ヲ乾燥シ次ニ溶液ノ殘餘六十分ヲ徐々ニ

酒精	四十分 (40,0)
グリセリン	一分 (1,0)

ニ混和シ此混液ヲ絹片ニ塗布スルコト前法ノ如クシ最後ニ安息香丁幾ヲ絹片ノ裏面ニ塗リ善ク乾燥シテ製スヘシ
本品ハ光澤ヲ有シ濡ホセハ能ク皮膚ニ粘著スヘシ
乾處ニ貯フヘシ

Emplastrum Cantharidum.
カンタリス硬膏

カンタリス硬膏ハ

カンタリス中末	二分 (2,0)
オレーフ油	一分 (1,0)

ヲ取リ混和シ重湯煎上ニ於テ二時間溫浸シ之ニ

黃蠟	四分 (4,0)
テレビンチーナ	一分 (1,0)

ヲ熔和シ冷却スルニ至ル迄攪拌シ製スヘシ
本品ハ灰褐色ニシテ稍〻軟稠ヲ有スヘシ

Emplastrum Hydrargyri.
水銀硬膏

水銀硬膏ハ

水銀	三十分 (30,0)
無水ラノリン	十五分 (15,0)

ヲ取リ親密ニ研和シ之ヲ

黃蠟	十五分 (15,0)
單鉛硬膏	九十分 (90,0)

ノ半ハ冷却シタル熔和物ニ混和シ全質均等トナシ製スヘシ
本品ハ灰色ノ硬膏ニシテ肉眼ヲ以テ水銀球ヲ見ル可カラス

Emplastrum Lithargyri.
單鉛硬膏

單鉛硬膏ハ

オレーフ油	五分 (5,0)
豚脂	五分 (5,0)
蒸餾水	一分 (1,0)
酸化鉛細末	五分 (5,0)

ヲ取リ先ツ酸化鉛ニ水ヲ加ヘテ粥狀トナシ之ヲ「オレーフ油及豚脂ノ混和物ニ和シ熱ヲ與ヘテ絶ヘス攪拌シ時々少許ノ水ヲ加ヘテ煮沸シ硬膏塊ヲ得ルニ至リ直チニ溫湯ヲ加ヘ屢揑轉シテ「グリ

セリンヲ除キ蒸テ重湯煎上ニ於テ水分ヲ去リ製スヘシ
本品ハ類黄白色ニシテ游離ノ酸化鉛ヲ含ム可カラス

Emplastrum Lythargyri compositum.

複鉛硬膏

複鉛硬膏ハ

單鉛硬膏	一二十四分	(24,0)
黄蠟	一三分	(3,0)

ヲ取リ微温ヲ與ヘテ熔融シ牛ハ冷却シタル熔塊ニ

アムモニアクム	一二分	(2,0)
ガルバヌム	一二分	(2,0)
テレビンチーナ	一二分	(2,0)

ヲ少量ノ水ト共ニ重湯煎上ニ於テ熔和シ漉過シタルモノヲ混和シ製スヘシ
本品ハ類黄色粘靭全質均等ノ硬膏ニシテ時ヲ經ルニ隨ヒ漸次暗色ヲ呈ス

Emplastrum Resinae.

松脂硬膏

松脂硬膏ハ

單鉛硬膏	八十分	(80,0)
松脂	十四分	(14,0)
黄蠟	六分	(6,0)

ヲ取リ先ツ單鉛硬膏ト黄蠟トヲ熔和シ之ニ松脂ヲ混和シ製スヘシ
本品ハ類黄色ノ硬膏ナリ

Emplastrum saponatum.

石鹸硬膏

石鹸硬膏ハ

鉛硬膏	七十分	(70,0)
蒸餾	十分	(10,0)

ヲ取リ緩ヲ與ヘテ熔融シ牛ハ冷却シタル熔塊ニ

粉用石鹸中末	五分	(5,0)
オレーフ油	一分	(1,0)
精製樟腦	一分	(1,0)

ヲ徐徐ニ混和シ製スヘシ
本品ハ類褐色ノ硬膏ナリ

Emplastrum Scopoliae.

高野硬膏

高野硬膏ハ

格順硬膏	九十分	(90,0)

ヲ取リ重湯煎上ニ熔融シ注意シテ

高野草浸出液	十分	(10,0)

ヲ徐徐ニ混和シ製スヘシ
本品ハ褐色ノ硬膏ナリ

Extracta.

越幾斯劑

越幾斯劑ノ調製ニ供スル藥物ハ其浸出ノ際度量秤スヘシ

浸液ハ之ヲ濾過シタル後重湯煎上ニ於テ絶ヘス攪拌シツヽ適當ノ稠度ヲ得ルニ至ル迄蒸發スヘシ

水製及酒精製浸液ハ八十五度又エーテル製浸液ハ三十五度ヲ超エサル溫ヲ以テ蒸發スヘシ

酒精製浸液ハ其蒸發ノ終リニ際シ更ニ少量ノ酒精ヲ加ヘ攪拌シツヽ適當ノ稠度ヲ得ルニ至ラシムヘシ

越幾斯劑ハ其稠度ニ從ヒ左ノ三類ニ分ツ

(一)稀薄越幾斯　新鮮ナル蜂蜜ノ稠度ヲ有スルモノ

(二)稠厚越幾斯　冷後傾瀉シ能ハサルモ牽絲性ヲ有スルモノ

(三)乾燥越幾斯　粉碎シ得ヘキモノ

乾燥越幾斯ヲ製スルニハ瓷皿中ニ蒸發セル越幾斯ノ充分粘靭トナリ冷後能ク粉碎シ得ルニ至リ溫ニ乘シ扁瓶ヲ以テ瓷皿ヨリ取リ抽延シテ線狀トナシ硝子板上ニ於テ四十乃至五十度ノ溫ヲ用ヒ乾燥シ細碎シ豫メ溫メタル器中ニ收ムヘシ

麻醉性乾燥越幾斯劑ハ左ノ方法ニ由テ稠厚越幾斯ヨリ製スルモ妨ケナシ卽チ瓷皿中ニ於テ稠厚越幾斯四分ニ甘草細末三分ヲ混和シ重湯煎上ニ於テ乾燥シ復タ重量ノ減失ヲ見サルニ至リ溫ニ乘シテ研磨シ更ニ甘草細末ヲ加ヘテ其全量ヲ八分トナスヘシ

麻醉性越幾斯ハ其越幾斯十分ニ水六分、酒精一分及グリセリン三分ヲ和シテ溶液トナシ貯フルヲ得ヘシ

越幾斯劑ハ之ニ使用セル藥物ノ氣味ヲ有セサル可カラス

本品二グラム(2g)ヲ灰化シ其殘留物ヲ稀鹽酸五立方センチメートル(5 ccm)ニ溫ヲ與ヘテ溶解シ濾過シテ得タル液ハ硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス

越幾斯劑ハ硝子器或ハ瓷器中ニ密閉シ冷乾處ニ貯フヘシ

Extracta fluida.

流動越幾斯劑

流動越幾斯劑ヲ製スルニハ製出セル越幾斯ノ重量ヲシテ當初供用シタル藥物末ノ重量ニ正ニ同一ナラシムヘシ

各種流動越幾斯劑ノ條ニ於テ規定セル浸出藥ヲ用ヒ左ノ法ニ據リ製スヘシ

藥物末百分ニ浸出藥ヲ撒注シ且親密ニ混和シ其藥物ノ復タ液ヲ受容セサルニ至リ容器ヲ蓋閉シ二乃至三時間放置シタル後其混和物ヲ適當ノ浸出器內ニ裝塡シ固ク壓著シテ成ルヘク空隙ナカラシメ更ニ浸出藥ヲ注加シテ其液浸出器ノ下口ヨリ滴瀝シ始ムルニ藥物ノ上面ハ尙浸出藥ニ由テ覆ハルヽヲ度トシ浸出器ノ下口ヲ閉チ上口ハ蓋覆シ十五乃至二十度ノ溫ニ於テ二十四時間放置シタル後下口ヲ開キ每一分時間ニ四十滴ヲ超エサル流出速度ヲ以テ其液ヲ滴下セシムヘシ

最初得タル浸出液八十五分ヲ第一號トシテ別ニ貯ヘ更ニ浸出器內ニ浸出藥ヲ追注シテ全然藥物ヲ浸出シ盡スニ至リ茲ニ得タル浸出液第二號ハ之ヲ蒸發シ或ハ先ツ蒸餾シテ酒精ヲ分取セル後蒸發シテ稀薄越幾斯稠トナスヘシ但蒸發ノ溫度ヲ制限シテ成ルヘク藥物ノ揮發性成分ヲ消失セサルヲ要ス此稀薄越幾斯ニ前ノ浸出液第一號ヲ混合シ尙浸出藥ヲ附加シテ其全量正ニ百分ノ流動越幾斯ヲ得ルニ至ルヘシ

前法ニ據リ製出シタル流動越幾斯ハ一二日間靜置シタル後若シ必要ナレハ濾過スヘシ

本品ハ之ヲ製出セル植物部分ノ氣味ヲ有セサル可カラス

本品二グラム(2g)ヲ灰化シ稀鹽酸五立方センチメートル(5 ccm)ヲ加ヘテ溫メ濾過シテ得タル液ハ硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス

Extractum Aconiti Napelli.

アコニット越幾斯

アコニット越幾斯ハ	十分　(10,0)
アコニット根中末ヲ取リ	二十五分(25,0)
酒精ヲ注キ二日間溫浸シ壓漉シ又其殘渣ニ	

酒精　三十分　(30,0)

ヲ注キ壓漉シ漉液ヲ合シ蒸發シテ稍〻硬キ稠厚越幾斯トナシ製スヘシ

本品ハ褐色ニシテ酒精ニ澄明ニ溶解ス

最モ注意シテ貯フヘシ

Extractum Aloës.

蘆薈越幾斯

蘆薈　一分 (1,0)

ヲ取リ之ヲ

沸湯　五分 (5,0)

ニ溶解シ更ニ

常水　五分 (5,0)

ヲ混和シ二日間放置シ樹脂分ノ析出スルヲ俟テ上液ヲ傾取シ蒸發シテ乾燥越幾斯トナシ製スヘシ」

本品ハ黃褐色ニシテ水ニ殆ト澄明ニ溶解ス

Extractum Cannabis indicae.

印度大麻越幾斯

印度大麻越幾斯ハ　一分 (1,0)

印度大麻草粗末

ヲ取リ　五分 (5,0)

酒精

ヲ注キ六日間冷浸シ壓漉シ又其殘滓ニ　五分 (5,0)

酒精

ヲ注キ三日間冷浸シ壓漉シ漉液ヲ合シ濾過シ蒸發シテ稠厚越幾斯トナシ製スヘシ

本品ハ黑綠色ニシテ酒精ニ澄明ニ溶解シ水ニ溶解セス

注意シテ貯フヘシ

Extractum Cardui benedicti.

カルドベネヂクト越幾斯

カルドベネヂクト越幾斯ハ

中剪截カルドベネヂクト草　一分 (1,0)

ヲ取リ　五分 (5,0)

沸湯

ヲ注キ屢〻攪拌シツヽ六時間溫浸シ壓漉シ其殘滓ニ　三分 (3,0)

沸湯

ヲ注キ三時間溫浸シ壓漉シ漉液ヲ合シ蒸發シテ其全量二分トナルニ至リ冷後之ニ

酒精　一分 (1,0)

ヲ加ヘ二日間冷處ニ靜置シ濾過シ蒸發シテ稠厚越幾斯トナシ製スヘシ

本品ハ褐色ニシテ水ニ殆ト澄明ニ溶解ス

Extractum Cascarae sagradae fluidum.

Extractum Rhamni Purshianae fluidum.

カスカラサグラダ流動越幾斯

カスカラサグラダ流動越幾斯ハ　百分 (100,0)

カスカラサグラダ中末

ヲ取リ　一分 (1,0)

酒精

蒸餾水　一分(1,0)

ヨリ成レル浸出藥ヲ以テ流動越幾斯劑規定ノ製法ニ從ヒ製スヘシ

本品ハ暗褐赤色澄明ノ液ナリ

本品ニ多量ノ水ヲ和スレハ溷濁ス之ヲ濾過シテ得タル澄明ノ液ニ「アムモニア水ヲ滴加スレハ赤褐色ヲ呈ス

Extractum Cascarillae.

カスカリラ越幾斯　一分(1,0)

カスカリラ皮粗末　五分(5,0)

ヲ取リ

沸湯

ヲ注キ二十四時間放置シ壓漉シ又其殘滓ニ

沸湯　三分(3,0)

ヲ注キ更ニ二十四時間放置シテ壓漉シ漉液ヲ合シ蒸發シテ其全量二分トナルニ至リ冷處ニ放置シ其沈定スルヲ俟テ上液ヲ傾取シ蒸發シテ稠厚越幾斯トナシ製スヘシ

本品ハ暗褐色ニシテ水ニ溷濁シテ溶解ス

Extractum Chinae.

キナ越幾斯　一分(1,0)

キナ皮粗末　五分(5,0)

ヲ取リ

稀酒精

ヲ注キ六日間冷浸シ壓漉シ又其殘滓ニ

稀酒精　五分(5,0)

ヲ注キ三日間冷浸シ壓漉シ漉液ヲ合シ二日間放置シタル後濾過シ蒸發シテ乾燥越幾斯トナシ製スヘシ

本品ハ赤褐色ニシテ水ニ溷濁シテ溶解ス

本品二グラム(2 g)ヲ硝子壺ニ取リ水五立方センチメートル(5 ccm)及純アルコホル六立方センチメートル(6 ccm)ノ混液ニ溶解シ「エーテル七十立方センチメートル(70 ccm)及クロ、フォルム十四立方センチメートル(14 ccm)ヲ和シ強ク振盪シ炭酸ナトリウム溶液(1:3)十立方センチメートル(10 ccm)ヲ加ヘ屢振盪シツヽ一時間放置シタル後澄明ノ「クロ、フォルムエーテル液六十立方センチメートル(60 ccm)ヲ取リ速ク蓋覆シタル漏斗ニ乾燥濾紙ヲ用ヒテ小硝子壺中ニ濾入シ蒸餾シテ約其半量ヲ去リ殘留セル「クロ、フォルムエーテル液ヲ分液漏斗ニ容レ逐次三回各エーテル六立方センチメートル(6 ccm)及クロ、フォルム一立方センチメートル(1 ccm)ノ混液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ用ヒテ小硝子壺ヲ洗浄シ分液漏斗中ノ液ニ合シ之ニ十分定規鹽酸十立方センチメートル(10 ccm)ヲ和シ強ク振盪シ必要ノ場合ニハ更ニ適量ノ「エーテル」ヲ混和シ「クロ、フォルムエーテル層ノ析出スルニ至リ下層ノ酸性澄明液ヲ豫メ水ヲ以テ濡ホセル小濾紙ヲ用ヒテ內容百立方センチメートル(100 ccm)ノ無色硝子壺中ニ濾入シ更ニ「クロ、フォルムエーテル液ニ逐次三回各十立方センチメートル(10 ccm)ノ水ヲ加ヘテ振盪シ其水液ヲ前ノ濾紙ヲ用ヒテ濾過シ水ヲ以テ濾紙ヲ洗浄シ全濾液ニ水ヲ加ヘ稀釋シテ百立方センチメートル(100 ccm)トナシ其五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ取リ新ニ「ヘマトギシリン一小片ヲ酒精一立方センチメートル(1 ccm)ニ溶解セル液ヲ滴加シ搖動シツヽ十分定規カリ液ヲ滴加シ類黃色ノ液ヲ強ク搖動スルニ直チニ類藍紫色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スコト二・三立方センチメートル(2,3 ccm)ニ過ク可カラス又硝子壺中ニ殘留スル液ノ五立方センチメートル(5 ccm)ニ「クロール水一立方センチメートル(1 ccm)ヲ和シ之ニ「アムモニア水ヲ加フルニ美麗ナル綠色ヲ呈セサル可カラス

Extractum Chinae fluidum.

キナ流動越幾斯

キナ流動越幾斯ハ

キナ皮粗末　百分 (100,0)

ヲ取リ

酒精　十六分 (16,0)

蒸餾水　一分 (1,0)

グリセリン　四分 (4,0)

ヨリ成レル第一浸出藥　適宜

酒精　四分 (4,0)

蒸餾水　一分 (1,0)

ヨリ成レル第一浸出藥適宜ヲ以テ流動越幾斯制定ノ製法ニ從ヒ製スヘシ

本品ハ帶赤暗褐色ノ液ニシテ味甚タ苦ク收斂性ナリ

Extractum Colocynthidis.

コロシント越幾斯

コロシント越幾斯ハ

粗飼載コロシント實　二分 (2,0)

ヲ取リ

稀酒精　四十五分 (45,0)

ヲ注キ十六日間冷浸シ壓搾シ又其殘滓ニ

酒精　十五分 (15,0)

常水　十五分 (15,0)

ヲ注キ更ニ三日間冷浸シ壓搾シ濾液ヲ合シ濾過シ蒸餾シテ乾燥越幾斯トナシ製スヘシ

本品ハ黃褐色ニシテ水ニ溶解シ味甚タ苦シ

注意。シテ貯フヘシ

Extractum Colombo.

コロムボ越幾斯

コロムボ越幾斯ハ

コロムボ根粗末　一分 (1,0)

ヲ取リ

酒精　二分 (2,0)

常水　二分 (2,0)

ヲ注キ二日間冷浸シ壓搾シ又其殘滓ニ

酒精　一分 (1,0)

常水　一分 (1,0)

ヲ注キ二日間冷浸シ壓搾シ濾液ヲ合シテ濾過シ蒸餾シテ乾燥越幾斯トナシ製スヘシ

本品ハ褐色ニシテ水ニ溶解シ

Extractum Condurango fluidum.

コンヂランゴ流動越幾斯

コンヂランゴ流動越幾斯ハ

コンヂランゴ皮中末　百分 (100,0)

ヲ取リ

酒精　十五分 (15,0)

蒸餾水　二十五分 (25,0)

グリセリン　十分　(10,0)

ヨリ成レル第一浸出藥ヲ以テ濾ホシ

酒精　一分　(1,0)

蒸餾水　三分　(3,0)

ヨリ成レル第二浸出藥適宜ヲ以テ流動越幾斯劑規定ノ製法ニ從ヒ製スヘシ

本品ハ褐色ノ液ナリ

本品ニ四倍容量ノ水ヲ和シ濾過シテ得タル澄明ノ液ヲ熱スレハ溷濁シ冷ユレハ復タ澄明トナル

本品一立方センチメートル(1 ccm)ニ水四立方センチメートル(4 ccm)ヲ加ヘ稀釋シテ得タル溷濁液ヲ煮沸シ冷後三十分時間放置シ濾過シ其濾液ノ二立方センチメートル(2 ccm)ニ水八立方センチメートル(8 ccm)ヲ加ヘテ稀釋シタル後之ニ「タンニン酸溶液ヲ加フルニ絮狀ノ沈澱ヲ生セサル可カラス

Extractum Coptidis.

黄連越幾斯

黄連越幾斯ハ黄連粗末ヲ以テ「コロムボ越幾斯ノ如ク製スヘシ

本品ハ褐色ニシテ水ニ溷濁シテ溶解ス

Extractum Cubebarum.

華澄茄越幾斯

華澄茄越幾斯ハ　二分　(2,0)

華澄茄粗末　二分　(3,0)

ヲ取リ　二分　(3,0)

エーテル

酒精

ヲ注キ三日間冷浸シ壓漉シ漉液ヲ合シテ濾過シ蒸發シテ稀薄越幾斯トナシ製スヘシ

本品ハ褐色ニシテ水ニ溶解セス

用ニ臨テ振盪スヘシ

Extractum Ferri pomati.

林檎鐵越幾斯

林檎鐵越幾斯ハ　五十分　(50,0)

酸味アル成熟林檎　一分　(1,0)

ヲ取リ搗碎シテ粥狀トナシ壓搾シテ得タル液ニ

鐵粉

ヲ混和シ直チニ重湯煎上ニ溫メテ瓦斯ノ發生熄ムニ至リ水ヲ加ヘテ其全量ヲ五十分トナシ數日間放置シテ濾過シ其液ヲ蒸發シテ稠厚越幾斯トナシ製スヘシ

本品ハ帶綠黑色ニシテ水ニ澄明ニ溶解シ味稍〻收斂性ニシテ甘ク刺戟性ナラス

本品ハ百分中五分以上ノ純鐵(Fe = 56)ヲ含有ス

本品一グラム(1 g)ヲ瓷製坩堝內ニ於テ灰化シ數回硝酸一二滴ヲ以テ濾ホシ蒸發シ其殘渣ヲ熱灼シ之ニ鹽酸五立方センチメートル(5 ccm)ヲ加ヘ溫ヲ與ヘテ溶解シ水二十立方センチメートル(20 ccm)ヲ和シ冷後ヨードカリウム一グラム(2 g)ヲ加ヘ密閉シ常溫ニ於テ一時間放置シタルモノヲ脫色スルニハ十分定規次亞硫酸ナトリウム液少ナクモ九立方センチメートル(9 ccm)ヲ費サヽル可カラス

○ Extractum Filicis.

綿馬越幾斯

綿馬越幾斯ハ

綿馬根粗末　一分(1,0)
ヲ取リ
エーテル　三分(3,0)
ヲ注キ密閉シテ三日間冷浸シ上液ヲ傾取シ又其殘滓ニ
エーテル　二分(2,0)
ヲ注キ更ニ三日間冷浸シテ壓漉シ漉液ヲ合シ濾過シ蒸餾シテ全ク「エーテル」ヲ除キ稀薄越幾斯トナシ製スヘシ
本品ハ類綠色ニシテ「エーテル」ニ澄明ニ溶解シ水ニ溶解セス
本品ノ混攪セルモノヲ取リ「グリセリン」ヲ以テ稀釋シ之ヲ顯微鏡下ニ檢視スルニ澱粉粒ヲ認ム可カラス
用ニ臨テ振盪スヘシ

○ Extractum Gentianae.

ゲンチアナ越幾斯

ゲンチアナ越幾斯ハ
粗剉截ゲンチアナ根　一分(1,0)
ヲ取リ
常水　五分(5,0)
ヲ注キ四十八時間冷浸シ壓漉シ又其殘滓ニ
常水　三分(3,0)
ヲ注キ十二時間冷浸シ壓漉シ漉液ヲ合シ蒸發シテ其全量ヲ三分トナシ冷後之ニ
酒精　一分(1,0)
ヲ混和シ二日間冷處ニ放置シ濾過シ其液ヲ蒸發シテ稠厚越幾斯トナシ製スヘシ
本品ハ赤褐色ニシテ水ニ澄明ニ溶解ス

本品ハ龍膽越幾斯ニ代用スルコトヲ得

Extractum Gentianae scabrae.

龍膽越幾斯

龍膽越幾斯ハ粗剉截龍膽ヲ以テ「ゲンチアナ越幾斯」ノ如ク製スヘシ
本品ハ赤褐色ニシテ水ニ澄明ニ溶解ス
本品ハ「ゲンチアナ越幾斯」ニ代用スルコトヲ得

Extractum Hamamelidis fluidum.

ハマメリス流動越幾斯

ハマメリス流動越幾斯ハ
ハマメリス葉粗末　百分(100,0)
ヲ取リ
酒精　五分(5,0)
蒸餾水　八分(8,0)
グリセリン　一分(1,0)
ヨリ成レル第一浸出藥　適宜
酒精　五分(5,0)
蒸餾水　八分(8,0)
ヨリ成レル第二浸出藥適宜ヲ以テ流動越幾斯劑規定ノ製法ニ從ヒ製スヘシ
本品ハ帶赤暗褐色ノ液ニシテ味收斂性ナリ

Extractum Hydrastis fluidum.

ヒドラスチス流動越幾斯

ヒドラスチス流動越幾斯ハ

ヒドラスチス根中末　百分(100,0)

ヲ取リ

酒精　七分(7,0)

蒸餾水　三分(3,0)

ヨリ成レル浸出藥適宜ヲ以テ流動越幾斯劑規定ノ製法ニ從ヒ製スヘシ

本品ハ暗褐色ノ液ナリ

本品三滴ニ水十立方センチメートル(10 ccm)ヲ和シテ稀釋シタルモノハ「クロール」水ニ由テ赤色ヲ呈ス

本品一分ニ水十分ヲ和シテ稀釋シ濾過シテ得タル澄明ノ液五立方センチメートル(5 ccm)ニ稀硝酸一立方センチメートル(1 ccm)ヲ加フレハ微ニ溷濁シ暫時ノ後黃色ノ結晶ヲ析出ス

本品十五グラム(15 g)ヲ豫メ秤量セル瓷皿ニ取リ重湯煎上ニ蒸發シテ約五グラム(5 g)トナシ之ヲ硝子壜中ニ移シ水約十立方センチメートル(10 ccm)ヲ用ヒテ瓷皿ヲ洗浣シ硝子壜中ノ液ニ合シ之ニ石油ベンチン十五立方センチメートル(15 ccm)ヱーテル七十五立方センチメートル(75 ccm)及アムモニア水五立方センチメートル(5 ccm)ヲ加ヘ屢〻振盪シツヽ一時間放置シタル後ヱーテル液七十五立方センチメートル(75 ccm)ヲ取リ善ク蓋覆シタル漏斗ニ濾入シ鹽酸一分及蒸餾水四分ノ混液十立方センチメートル(10 ccm)ヲ加ヘテ二三分時間強ク振盪スヘシ尋テ酸性液ノ澄明ニ分離スルニ至リ之ヲ硝子壜ニ取リ更ニ「ヱーテル液ニ逐次二回各五立方センチメートル(5 ccm)ノ水ニ鹽酸數滴ヲ添加シタルモノヲ加ヘテ振盪シ其酸性液ヲ硝子壜中ニ合シ「アムモニア水ヲ以テ過飽シ「ヱーテル五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ加ヘ屢〻強ク振盪シツヽ一時間放置シタル後上層ノ「ヱーテル液四十立方センチメートル(40 ccm)ヲ取リ善ク蓋覆セル漏斗ニ乾燥濾紙ヲ用ヒテ豫メ秤量セル乾燥硝子壜中ニ濾入シ「ヱーテル」ヲ蒸餾シ去リ殘留物ヲ百度ニ於テ乾燥シ冷後秤量スルニ少ナクモ〇·二グラム(0,2 g)ナラサル可カラス又其殘留物ニ水十立方センチメートル(10 ccm)ヲ注キ稀硫酸數滴ヲ加ヘテ溶解シ之ニ過マンガン酸カリウム溶液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ加ヘテ脫色スルニ至ルマテ振盪スルニ藍色ノ螢石彩ヲ呈スル溶液ヲ生セサル可カラス

Extractum Hyoscyami.

ヒヨス越幾斯

ヒヨス越幾斯ハ

新鮮ナル「ヒヨス葉　二十分(20,0)

ヲ取リ

常水　一分(1,0)

ヲ注キ搗碎シ壓漉シ又其殘滓ニ

常水　三分(3,0)

ヲ注キ更ニ搗碎シテ壓漉シ漉液ヲ合シ八十度ノ溫ヲ與ヘテ濾過シ濾液ヲ蒸發シテ其全量ヲ二分トナシ之ニ

酒精　二分(2,0)

ヲ混和シ屢〻振盪シツヽ二十四時間放置シ濾過シ又其殘滓ニ

稀酒精　一分(1,0)

ヲ注キ反覆振盪シツヽ溫浸シ其沈定スルヲ俟テ上清液ヲ傾取シ漉液ヲ合シ濾過シ其液ヲ蒸發シテ稠厚越幾斯トナシ製スヘシ

本品ハ帶綠褐色ニシテ水ニ溷濁シテ溶解ス

本品一グラム(1 g)ハ水及酒精等分ノ混液四十立方センチメートル(40 ccm)ニ殆ト澄明ニ溶解セサル可カラス

本品二グラム(2 g)ヲ硝子壜ニ取リ水五立方センチメートル(5 ccm)及純アルコホル六立方センチメートル(6 ccm)ノ混液ニ溶解シ「ヱーテル七十立方センチメートル(70 ccm)及クロヽフォルム十四立方センチメートル(14 ccm)ヲ和シ强ク振盪シ炭酸ナトリウム(1:3)十立方センチメートル(10 ccm)ヲ加ヘ屢〻振盪シツヽ一時間放置シタル後澄明ノ「クロヽフォルム」ヱーテル液六十立方センチメー

トル(60 ccm)ヲ取リ善ク蓋覆シタル漏斗ニ乾燥濾紙ヲ用ヒテ小硝子瓶中ニ濾入シ蒸餾シテ約其半量ヲ去リ殘留セル「クロ、フォルムエーテル」液ヲ分液漏斗ニ容レ逐次三回各エーテル六立方センチメートル(6 ccm)及クロ、フォルム一立方センチメートル(1 ccm)ノ混液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ用ヒテ小硝子瓶ヲ洗浄シ分液漏斗中ノ液ニ合シ之ニ百分定規鹽酸十立方センチメートル(10 ccm)ヲ和シ強ク振盪シ必要ノ場合ニハ更ニ適量ノ「エーテル」ヲ混和シ「クロ、フォルムエーテル」層ノ析出スルニ至リ下層ノ酸性澄明液ヲ採メ水ヲ以テ濡ホセル小濾紙ヲ用ヒテ內容約二百立方センチメートル(200 ccm)ノ無色硝子壜中ニ濾入シ更ニ「クロ、フォルムエーテル」液ニ逐次三回各十立方センチメートル(10 ccm)ノ水ヲ加ヘテ振盪シ其水液ヲ前ノ濾紙ヲ用ヒテ濾過シ水ヲ以テ濾紙ヲ洗浄シ全濾液ニ水ヲ加ヘ稀釋シテ約百立方センチメートル(100 ccm)トナシ之ニ「エーテル」ヲ注加シ壜中エーテル層ノ高サ約一センチメートル(1 cm)ニ達スルニ至リ「ヨードエオシン」溶液五滴ヲ點加シ强ク振盪シツヽ百分定規カリ液ヲ滴加シ下層ノ水液淡紅色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スコト六・五立方センチメートル(6,5 ccm)ニ過ク可カラス

注意シテ貯フヘシ

Extractum Liquiritiae.

甘草越幾斯

一分(1,0)

甘草越幾斯ハ剉截セル甘草ヲ以テ「ゲンチアナ越幾斯」ノ如ク製スヘシ

本品ハ褐色ニシテ水ニ澄明ニ溶解ス

Extractum Opii.

阿片越幾斯

阿片越幾斯ハ

阿片　四分(4,0)

ヲ取リ

蒸餾水　四分(4,0)

ヲ注キ冷浸シ二十四時間ノ後壓漉シ又其殘滓ニ

蒸餾水　三分(3,0)

ヲ注キ更ニ二十四時間冷浸シテ壓漉シ漉液ヲ合シ其沈定スルヲ俟テ濾過シ蒸發シテ乾燥越幾斯トナシ製スヘシ

本品ハ赤褐色ニシテ水ニ溷濁シテ溶解ス

本品六グラム(6 g)ヲ取リ阿片ノ條ニ掲クル方法ニ由テ試驗スルニ〇・四乃至〇・四四グラム(0,4-0,44 g)ノ「モルヒネ」ヲ檢出セサル可カラス此モルヒネ」ノ試驗ハ阿片ノ條ニ掲クル所ニ同シ

注意シテ貯フヘシ

Extractum Physostigmatis.

カラバル豆越幾斯

カラバル豆越幾斯ハ

カラバル豆粗末　十分(10,0)

ヲ取リ

酒精　二十四分(24,0)

常水　十六分(16,0)

ヲ注キ三日間溫浸シ壓漉シ又其殘滓ニ

酒精　二十四分(24,0)

常水　十六分(16,0)

ヲ注キ一日間溫浸シ壓漉シ漉液ヲ合シテ濾過シ蒸發シテ其容量三分一トナルニ至リ冷處ニ靜置シテ其沈定スルヲ俟チ再ヒ濾過シ蒸發シテ稠厚越幾斯トナシ製スヘシ

本品ハ褐色ニシテ水ニ溷濁シテ溶解ス

最モ注意シテ貯フヘシ

Extractum Phytolaccae.
商陸越幾斯

商陸越幾斯ハ　十分　(10,0)
商陸粗末　二十分　(20,0)
ヲ取リ
稀酒精
ヲ注キ三日間溫浸シ壓漉シ其殘滓ニ　十五分　(15,0)
稀酒精
ヲ注キテ一日間溫浸シ壓漉シ濾液ヲ合シテ濾過シ蒸發シテ稠厚越幾斯トナシ製スヘシ
本品ハ褐色ニシテ稀酒精ニ澄明ニ、水ニ溷濁シテ溶解シ微ニ靑辣性ノ苦味ヲ有ス
注意シテ貯フヘシ

Extractum Quassiae.
クワッシア越幾斯

クワッシア越幾斯ハ　一分　(1,0)
粗剉截クワッシア木
ヲ取リ
常水　十二分　(12,0)
ヲ注キ一日間冷浸シ尋テ一時間煮沸シ壓漉シ其殘滓ニ　十二分　(12,0)
常水
ヲ注キ煮沸シ漉液ヲ合シ漉過シ蒸發シテ乾燥越幾斯トナシ製スヘシ
本品ハ褐色ニシテ水ニ溷濁シテ溶解ス

Extractum Ratanhiae.
ラタニア越幾斯

ラタニア越幾斯ハ　一分　(1,0)
ラタニア根粗末
ヲ取リ
常水　適宜
ヲ注キテ反覆冷浸シ最後ニ一回煮沸シ漉過シ漉液ヲ合シ蒸發シテ乾燥越幾斯トナシ製スヘシ
本品ハ帶褐黑色ニシテ水ニ溷濁シテ溶解ス

Extractum Rhei.
大黃越幾斯

大黃越幾斯ハ　二分　(2,0)
粗剉截大黃　四分　(4,0)
ヲ取リ　六分　(6,0)
酒精
常水
ヲ注キ二十四時間冷浸シ壓漉シ又其殘滓ニ　二分　(2,0)
酒精　三分　(3,0)
常水
ヲ注キ更ニ二十四時間冷浸シ壓漉シ漉液ヲ合シ濾過シ蒸發シテ乾燥越幾斯トナシ製スヘシ
本品ハ褐色ニシテ水ニ溷濁シテ溶解ス

○ Extractum Scopoliae.
莨菪越幾斯

莨菪越幾斯ハ

蒐若根粗末　一分(1,0)
ヲ取リ
稀酒精　二分(2,0)
常水　二分(2,0)
ヲ注キ三日間冷浸シ壓漉シ又其殘滓ニ
稀酒精　一分(1,0)
常水　一分(1,0)
ヲ注キ二日間冷浸シ壓漉シ漉液ヲ合シテ濾過シ蒸發シテ稠厚越幾斯トナシ製スヘシ
本品ハ褐色ニシテ水ニ微ニ溷濁シテ溶解ス
本品一分ヲ百分ノ水ニ和シ濾過シテ得タル液ハ曇孔ヲ散大スルノ效力ヲ有スヘシ
注意シテ貯フヘシ

○Extractum Secalis cornuti.
麥角越幾斯

麥角越幾斯ハ　二分(2,0)
麥角粗末
ヲ取リ
蒸餾水　四分(4,0)
ヲ注キ六時間冷浸シテ後壓漉シ又其殘滓ニ
蒸餾水　四分(4,0)
ヲ注キ六時間冷浸シ壓漉シ漉液ヲ合シ蒸發シテ一分トナシ之ニ
酒精　一分(1,0)
ヲ混和シ三日間放置シ濾過シ蒸發シテ稠厚越幾斯トナシ製スヘシ

本品ハ赤褐色ニシテ水ニ澄明ニ溶解ス
注意シテ貯フヘシ

Extractum Secalis cornuti fluidum.
麥角流動越幾斯

麥角流動越幾斯ハ　百分(100,0)
麥角粗末
ヲ取リ　二分(2,0)
酒精　八分(8,0)
蒸餾水
ヨリ成レル浸出藥ヲ以テ流動越幾斯劑規定ノ製法ニ從ヒ製スヘシ
本品ハ赤褐色澄明ノ液ナリ

Extractum Strychni.
番木鼈越幾斯

番木鼈越幾斯ハ　十分　(10,0)
番木鼈粗末
ヲ取リ　二十分(20,0)
稀酒精
ヲ注キ二十四時間溫浸シ壓漉シ又其殘滓ニ　十五分(15,0)
稀酒精
ヲ注キテ前法ヲ反覆シ漉液ヲ合シテ濾過シ蒸發シテ乾燥越幾斯トナシ製スヘシ
本品ハ褐色ニシテ水ニ溷濁シテ溶解シ强キ苦味ヲ有ス
本品ノ一小片ヲ酒精ニ溶解シ稀硫酸二三滴ヲ和シ重湯煎上ニ蒸發スレハ其殘留物ハ紫紅色ヲ呈シ

之ニ水二三滴ヲ注ケハ褪色シ乾燥スレハ復タ現出ス

本品一グラム(1 g)ヲ硝子壜ニ取リ水五立方センチメートル(5 ccm)及純アルコホル六立方センチメートル(6 ccm)ノ混液ニ溶解シ「エーテル七十立方センチメートル(70 ccm)及クロヽフォルム十四立方センチメートル(14 ccm)ヲ和シ強ク振盪シ炭酸ナトリウム溶液(1:3)十立方センチメートル(10 ccm)ヲ加ヘ屢〻振盪シツヽ一時間放置シタル後澄明ノ「クロヽフォルムエーテル液六十立方センチメートル(60 ccm)ヲ取リ善ク蓋覆シタル漏斗ニ乾燥濾紙ヲ用ヒテ小硝子壺中ニ濾入シ蒸餾シテ約其半量ヲ去リ殘留セル「クロヽフォルムエーテル液ヲ分液漏斗ニ容レ逐次三回各エーテル六立方センチメートル(6 ccm)及クロヽフォルム一立方センチメートル(1 ccm)ノ混液五立方センチメートル(5 ccm)ヲ用ヒテ小硝子壺ヲ洗浄シ分液漏斗中ノ液ニ合シ之ニ百分定規鹽酸五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ和シ強ク振盪シ必要ノ場合ニハ更ニ適量ノ「エーテル」ヲ混和シ「クロヽフォルムエーテル層ノ析出スルニ至リ下層ノ酸性澄明液ヲ豫メ水ヲ以テ濡ホセル小濾紙ヲ用ヒテ內容二百立方センチメートル(200 ccm)ノ無色硝子壜中ニ濾入シ更ニ「クロヽフォルムエーテル液ニ逐次三回各十立方センチメートル(10 ccm)ノ水ヲ加ヘテ振盪シ其水液ヲ前ノ濾紙ヲ用ヒテ濾過シ水ヲ以テ濾紙ヲ洗浄シ全濾液ニ水ヲ加ヘ稀釋シテ約百立方センチメートル(100 ccm)トナシ之ニ「エーテル」ヲ注加シ壜中エーテル層ノ高サ約一センチメートル(1 cm)ニ達スルニ至リ「ヨードエオシン溶液五滴ヲ點加シ強ク振盪シツヽ百分定規カリ液ヲ滴加シ下層ノ水液淡紅色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ數スコト十八立方センチメートル(18 ccm)ニ過ク可カラス

注意シテ貯フヘシ　一分(1,0)

Extractum Taraxaci.

蒲公英越幾斯

蒲公英越幾斯ハ中剝截蒲公英ヲ取リ　五分(5,0)

常水ヲ注キ四十八時間冷浸シ壓漉シ又其殘滓ニ常水ヲ注キ十二時間冷浸シ壓漉シ漉液ヲ合シ蒸發シテ其全量ヲ二分トナシ之ニ酒精ヲ混和シ二日間冷處ニ放置シ濾過シ蒸發シテ稠厚越幾斯トナシ製スヘシ　三分(3,0)　一分(1,0)

本品ハ褐色ニシテ水ニ澄明ニ溶解ス

Fel Tauri inspissatum.

稠厚牛膽

稠厚牛膽ハ牛ノ膽汁ヲ取リ熱シテ瓷皿中ニ漉過シ電湯煎上ニ蒸發シ稠厚越幾斯ノ稠度トナシ製スヘシ

本品ハ帶綠褐色ヲ有シ水ニ殆ト溶解シ其水溶液ニ少量ノ蔗糖ヲ加ヘタル後硫酸ヲ注和スレハ暗紫紅色ヲ呈シ更ニ多量ノ水ヲ加ヘテ稀釋スレハ著シク混濁ス

味ハ初メ微ニ甘ク後甚タ苦シ臭氣ハ特異ニシテ腐敗性ナル可カラス

本品ヲ燃化スルニ百分ニ付キ八乃至十分ノ固性物ヲ殘留スヘシ

Ferrum carbonicum saccharatum.

含糖炭酸鐵

含糖炭酸鐵ハ硫酸鐵ヲ取リ沸騰蒸餾水　五分　(5,0)　二十分(20,0)

ニ溶解シ之ヲ測大ナル壺中ニ於ケル
　重炭酸ナトリウム
　微温蒸溜水　二・五分 (3,5)
　五十分 (50,0)
ノ澄明溶液中ニ濾入シ善ク混和シタル後蒸溜水ヲ注キテ全滿シ寛ク栓塞シテ放置シ吸液管ヲ以テ上清液ヲ除去シ再ヒ蒸溜水ヲ注キテ全滿シ沈定セシメ更ニ上清液ヲ除去シ此操作ヲ反覆シ上清液ニ硝酸バリウム溶液ヲ加フルニ復タ殆ト溷濁ヲ見サルニ至リ成ルヘク水分ヲ除去シタル後沈澱ヲ移メ
　乳糖末　一分 (1,0)
　白糖末　二分 (3,0)
ヲ容レタル瓷皿ニ移シ善ク混和シ重湯煎上ニ於テ乾燥粉碎シテ粉末トナシ尙乾燥白糖末ヲ加ヘ混和物ノ全量ヲ十分 (10,0) ト為シ製スヘシ

本品ハ帶綠灰色ノ粉末ニシテ味甘ク微ニ鐵味ヲ帶フ其百分中ニハ九・五乃至十分ノ純鐵(Fe = 56)ヲ含有ス

本品ニ鹽酸ヲ和スレハ炭酸ヲ發生シテ溶解シ帶綠黃色ノ溶液ヲ生ス之ニ水ヲ和シテ稀釋シタルモノハ黃色血鹽鹽溶液或赤色血鹽鹽溶液ニ由テ藍色ノ沈澱ヲ生ス

本品ニ成ルヘク少量ノ鹽酸ヲ加ヘテ製シタル水溶液(1:50)ハ硝酸バリウム溶液ニ由テ溷濁スルコトアルモ僅微ニ過ク可カラス

本品1グラム(1 g)ヲ溫ヲ與ヘスシテ稀硫酸十立方センチメートル(10 ccm)ニ溶解シ之ニ過マンガン酸カリウム溶液(5:1000)ヲ加ヘ暫時消失セサル微赤色ヲ呈スルニ至リ其脫色スルヲ俟テ「ヨードカリウム」1グラム(2 g)ヲ加ヘ密閉シ常溫ニ於テ1時間放置シタルモノヲ脫色スルニハ十分定規次亞硫酸ナトリウム溶液十七乃至十七・八立方センチメートル(17–17,8 ccm)ヲ要サヽル可カラス

Ferrum citricum ammoniatum.

枸櫞酸鐵アムモニウム

「枸櫞酸鐵アムモニウム」ハ
　枸櫞酸鐵溶液　三分 (3,0)
　アムモニア水　一分 (1,0)
ヲ取リ混和シ六十度ヲ超ユサル溫ニ於テ蒸發シ含利別稠トナルニ至リ滑ク硝子板上ニ塗布シ小片トナシ剝離シ得ルニ至ル泡微溫ニ於テ乾燥シ製スヘシ

本品ハ透明赤褐色脆酸性ノ小葉片ニシテ好テ濕氣ヲ引キ水ニ溶解シ易ク酒精ニ溶解セス

本品ノ水溶液ハ鹽酸ヲ加ヘ後熱メテ黃色血鹽鹽溶液ニ由テ藍色ヲ呈ス又ナトロン溷液ヲ和シテ燃スルニ「アムモニア」ヲ發シテ赤褐色ノ沈澱ヲ生シ其濾液ニ醋酸ヲ加ヘテ微ニ酸性トナシ「クロー」ルカルチウム溶液ヲ和シテ得タル澄明ノ液ヲ燃スルニ漸次白色結晶性ノ沈澱ヲ析出ス

本品ノ水溶液(1:50)ニ過剩ノ「カリ」溷液ヲ和シテ煮沸シ其鐵分悉ク沈降スルニ至リ濾過シテ得タル液ニ醋酸ヲ加ヘテ酸性トナスニ久シキヲ經ルモ結晶性ノ沈澱ヲ生ス可カラス又硝酸ヲ加ヘタル後硝酸バリウム溶液ニ由テ僅微ノ溷濁ヲ起スニ過ギス可カラス

本品ノ水溶液(1:50)ハ硝酸ヲ以テ酸性トナシタル後硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石溷ヲ起スニ過キス又赤色血鹽鹽溶液ニ由テ變化セス或ハ帶綠綠色ヲ呈スルニ過ク可カラス

本品1グラム(1 g)ヲ燃灼スルニ〇・二五乃至〇・三グラム(0,25–0,3 g)ノ酸化鐵ヲ殘留スヘシ此殘留物ハ「アルカリ」性ノ反應ヲ微ス可カラス

壜中ニ容レ嫌從シ光ヲ遮リ貯フヘシ

Ferrum citricum oxydatum.

枸櫞酸鐵

「枸櫞酸鐵ハ

枸櫞酸鐵液

ヲ取リ六十度ヲ超エサル溫ヲ與ヘテ蒸發シ舍利別稠トナルヲ度トシ薄ク硝子板上ニ塗布シ小薬片トナシテ剝離シ得ルニ至ル迄微溫ニ於テ乾燥シ製スヘシ

本品ハ透映赤褐色酸性ノ小薬片ニシテ氣中ニ於テ變化セス水ニ徐々ニ、熱湯ニ容易ニ全溶シ酒精ニ溶解セス

本品ノ水溶液ニ黃色血滷鹽溶液ヲ和スレハ藍綠色ヲ呈シ之ニ鹽酸ヲ加フレハ暗藍色ニ變ス又ナトロン滷液ヲ和シテ熱スルニ赤褐色ノ沈澱ヲ生シ其濾液ニ醋酸ヲ加ヘテ微ニ酸性トナシ「クロールカルチウム溶液ヲ和シテ得タル澄明ノ液ヲ熱スルニ漸次白色結晶性ノ沈澱ヲ析出ス

本品ノ水溶液(1:50)ニ「アムモニア水ヲ和スルニ沈澱ヲ生ス可カラス又過剩ノ「カリ滷液ヲ加ヘ其鐵分悉ク沈降スルニ至ル迄煮沸スルニ其際アムモニアヲ發ス可カラス此沈澱ヲ濾別シテ得タル液ニ醋酸ヲ和シテ酸性トナスニ久シキヲ經ルモ結晶性ノ沈澱ヲ生ス可カラス又硝酸ヲ加ヘタル後硝酸バリウム溶液ニ由テ僅微ノ混濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品ノ水溶液(1:50)ハ硝酸ヲ以テ酸性トナシタル後硝酸銀溶液ニ由テ變化セス或ハ帶藍綠色ヲ呈スルニ過ク可カラス

赤色血滷鹽溶液ニ由テ變化セス或ハ帶藍綠色ヲ呈スルニ過ク可カラス

本品一グラム(1 g)ヲ燒灼スルニ〇·二乃至〇·二グラム(0,2–0,3 g)ノ酸化鐵ヲ殘留スヘシ此殘留物ハ「アルカリ性ノ反應ヲ微ス可カラス

Ferrum jodatum saccharatum.

含糖ヨード鐵

含糖ヨード鐵ハ	六分 (6,0)
鐵線	二十分 (20,0)
蒸餾水	十七分 (17,0)
ヨード	

ヲ取リ硝子壺ニ容レ屢〻振盪シテ溫處ニ放置シ其液ノ類綠色トナルヲ度トシ豫メ

乳糖末	四十分 (40,0)

ヲ盛リタル瓷皿ニ濾入シ少量ノ蒸餾水ヲ以テ硝子壺並濾器ヲ洗浣シ重湯煎上ニ於テ攪拌シツヽ蒸發シテ乾涸スルニ至リ豫メ

乳糖末	三十九分 (39,0)
還元鐵	一分 (1,0)

ヲ盛リタル溫鐵臼中ニ其乾燥塊ヲ速ニ投入シ搗碎シテ乾燥粉末トナシ直チニ小壜中ニ密閉スヘシ

本品ハ帶黃白色或ハ類灰色ノ粉末ニシテ甚タ濕氣ヲ引キ易ク緩和ノ鐵味ヲ有シ弱酸性ノ反應ヲ微シ七分ノ水ニ還元鐵ヲ遺シテ殆ト全溶ス

本品ハ百分中約二十分ノ純ヨード鐵(FeJ_2 = 309,7)ヲ含有ス

本品ヲ氣中ニ燒灼スレハ「ヨード」ノ蒸氣ヲ發シテ燃化シ砂糖ヲ燒灼スルカ如キ臭氣ヲ放チ終ニ「アルカリ性反應ヲ微セサル殘留物ヲ得ヘシ又本品ノ水溶液ハ少量ノ「クロール水ヲ加ヘタル後初メテ澱粉溶液ニ由テ暗藍色ヲ呈スヘシ

本品一グラム(1 g)ヲ水十立方センチメートル(10 ccm)ニ溶解シ濾過シ水ヲ以テ洗滌シ全液ニ稀硫酸十立方センチメートル(10 ccm)ヲ加ヘ之ニ過マンガン酸カリウム溶液(1:100)六·六立方センチメートル(6,6 ccm)ヲ注加シ屢〻振盪シツヽ常溫ニ於テ三時間放置シ尋テ「ヨードカリウム二グラム(2 g)ヲ和シテ更ニ一時間放置シタルモノヲ脫色スルニハ十分定規次亞硫酸ナトリウム液十九立方センチメートル(19 ccm)ヲ費サヽル可カラス

小壜中ニ容レ冷暗處ニ貯フヘシ

Ferrum lacticum.

$$Fe(C_3H_5O_3)_2 + 3H_2O = 288,16$$

乳酸鐵

乳酸鐵ハ小鐵狀ノ結晶ヨリ成レル帶綠白色ノ塊片或ハ結晶性ノ粉末ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ

約四十分ノ水竝十二分ノ沸湯ニ溶解シテ帶綠黃色ノ液トナリ弱酸性ノ反應ヲ微シ酒精ニ溶解セス

本品ノ水溶液ハ赤色血滷鹽溶液ニ由テ直チニ暗藍色ノ沈澱ヲ生ス又黃色血滷鹽溶液ニ由テ鮮藍色ノ沈澱ヲ生ス又本品ヲ熱灼スレハ炭化シ砂糖ヲ燃燒スル如キ臭氣ヲ放ツ

本品ノ水溶液(1:50)ハ醋酸鉛溶液ヲ和スルモ又鹽酸ヲ加ヘテ後硫化水素水ヲ和スルモ蛋白石濁ヲ起スニ止マルヘシ又硝酸ヲ加ヘタル後硝酸バリウム溶液竝硝酸銀溶液ニ由テ變化ス可カラス又此溶液三十立方センチメートル(30 ccm)ニ稀硫酸三立方センチメートル(3 ccm)ヲ加ヘ少時煮沸シ更ニ過剩ノ「ナトロン」濾液ヲ加ヘ濾過シテ得タル液ニ「フェーリング」溶液ヲ加ヘテ熱スルニ赤色ノ沈澱ヲ析出ス可カラス

本品ノ粉末ニ硫酸ヲ混和スルニ瓦斯ヲ發セス其混和液ヲ半時間放置スルモ著シク褐色ヲ呈ス可カラス

本品一グラム(1 g)ヲ瓷製坩堝ニ取リ硝酸ヲ以テ濡ホシ微溫ニ於テ蒸發シテ得タル固性物ヲ熾灼スルニ少ナクモ約0·17グラム(0,27 g)ノ酸化鐵ヲ殘留スヘシ此殘留物ハ水ニ全ク溶解セス又アルカリ性ノ反應ヲ微ス可カラス

Ferrum pulveratum.

Fe = 56

鐵粉

鐵粉ハ微ニ光輝アル重キ灰色ノ粉末ニシテ磁石ニ引攝セラレ稀硫酸或ハ稀鹽酸ニ水素瓦斯ヲ發シテ溶解ス

本品ノ鹽酸性溶液ニ多量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シ赤色血滷鹽溶液ヲ和スルニ深藍色ノ沈澱ヲ生ス

本品ハ百分中九十八分以上ノ純鐵ヲ含有ス

本品ヲ水及鹽酸各同容量ノ混液ニ溶解スルニ殘留物アルモ僅微ニ過ク可カラス其際發生スル瓦斯ハ殆ト臭氣ナク醋酸鉛溶液ニ由テ濡ホシタル紙片ヲ直チニ類褐色ニ染ム可カラス

本品一グラム(1 g)ヲ約五十立方センチメートル(50 ccm)ノ稀硫酸ニ溶解シ此溶液ヲ稀釋シテ百立方センチメートル(100 ccm)トナシ其十立方センチメートル(10 ccm)ニ過マンガン酸カリウム溶液(5:1000)ヲ注加シ微ニ赤色ヲ呈スルニ至リ更ニ酒精一二滴ヲ加ヘ全ク脫色セシメ之ニ二グラム(2 g)ノ「コードカリウム」ヲ加ヘテ密閉シ常溫ニ於テ一時間放置シタルモノヲ脫色スルニハ十分定規次亞硫酸ナトリウム液少ナクモ十七·五立方センチメートル(17,5 ccm)ヲ費サヽル可カラス

○ Ferrum reductum.

還元鐵

還元鐵ハ灰色或ハ灰黑色細微ノ粉末ニシテ光輝ナク磁石ニ引攝セラレ熱スレハ自カラ紅熾シテ黑褐色ニ變ス

本品ハ百分中九十分以上ノ純鐵(Fe = 56)ヲ含有ス

本品ヲ水及鹽酸各同容量ノ混液ニ溶解スルニ殘留物アルモ僅微ニ過ク可カラス其際發生スル瓦斯ハ殆ト臭氣ナク醋酸鉛溶液ヲ以テ濡ホシタル紙片ヲ直チニ類褐色ニ染ム可カラス又本品二グラム(2 g)ニ水十立方センチメートル(10 ccm)ヲ加ヘ振盪シテ得タル液ハ試驗紙ヲ變色セス之ヲ濾過シテ得タル液ヲ蒸發スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス可カラス

本品及クロール酸カリウム各0·2グラム(0,2 g)ヲ太キ試驗管ニ容レ鹽酸二立方センチメートル(2 ccm)ヲ注加シ瓦斯ノ發生熄ムニ至リ熱シテ遊離クロール」ヲ去リ濾過シテ得タル澄明ノ液一立方センチメートル(1 ccm)ニ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3 ccm)ヲ和スルニ一時間以內ニ液ニ硝酸ヲ加ヘテ酸化セシメタル後過剩ノ「アムモニア」水ヲ和シ濾過シテ得タル液ハ硫化水素水ニ由テ變化ス可カラス

本品及クロール酸カリウム各0·2グラム(0,2 g)ヲ太キ試驗管ニ容レ鹽酸二立方センチメートル(2 ccm)ヲ注加シ瓦斯ノ發生熄ムニ至リ熱シテ遊離クロール」ヲ去リ濾過シテ得タル澄明ノ液一立方センチメートル(1 ccm)ニ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3 ccm)ヲ和スルニ一時間以內ニ暗色ヲ呈ス可カラス

本品一グラム(1 g)ヲ約五十立方センチメートル(50 ccm)ノ稀硫酸ニ溶解シ此溶液ヲ稀釋シテ百立方センチメートル(100 ccm)トナシ其十立方センチメートル(10 ccm)ニ過マンガン酸カリウム溶液(5:1000)ヲ注加シ微ニ赤色ヲ呈スルニ至リ更ニ酒精一二滴ヲ加ヘ全ク脫色セシメ之ニ二グラム(2 g)ノ「コードカリウム」ヲ加ヘテ密閉シ常溫ニ於テ一時間放置シタルモノヲ脫色スルニハ十分定規次亞硫酸ナトリウム液少ナクモ十七·五立方センチメートル(17,5 ccm)ヲ費サヽル可カラス

暗色ヲ呈ス可カラス

本品ヲ粉碎シテ微細ノ粉末トナシタルモノ〇・二グラム(0,3 gr)ニ「ヨード」カリウム溶液十立方センチメートル(10 ccm)ヲ注キ冷却振盪シツヽ徐々ニ「ヨード」ノ粗末一・五グラム(1,5 gr)ヲ加ヘ鐵及ヨード」ノ全ク溶解スルニ至リ直チニ水ヲ加ヘテ百立方センチメートル(100 ccm)トナシテ放置シテ得タル澄明ノ液五十立方センチメートル(50 ccm)ヲ取リ之ヲ脫色スルニハ十分定量ノ亞硫酸ナトリウム液ヲ費スコト十・二立方センチメートル(10,3 ccm)ニ過ク可カラス

壜中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

Ferrum sesquichloratum.

$Fe_2Cl_6 + 12H_2O = 540,94$

過クロール鐵

過クロール鐵ハ黃色結晶性乾燥ノ塊ニシテ甚タ濕氣ヲ引キ易ク水酒精又エーテル酒精ニ溶解ス

本品ヲ等分ノ水ニ溶解シタルモノハ試驗ハ過クロール鐵液ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

壜中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ光ヲ遮リ貯フヘシ

Ferrum subcarbonicum.

次炭酸鐵

次炭酸鐵ハ粉黃褐色或ハ帶赤褐色細緻ナル無晶形ノ粉末ニシテ水ニ溶解セス

本品ハ稀鹽酸ニ微ニ泡沸シテ全溶ス又此溶液ニ黃色血鹽鹽溶液或赤色血鹽鹽溶液ヲ和スレハ藍色ノ沈澱ヲ生ス

本品一分ニ十分ノ水ヲ和シテ振盪シ濾過シテ得タル液ハ試驗紙ヲ直チニ變色ス可カラス又之ヲ蒸發スルニ殘留物アルモ僅微ニ過ク可カラス又本品ノ硝酸性水溶液(1:20)ニ硝酸バリウム溶液或硝酸銀溶液ヲ加フルニ蛋白石澁ヲ起スニ止マルヘシ又本品ノ鹽酸溶液ニ少量ノ硝酸ヲ加ヘテ煮沸シ過剩ノ「アムモニア」水ヲ和シ溫ヲ與ヘ濾過シテ得タル無色澄明ノ液ハ硫化水素水或炭酸ナトリウム溶液ニ由テ澁色或ハ染色ス可カラス

Ferrum sulfuricum.

$FeSO_4 + 7H_2O = 278,2$

硫酸鐵

硫酸鐵ハ

鐵　一分(2,0)

ヲ取リ之ヲ

硫酸　二分(3,0)

蒸餾水　八分(8,0)

ノ混和液中ニ投シ熱ヲ與ヘテ溶解シ殆ト瓦斯ノ發生止ムニ至リ溫ニ乘シテ濾過シ其濾液ヲ

酒精　四分(4,0)

ノ中ニ攪拌シツヽ注加シ茲ニ生スル結晶粉ヲ直チニ濾器上ニ採收シ少量ノ酒精ヲ以テ洗滌シ壓搾シ濾紙上ニ敷布シ常溫ニ於テ速ニ乾燥シ製スヘシ

本品ハ結晶性粉末ニシテ乾燥氣中ニ於テ風化シ一・八分ノ水ニ溶解シテ帶藍綠色ノ液トナル

本品ノ極メテ稀薄ナル水溶液ニ赤色血鹽鹽溶液ヲ加フレハ深藍色ノ沈澱ヲ生シ硝酸バリウム溶液ヲ加フレハ鹽酸ニ溶解セサル白澁ヲ生ス

本品ヲ新ニ煮沸シ冷却シタル水ニ溶解シテ得タル液(1:20)ハ澄明帶藍綠色ニシテ藍色試驗紙ヲ殆ト赤變ス可カラス

本品二グラム(2 gr)ヲ水ニ溶解シ硝酸或ハ「ブローム」水ヲ加ヘテ全ク酸化セシメタル後過剩ノ「アムモニア」水ヲ加ヘ濾過シテ得タル無色ノ液ハ硫化水素水ニ由テ變化セス又之ヲ蒸發シテ燒灼スルモ

殆ト殘留ス可カラス

壜中ニ容レ密栓シテ貯フヘシ

Ferrum sulfuricum crudum.
粗製硫酸鐵　綠礬

粗製硫酸鐵ハ類綠色結晶性ノ塊片或ハ綠色ノ結晶ニシテ多クハ稍濕潤シ又稀ニ其表面類白色ノ粉塵ヲ被ルコトアリ二分ノ水ニ溶解スレハ溷濁シ酸性ノ反應ヲ徵シ其味收斂性ナリ

本品一分ヲ五分ノ水ニ溶解スルニ著シク褐色ノ溷濁ヲ起ス可カラス其溶液ヲ濾過スルニ帶褐綠色ノ液トナリ之ニ硫化水素水ヲ和スルニ褐色ヲ呈スルモ僅微ニ止マルヘシ

Flores Arnicae.
Arnica montana *L.*

アルニカ花

アルニカ花ハ本植物ノ舌狀花及管狀花ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ帶赤黃色ニシテ實礎ハ顯著ナラサル五稜ヲ有シ上方ニ向テ起立シ左右連結セル二箇ノ細胞ヨリ成レル毛茸ヲ附著ス毛冠ハ淡類黃色ニシテ多數ノ剛毛ヨリ成ル舌狀花ノ花冠ハ八乃至十條ノ脈理ヲ現ハシ上端ニ三齒ヲ有ス粉蘂ノ各一半ハ下部稍〻圓形ヲナシ囊帶ハ上端三角形ヲナス

氣味ハ弱芳香性ニシテ微ニ苦シ

Flores Chamomillae.
Matricaria Chamomilla *L.*

カミルレ花

カミルレ花ハ本植物ノ小花頭ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ總蕚ハ綠色ニシテ邊緣乾燥シタル高葉ト概ネ三列ニ排置セル白色ノ高葉トヨリ成ル花床ハ裸出空洞ニシテ幼稚ノ小花頭ニ在テハ半球形、老小花頭ニ在テハ圓錐體形ヲナシ十二乃至十八箇ノ白色舌狀花ト多數ナル黃色管狀花ヲ具有ス舌狀花ハ四條ノ脈理ヲ現ハシ上端ニ三齒ヲ有スル花冠ヲ帶フ

氣味峻烈芳香性ニシテ微ニ苦シ

Flores Chamomillae romanae.
Anthemis nobilis *L.*

ローマカミルレ花

ローマカミルレ花ハ本植物ノ小花頭ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ總蕚ハ多數ノ高葉ヨリ成リ其各高葉ハ毛茸ヲ帶ヒ邊緣ハ白色ヲ呈シ睫毛狀ノ鋸齒ヲ有ス花床ハ圓錐體形ニシテ空洞ナラス之ニ附著スル花ハ殆ト皆四條ノ脈線ヲ有シ前端ニハ三齒ヲ著ケ基部ハ小舟狀鱗葉ヲ具フル白色ノ舌狀花ノミヨリ成リ花床ノ中心ニ占居スル黃色ノ管狀花ハ較〻少數ナリ

本品ハ氣味峻烈芳香性ニシテ苦シ

Flores Cinae.
Artemisia Cina *Berg.*

シナ花

シナ花ハ本植物ノ未開ノ小花頭ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ長サ約四ミリメートル(4 mm)總蕚ハ十二乃至二十片ノ小葉ヨリ成リ其各葉片ハ類綠色ニシテ廣楕圓形乃至長形ヲナシ上端鈍ク邊緣ハ無色皮膜樣ニシテ主脈上ニハ隆起セル稜線ヲ有シ其兩側ニハ類黃色ノ腺ヲ散在シ概シテ少數ノ單細胞性毛茸ヲ帶フ其總蕚ハ中ニ三乃至五箇ノ兩性管狀花ヲ包裹ス

氣味芳香性不快ニシテ苦ク清涼ナリ

Flores Koso.
Hagenia abyssinica *Willd.*

コソ花

コソ花ハ本植物ノ雌性華本ヲ花ノ凋萎セル後採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ花ハ梗ヲ有シ花床ハ略〻椀形ニシテ內部ハ壺子形ヲナシ上端圈輪ニ由テ狹隘トナリ其邊緣ニハ四乃至五節性ノ萼葉座ト甚タ細小ナル同節性花冠葉座トヲ交互ニ附著ス花冠葉ハ概シテ脫落セリ外萼葉ハ長サ殆ト一センチメートル(1 cm)ニシテ平直ナリ內萼葉ハ長サ三ミリメートル(3 mm)ニ超エス外方ニ反曲セリ花床ノ心底ニハ二箇ノ雌蕊ヲ具有スルモ其一箇ノミ發育シテ小胡桃果トナル花梗ハ二片ノ圓形前葉ヲ附著ス

本品ノ粉末中ニハ雌性花及其二片ノ前葉成分ノ外花粉及太サ〇·〇〇二ミリメートル(0,002 mm)ニ超ユル脈管ノ碎片其他異物ヲ混有ス可カラス

本品ハ花及前葉ノミヲ供用スヘシ

Flores Lavandulae.

Lavandula vera *D. C.*

ラヘンデル花

ラヘンデル花ハ本植物ノ花ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ萼ハ管狀ヲナシ長サ五ミリメートル(5 mm)ニシテ上部ハ少シク擴張シ十乃至十三條ノ脈線ヲ現ハシ毛茸ヲ帶フ萼ノ邊緣ニ存スル五齒中ノ四箇ハ甚タ短ク他ノ一齒ハ長サ殆ト一ミリメートル(1 mm)ニ至リ鈍卵圓形藍色ノ瓣ヲナシ花冠ハ藍色ヲ有シ其上唇ハ二瓣下唇ハ三瓣ヨリ成ル

本品ハ氣味佳快ニシテ苦シ

Flores Malvae.

Malva silvestris *L.*

錦葵花

錦葵花ハ本植物ノ花ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ萼ハ長サ五ミリメートル(5 mm)ニシテ五裂シ其外面ハ狹小ニシテ篦狀尖銳ナル三片ノ高葉ヨリ圍繞セラル花冠ハ五葉ヨリ成リ長サ二センチメートル(2 cm)ヲ超エ前端ハ深キ楔狀ヲナシ藍色ヲ有シ楔狀乃至狹倒卵圓形ニシテ雄蕊ノ基部ト癒著ス

味ハ少シク粘液性ナリ

Flores Rosae.

Rosa rugosa *Thunb.*

玫瑰花

玫瑰花ハ本植物ノ花瓣ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ紫紅色ニシテ廣卵圓形或ハ倒心臟形ヲナシ下端ハ少シク厚化シテ弧曲ス

本品ノ香氣ハ佳快ナリ

Flores Sambuci.

Sambucus nigra *L.*

接骨木花

接骨木花ハ本植物ノ花ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ下立性實礎ハ三箇ノ柱頭ヲ有スル短キ雌蕊、五箇ノ三角形萼葉及車輪形五瓣性ノ花冠ヲ帶ヒ花冠上ニハ五箇ノ雄蕊アリ

本品ハ淡黃色ニシテ强キ香氣ヲ有セサル可カラス

Flores Tiliae.

Tilia ulmifolia *Scop.* et
Tilia platyphyllos *Scop.*

菩提樹花

菩提樹花ハ木植物ノ華本ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ華本梗ニハ巨大舌狀ノ高葉ヲ附著シ花ハ三乃至十三箇ニシテ類黃色ヲ有シ萼ハ五葉ニシテ脫落シ易ク萌芽ノトキハ瓣狀ニ疊層シ花瓣ハ五葉ニシテ篦狀ヲナシ毛茸ヲ帶ヒス雄蕊ハ三十乃至四十條ニシテ絲狀ノ粉絲ト分裂セル雛帶トヲ有シ雄蕊ハ上立五房性ニシテ五瓣性ノ柱頭ヲ戴

ク

氣味ハ微ニ芳香性ニシテ粘液性ナリ

Flores Verbasci.

Verbascum phlomoides *L. et*
Verbascum thapsiforme *Schrad.*

ウェルバスクム花

ウェルバスクム花ハ本兩種植物ノ金黄色ヲ有スル花ヲ雄蕊ト共ニ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ花冠ハ廣サ一・五乃至二センチメートル(1,5-2 cm)其上端五瓣ニ分レ下部ハ短キ管狀ヲナス五箇ノ雄蕊ハ花冠瓣ト交互ニ配置シ其大ナル花冠瓣ノ左右ニ位スル二箇ノ雄蕊ハ毛茸ヲ帶ヒス他ノ雄蕊ハ單一ノ細胞ヨリ成レル短播形ノ毛茸ヲ著ク

本品ハ黄色ヲ有シ峻烈ノ香氣ヲ有セサル可カラス

Folia Althaeae.

Althaea officinalis *L.*

アルテア葉

アルテア葉ハ本植物ノ葉ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ葉體ハ長サ十センチメートル(10 cm)ニ至リ楕圓形ヲナシ三瓣乃至五瓣ヲ有シ灰色絨毛性ニシテ厚ク破レ易シ基部ハ心臟形或ハ楔狀ヲナシ邊緣ニハ鋸齒或ハ波動狀鋸齒アリ兩面共ニ密ニ毛束ヲ帶ヒ葉柄ハ葉體ヨリ短シ

本品ハ臭氣ナク味ハ粘液性ナリ

Folia Belladonnae.

Atropa Belladonna *L.*

ベラドンナ葉

ベラドンナ葉ハ本植物ノ葉ヲ帶花ノ期節ニ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ上面帶褐綠色ニシテ下面帶灰綠色ヲ有シ長サ二デシメートル(2 dm)ニ過ギス卵圓形ヲナシ横斷面ニ於テハ半月形ヲナセル葉柄ニ沿ウテ狹細トナリ上端ハ尖銳邊緣ハ平坦ニシテ葉體ハ殆ト毛茸ヲ帶ヒス「ルーペ」ヲ以テ檢視スレハ殊ニ下面ニ於テ結晶砂ヲ包裹セル蓚酸鹽細胞ヨリ成レル白色ノ斑點ヲ認ム

本品ハ味微ニ苦シ

注意シテ貯フヘシ

Folia Buccо.

Barosma crenulata *Hook. et*
Barosma betulina *Bartl. et Wendl.*

ブッコ葉

ブッコ葉ハ本兩種植物ノ葉ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

甲種植物ノ葉ハ卵圓形或ハ倒卵圓形ヲナシ長サ十二乃至二十ミリメートル(12-20 mm)廣サ約十ミリメートル(10 mm)ナリ上端ハ鈍ク邊緣ハ鈍鋸齒ヲ帶ヒ葉柄短シ

乙種植物ノ葉ハ菱形ヲナシ長サ八乃至十八ミリメートル(8-18 mm)廣サ十二ミリメートル(12 mm)ニ至ル上端ハ少シク缺損シ或ハ反卷シ基部ハ狹細トナリ楔狀ヲ呈ス

本品ハ淡綠色ヲ有シ光澤ヲ帶ヒ剛强ニシテ鞣革ニ類シ油腺ニ由テ斑點ヲ現ハシ各鋸齒ノ頂部ニハ邊緣ニ近接シテ大ナル油腺ヲ存ス

本品ハ香氣芸香ニ類シ味ハ芳香性ナリ

Folia Coca.

Erythroxylon Coca *Lam.*

コカ葉

コカ葉ハ本植物ノ葉ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ類褐綠色ニシテ鈸鐵形卵圓形又ハ長倒卵圓形ヲナシ長サ二乃至七センチメートル(2-7 cm)ナリ葉柄短ク邊緣平坦ニシテ上端ハ鈍ク或ハ凹入シ主脈ハ著シク露出シ其兩側ニ弓狀ノ線條アリ

本品ハ茶ニ類スル微弱ノ香氣ヲ有シ味ハ微ニ芳香性ニシテ苦ク咀嚼スレハ暫時舌上ニ鈍麻ノ感覺ヲ留ム

○ Folia Digitalis.

Digitalis purpurea *L.*

ヂギタリス葉

ヂギタリス葉ハ本植物ノ葉ヲ花時ノ初期ニ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ長サ三十センチメートル(30 cm)ニ超エス廣サ十センチメートル(10 cm)ニ至リ長卵圓形ヲ有シ葉柄ヲ缺キ或ハ三稜性ノ葉柄ニ沿ウテ狹細トナリ邊緣ハ不同ノ鈍鋸齒ヲ有ス第一級枝脈ハ尖角ヲナシテ主脈ヨリ發生シ第二級及第三級ノ枝脈ト共ニ葉ノ裏面ニ露出セル脈絡ヲ形成シ日光ニ透見スレハ更ニ其間ニ細微ナル網脈ヲ認ム葉體ハ概シテ一乃至四箇ノ細胞ヨリ成レル尖銳ノ毛茸ト有頭性腺毛ヲ帶フルノミ蓚酸鹽結晶ハ葉體ノ組織中ニ缺如ス

本品ハ不快ノ苦味ヲ有ス

本品一分ニ十分ノ沸湯ヲ加ヘ浸出シテ得タル液ハ冷後之ニ「タンニン」酸溶液ヲ滴加スルニ夥シク沈渣ヲ生シ其沈渣ハ過剩ノ「タンニン」酸ニ徐々ニ溶解セサル可カラス

光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ但一年以上ニ過ク可カラス

Folia Eucalypti.

Eucalyptus globulus *Labill.*

オイカリプツス葉

オイカリプツス葉ハ本植物ノ葉ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ長サ十五乃至三十センチメートル(15-30 cm)其最モ廣キ基部ニ於テハ廣サ二・五乃至三センチメートル(2,5-3 cm)狹鈸鐵形ヲナシ鎌狀ニ彎曲シ上端ハ長狹尖銳ニ走リ基部ハ少シク葉柄ニ移リ葉柄ハ長サ二乃至三センチメートル(2-3 cm)ニシテ捻轉ス

本品ハ邊緣平坦ニシテ暗灰綠色ヲ有シ毛茸ヲ帶ヒス剛强ニシテ鞣革ニ類シ油腺ニ由テ斑點ヲ現ハシ其枝脈ハ邊緣ヨリ一乃至二ミリメートル(1-2 mm)隔リタル部位ニ於テ癒合シ邊緣ニ沿ウテ通走ス

本品ノ氣味ハ樟腦樣ニシテ强芳香性ナリ

本品ニハ往々幼樹ノ葉ヲ混有スルコトアリ其葉ハ卵圓形ニシテ基部ハ心臟形ヲナシ較〻菲薄ナリ

Folia Farfarae.

Tussilago Farfara *L.*

ファルファラ葉

ファルファラ葉ハ本植物ノ葉ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ心臟形ヲナシ長サ八乃至十五センチメートル(8-15 cm)ニシテ掌狀脈絡ヲ現ハシ長キ葉柄ヲ有シ上端ハ尖銳ニシテ邊緣ハ多少彎狀ヲナシ其彎內ニ鋸齒ヲ著ク上面ハ暗綠色ニシテ下面ハ多少鞭狀ヲナセル白色ノ絨毛ヲ帶フ

本品ハ殆ト氣味ヲ有セス

Folia Hamamelidis.

Hamamelis virginiana *L.*

ハマメリス葉

ハマメリス葉ハ本植物ノ葉ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ長サ七乃至十五センチメートル(7-15 cm)廣サ七センチメートル(7 cm)ニ至リ上面暗綠色或ハ類褐綠色ニシテ下面ハ較〻淡ク廣卵圓形ヲナシ上端ハ鈍ク基部ハ狹細トナリ概シテ均同ナラス其一方ハ屢〻心臟形ヲナス邊緣ハ彎狀ヲナシ不整ノ鈍鋸齒ヲ有ス主脈ノ兩側ヨリ銳角ヲナシテ分

出セル約六條ノ肋脈ハ著シク露出シ最モ著大ノ鈍鋸齒中ニ走入シ其肋脈間ニハ顯著ノ網脈ヲ存シ葉柄ハ短シ

本品ハ味微ニ收斂性ニシテ少シク苦シ

Folia Hyoscyami.

Hyoscyamus niger L.

ヒヨス葉

ヒヨス葉ハ本植物ノ葉ヲ花時ニ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ基立葉ハ長サ三十センチメートル(30 cm)ニ至リ長卵形ヲ有シ葉柄ニ沿ウテ狹細トナル邊緣ハ疎大ノ鋸齒ヲ有ス莖立葉ハ基立葉ヨリモ小ニシテ葉柄ヲ缺キ上端尖銳ニシテ兩緣各一乃至四箇ノ廣キ鈍鋸齒ヲ有ス本品ノ表皮ハ概シテ二乃至四箇多クモ十箇ヲ超エサル細胞ヨリ成レル圓錐體形ノ毛茸ト數箇ノ細胞ヨリ成レル腺性頭毛ヲ帶フ葉緣細胞中ニ存スル蓚酸鹽ハ概シテ單結晶或ハ孖結晶ヲナシ稀ニハ稍〻單純ノ簇晶ヲナス

注意シテ貯フヘシ

Folia Jaborandi.

Pilocarpus 屬ノ數種

ヤボランヂ葉

ヤボランヂ葉ハ本屬諸種植物ノ奇性翼葉ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ衡葉ハ二乃至四對ヲナシ短キ葉柄ヲ有シ頂端ノ奇葉ハ其葉柄ノ長サ二乃至三センチメートル(2-3 cm)ニシテ各葉片ハ楕圓形乃至鈹鍼形ヲナシ兩端平等ニ狹隘トナリ長サ八乃至十六センチメートル(8-16 cm)ニシテ十二センチメートル(12 cm)ノモノ多キヲ占メ上端ハ稍〻凹入ス大ナル第一級枝脈ハ約四十五度ノ角度ヲナシテ主脈ヨリ分出シ葉緣ヨリ短距離ノ部位ニ至リ癒著シテ輪索形ヲナシ其外側ニモ更ニ小ナル輪索アリ大ナル第一級枝脈ノ間ニハ網脈ヲ認メ其大ナル網眼ハ第三級ノ細キ枝脈ト第四級ノ太キ枝脈トヨリ成ル葉體ニ存スル多數ノ透映ナル斑點ハ胞間ニ散在セル分泌器ニ因ス柵狀細胞ハ一層ヨリ成リ其厚サ葉體ノ約五分一ヲ占ム

本品ヲ壓擦スレハ著シク乾燥橙皮ニ類スル香氣ヲ發シ又永ク之ヲ咀嚼スレハ苦烈ノ味ヲ生ス

Folia Melissae.

Melissa officinalis L.

メリッサ葉

メリッサ葉ハ培養セル本植物ノ葉ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ葉柄長ク葉體ハ長サ三乃至五センチメートル(3-5 cm)ニシテ卵圓形或ハ心臟形ヲナシ非薄ニシテ上面ハ深綠色下面ハ淡綠色ヲ呈シ鈍鋸齒ヲ有シ疎ニ毛茸ヲ帶ヒ光輝アル腺鱗ヲ存ス

本品ハ枸櫞ニ類スル香氣ヲ有セサル可カラス

Folia Menthae.

Mentha arvensis L. var. piperascens Holmes.

薄荷葉

薄荷葉ハ本植物ノ葉ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ卵圓形乃至鈹鍼形ヲナシ長サ三乃至七センチメートル(3-7 cm)ナリ上端ハ尖銳ニシテ邊緣ハ不同ノ銳鋸齒ヲ帶フ葉面ニハ毛茸散在シ多數ノ腺鱗ヲ著ク

本品ハ氣味特異峻烈芳香性ニシテ後清涼ナリ

Folia Pruni macrophyllae.

Prunus macrophylla S. et Z.

バクチ葉

バクチ葉ハ本植物ヨリ採集セル新鮮ナル葉ナリ

本品ハ鈹鍼形ヲナシ長サ約十五センチメートル(15 cm)幅五センチメートル(5 cm)ニ至リ上端尖銳

ニシテ邊緣ハ鋭鋸齒ヲ帶フ葉體ハ縮葉狀ニシテ上面ハ綠色、光澤ヲ有シ下面ハ其色稍、淡明ナリ主脈ハ葉ノ下面ニ著シク隆出シ其上面ニハ之ニ應スル溝渠ヲ現ハス主脈ヨリ分出スル枝脈ハ葉ノ邊緣ニ達セス上方ニ向テ弧曲シ互ニ連結スル葉稍ハ短ク上側ニ溝渠ヲ現ハシ葉體ノ基部ニ近接シテ左右ニ膨體ヲ具有ス柵狀細胞ハ上面ノミニ存在シ處々ニ楕酸圓結晶殘ヲ包藏ス

本品ヲ搗碎スレハ「チアン水素ノ臭氣ヲ發ス

Folia Salviae.

Salvia officinalis *L.*

サルフイア葉

サルフイア葉ハ本植物ノ葉ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ形狀一定ナラス概シテ卵圓形或ハ長形ヲナシ長サ二乃至八センチメートル(2–8 cm)幅一乃至四センチメートル(1–4 cm)ニシテ細微ナル鈍鋸齒ヲ有シ網脈ノ凹ニ於ケル葉體ノ部分ハ隆起ス上下兩面共ニ細長直毛性ニシテ大氣ヲ包藏セル一乃至五細胞性毛茸、有頭性腺毛及腺鱗ヲ附著ス

本品ハ氣味特異芳香性ニシテ稍、苦ク收斂性ナリ

○Folia Sennae.

センナ葉

(甲) チンネウエリーセンナ葉

Cassia angustifolia *Vahl.*

チンネウエリーセンナ葉ハ本植物ノ葉ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ鏃鏃形ヲナシ其基部稍、不同ナリ長サ二・五乃至五センチメートル(2,5–5 cm)ニシテ短キ葉柄ヲ有シ上端ハ尖鋭ナリ微ニ毛茸ヲ帶フ

本品ノ兩面ニ露出セル第一級枝脈ハ邊緣ニ近接シテ上方ニ蜿走シ兩面ノ表皮ハ多角形、平壁性細胞ヨリ單細胞性厚壁性ノ毛茸ヲ帶フ兩面ノ表皮下ニハ各一層ノ柵狀細胞ヲ存ス葉體ノ中層ハ圓形ノ細胞ヨリ成ル

(乙) アレキサンドリアセンナ葉

Cassia acutifolia *Del.*

アレキサンドリアセンナ葉ハ本植物ノ葉ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ甲種センナ葉ヨリ小形ニシテ長サ一乃至三センチメートル(1–3 cm)ナリ其他ハ甲種ノ條ニ揭クル所ニ同シ

センナ葉ハ莢稍莢果或ハ「アルゲル葉(Cynanchum Arghel *Del.*)ノ葉ヲ夾雜ス可カラス又類褐色或ハ類黃色ノモノハ供用ス可カラス

Folia Stramonii.

Datura alba *Nees.*

曼陀羅葉

曼陀羅葉ハ本植物ノ葉ヲ花時ニ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ葉柄ハ長クシテ圓ク上面ニ細溝アリ葉體ハ暗綠色ニシテ長サ二一センチメートル(2 dm)ニ過キス廣卵圓形又ハ長卵圓形乃至鏃鏃形ヲナシ上端ハ尖鋭ニシテ基部ハ楔狀ヲナス邊緣ニハ不同ナル鋸齒或ハ重鋸齒アリ殆ト毛茸ヲ帶ヒス主脈ノ兩側ニハ二乃至五條ノ太キ枝脈アリ楕酸圓細胞ハ結晶殘ヲ包藏ス本品ノ味ハ微ニ苦クシテ鹹ナリ

注意。

Folia Trifolii fibrini.

Menyanthes trifoliata *L.*

睡菜葉

睡菜葉ハ本植物ノ葉ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ノ三葉性葉ハ其主柄圓クシテ長サ一センチメートル(1 dm)太サ五ミリメートル(5 mm)ニ至ル各葉片ハ綠色ヲ有シ長サ二乃至十センチメートル(3–10 cm)ニ至リ葉柄ヲ俠キ厚クシテ毛茸ヲ帶ヒ

ス鈹鍼形又ハ楕圓形ニシテ基部ハ楔狀、邊緣ハ少シク波蕩狀ヲナシ其樞部ニハ水孔ヲ存ス

本品ハ臭氣ナク味甚タ苦シ

Folia Uvae Ursi.

Arctostaphylos Uva Ursi *Sprenq.*

ウワウルシ葉

ウワウルシ葉ハ本植物ノ葉ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ瓦狀稀ニハ倒卵圓形ヲナシ長サ一・二乃至三センチメートル(1,2-3 cm)葉柄ノ長サ三乃至五ミリメートル(3-5 mm)ナリ邊緣ハ平坦葉體ハ厚クシテ破碎シ易ク上面ハ暗綠色ヲ有シ上下ノ表皮ハ上面ヨリ檢視スレハ多角形、平壁性ノ細胞ヨリ成リ裂孔ハ廣楕圓形ヲナス主脈ハ其脈管束ノ上下兩側ニ隨伴セル細胞中ニ蓚酸カルチウム」ノ單結晶ヲ包藏ス中層組織中ニハ蓚酸鹽結晶ヲ缺如ス味ハ收斂性ナリ

本品一分ニ五十分ノ水ヲ和シ二三時間冷浸シテ得タル液ニ硫酸鐵ノ小片ヲ加フレハ紫色ノ沈澱ヲ生ス

○ Formalinum. *Formaldehydum solutum.*

フォルマリン　フォルムアルデヒード液

フォルマリン」ハ澄明無色ノ液ニシテ竄透臭ヲ有シ中性或ハ弱酸性ノ反應ヲ微シ水竝酒精ニ隨意ノ比例ニ於テ混和シ「エーテル」ニ混和セス比重一・〇七九乃至一・〇八一ナリ

本品ハ百分中約三十五分ノ純フォルムアルデヒード(CH_2O＝30,02)ヲ含有ス

本品五立方センチメートル(5 ccm)ヲ重湯煎上ニ蒸發スレハ水ニ溶解シ難キ白色無晶形ノ物質ヲ殘留シ之ヲ熱スレハ固性物ヲ遺サスシテ燃化ス又本品ニ「アムモニア水ヲ加ヘテ强アルカリ性トナシタル後重湯煎上ニ蒸發スレハ水ニ溶解シ易キ白色結晶性ノ物質ヲ殘留ス

本品ニ「アムモニア水ヲ和シタルモノニ硝酸銀溶液ヲ加フレハ徐々ニ金屬銀ヲ析出ス又フェーリング溶液ト共ニ熱スレハ赤色ノ沈澱ヲ析出ス

本品ニ四倍容量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ硝酸銀溶液、硝酸バリウム溶液又硫化水素水ニ由テ變化セス又アムモニア水ヲ過飽セルモノハ硫化アムモニウム」ニ由テ沈澱ヲ生ス可カラス又本品一立方センチメートル(1 ccm)ニ一滴ノ定規カリ液ヲ加ヘタルモノハ酸性ノ反應ヲ微ス可カラス」本品五立方センチメートル(5 ccm)ニ水二十立方センチメートル(20 ccm)及アムモニア水十立方センチメートル(10 ccm)ヨリ成レル混和液ヲ加ヘ密閉器中ニ一時間放置シ之ニ定規鹽酸二十立方センチメートル(20 ccm)及ロゾール酸溶液一二滴ヲ和シタルモノハ薔薇紅色ヲ呈スルニ至ルニ少ナクモ四立方センチメートル(4 ccm)ノ定規カリ液ヲ費サヽル可カラス

光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

Fructus Anisi.

Pimpinella Anisum *L.*

アニース實

アニース實ハ本植物ノ果實ヲ採集セルモノナリ

本品ハ長サ約五ミリメートル(5 mm)ニ至リ廣卵圓形ヲナシ類褐色ヲ有シ單細胞性ノ短キ毛茸ヲ帶フ僅ニ隆起セル十條ノ肋脈間ニ存スル油槽ハ外部ヨリハ認視レ難ク各分果ノ符合面ニハ二箇ノ大油槽著シク隆起ス分果ノ橫斷面ニ於テハ各二條ノ肋脈間ニ四乃至六箇ノ小油槽ヲ認ム

本品ハ「アネトール」ニ類スル峻烈ノ氣味ヲ有セサル可カラス

Fructus Aurantii immaturi.

Citrus Bigaradia *Duham.*

未熟橙實

未熟橙實ハ本植物ノ未熟ノ果實ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ直徑五乃至十五ミリメートル(5-15 mm)ニシテ其外面ハ類綠色或ハ類褐色ヲ有シ粗粒狀ヲ現ハス橫斷面ニ於テハ外邊ニ密接シテ多數ノ油腺ヲ有シ內部ハ八乃至十房稀ニハ十二房ニ分レ其

外壁ノ白色組織房中ニ侵入セルヲ見ル
本品ハ氣味芳香性ニシテ苦シ

Fructus Capsici.
Capsicum 屬ノ漿種

番椒

番椒ハ本屬諸種植物ノ果實ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
本品ハ鈍錐形或ハ圓錐形ヲナシ上部空洞長サ五乃至十センチメートル(5–10 cm)基部ハ太サ五センチメートル(5 cm)ニ至リ皮壁ハ外面赤色或ハ帶黃赤色或ハ帶褐赤色滑澤ニシテ光澤ヲ帶フ種子ハ多數ニシテ圓板形ヲナシ類黃色ヲ有シ直徑五ミリメートル(5 mm)ナリ
本品ハ味峻烈灼クカ如シ

Fructus Cardamomi.
Elettaria Cardamomum *White et Maton.*

小豆蔻

小豆蔻ハ本植物ノ覆果ヲ殆ト稔熟前ニ採集シ乾燥セルモノナリ
本品ハ淡類黃色ヲ有シ長サ一乃至二センチメートル(1–2 cm)太サ約一センチメートル(1 cm)ニシテ三條ノ鈍稜ヲ有シ縱脈アリ頂端ニハ一乃至二ミリメートル(1–2 mm)ノ小嘴ヲ戴キ內部ハ三房ニ分レ各房中ニハ縱徑ニ排列セル種子約七箇ヲ包藏ス其種子ハ褐色不整有角性ニシテ皺紋ヲ帶ヒ無色菲薄ノ子衣ヲ被ル
果殼ハ氣味ナク種子ハ其子殼中ニ强芳香性ノ氣味ヲ有スル分泌物ヲ含有ス

Fructus Carvi.
Carum Carvi *L.*

カールム實

カールム實ハ本植物ノ果實ヲ採集セルモノナリ
本品ハ多クハ分果ニ分裂ス其各分果ハ長サ約五ミリメートル(5 mm)太サ一ミリメートル(1 mm)ニシテ少シク鎌狀ニ彎曲シ上下狹細トナリ五條ノ細キ類白色ノ肋脈ハ著シク隆起シ六箇ノ大ナル油槽ハ暗褐色ヲ呈ス
本品ノ氣味ハ「カルウォン」ニ類ス

Fructus Colocynthidis.
Citrullus Colocynthis *Schrad.*

コロシント實

コロシント實ハ本植物ノ果實ヲ採集シ其堅キ外皮ヲ剝除シ乾燥セルモノナリ
本品ハ球圓形ヲナシ其白色ノ果肉ハ輕鬆ニシテ大氣ヲ包有セル大細胞性ノ組織ヨリ成リ內ニ脈管束通走シ多數ノ扁卵形種子ヲ包藏ス臭氣ナク味極メテ苦シ
本品ハ種子ヲ除去シテ用フヘシ
注意シテ貯フヘシ

Fructus Foeniculi.
Foeniculum vulgare *Gaertn.*

茴香

茴香ハ本植物ノ果實ヲ採集セルモノナリ
本品ハ長圓錐形ヲナシ帶褐綠色ヲ有シ長サ七乃至十ミリメートル(3–4 mm)ナリ其十條ノ肋線中ニ於テ互ニ密接セル邊緣ノ肋線ハ他ノ肋線ヨリモ著シク隆起ス六條ノ褐色ノ油脈ハ概シテ肋線ヨリ廣シ
本品ハ特異芳香性峻烈ノ氣味ヲ有セサル可カラス

Fructus Juniperi.
Juniperus communis *L.*

杜松實

杜松實ハ本植物ノ果實ヲ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ球圓形ヲナシ直徑九ミリメートル(9 mm)ニ至リ黑褐色ヲ有シ間〻藍色ノ粉霜ヲ帶ヒ基部ニハ一乃至約六箇ノ三節性葉座ヲ著ケ尖端ニハ三箇ノ縫痕ヲ存ス果肉ハ淡類褐色ヲ有シ三箇ノ堅キ種子ヲ包藏ス

本品ノ味ハ强芳香性ニシテ甘シ

Fructus Piperis nigri.

Piper nigrum *L.*

胡椒

胡椒ハ本植物ノ果實ヲ稔熟前ニ採集シ乾燥セルモノナリ

本品ハ球圓形ヲナシ果梗ヲ缺如シ直徑約五ミリメートル(5 mm)ナリ果殼ハ非薄ニシテ黑褐色ヲ有シ粗ニ皺縮シ中ニ果層ト癒著セル一箇ノ種子ヲ包藏ス種子ハ主トシテ外胚乳ヨリ成リ其外胚乳ハ中心ニ空洞ヲ存シ角質樣ニシテ帶褐黃色ヲ有シ內部ハ白色ニシテ粉性ヲ呈ス

本品ハ氣味峻烈芳香性ニシテ灼クカ如シ

本品ヲ灰化スルニ百分ニ付キ五分ノ固性物ヲ殘留スルニ過ク可カラス

Fructus Vanillae.

Vanilla planifolia *Andr.*

ワニルラ

ワニルラハ本植物ノ充分稔熟セサル未綻ノ果實ナリ

本品ハ長サ二十乃至二十五センチメートル(20–25 cm)廣サ一センチメートル(1 cm)ニ過キス外面ハ帶黑褐色ニシテ光澤ヲ帶ヒ間〻「ワニルリン」ノ結晶ヲ被ルコトアリ本品ハ單房性ニシテ中ニ太サ〇·二五ミリメートル(0,25 mm)ニ過キサル甚タ多數ノ種子ヲ包藏ス種子ハ稀薄油樣ノ液ヨリ圍繞セラル

本品ハ著シク佳快芳香性ノ氣味ヲ有セサル可カラス

Galbanum.

Ferula galbaniflua *Boiss. et Buhse.*

ガルバヌム

ガルバヌム」ハ「ペルシア」ノ北部ニ產スル繖形科植物殊ニ本植物ヨリ得タル「ゴム樹脂ナリ

本品ハ箇々分離セル顆粒或ハ粘著セル顆粒ヲナシ類褐色或ハ黃色ヲ有シ往々微ニ類綠色ヲ帶フ或ハ又褐色ニシテ軟化シ易キ均等ノ塊ヲナス本品ハ其新鮮ナル破碎面ニ於テモ白色ヲ呈セス

本品ヲ細微ニ粉碎シ之ニ發烟鹽酸ヲ加ヘ十五分時間煮沸シ濕潤セル濾紙ヲ用ヒテ濾過シ其澄明液ニ注意シテ「アムモニア水ヲ加ヘ過飽シテ得タル混和液ハ落射光ニ於テ藍色ノ螢石彩ヲ現ハス

本品ニ沸騰酒精ヲ加ヘ充分ニ浸出スルニ其殘留物ハ乾燥ノ後百分ニ付キ五十分ニ過ク可カラス又

本品ヲ灰化スルニ百分ニ付キ十分ノ固性物ヲ殘留スルニ過ク可カラス

本品ヲ粉末トナスニハ之ヲ除濕器內ニ於テ乾燥シ成ルヘク低度ノ溫ニ於テ粉碎スヘシ

本品ハ氣味芳香性ニシテ苦烈ナラス

Gallae.

五倍子

五倍子ハ鹽膚木(Rhus semialata *Murr. var. Osbeckii D. C.*)ノ葉ニ呀蟲(Aphis chinensis *J. Bdl.*)ノ刺傷ニ由テ生シタル囊狀ノ贅生物ヲ採集セルモノナリ

本品ハ不整ノ形狀ヲナシ分岐瓣裂シ太サ一乃至六センチメートル(1–6 cm)ナリ皮壁ハ堅脆角質樣ニシテ帶灰褐色ヲ有シ絹絲樣ノ毛ヨリ成レル灰白色ノ悉被ヲ帶フ內部ハ空洞ニシテ灰白色ノ粉質及枯死セル呀蟲ヲ包藏スルコトアリ味ハ極メテ收斂性ナリ

Gelatina alba.

白阿膠

白阿膠ハ全ク或ハ殆ト無色透明非薄ノ板片ニシテ臭味ナク硝子樣ノ光澤ヲ帶フ

本品ハ冷水ニ溶解セシテ著シク膨脹シ熱湯ニ容易ニ溶解シテ澄明或ハ蛋白石濁ヲ帶フル粘稠性中性ノ液トナリ其溶液ハ1:100ノ比例ニ於ケルモ冷後尚能ク凝固ス酒精竝エーテル」ニ溶解セス本品ハ甚タ稀薄ノ水溶液ニ於ケルモ「タンニン酸溶液」ニ由テ白色絮狀ノ沈澱ヲ生ス

本品ヲ灰化スルニ百分ニ付キ二分ノ固性物ヲ殘留スルニ過ク可カラス

○ Glycerinum.

$C_3H_8O_3 = 92,08$

グリセリン

グリセリン」ハ澄明無色舍利別稠ノ液ニシテ味甘ク臭氣ナク水、酒精又エーテル酒精ニ隨意ノ比例ニ於テ溶解シ「エーテル、クロヽフォルム又脂肪油ニ溶解セス比重一・二二五乃至一・二三五ナリ

本品一立方センチメートル(1 ccm)ニ亞クロール錫溶液三立方センチメートル(3 ccm)ヲ和シタルモノハ一時間以內ニ暗色ヲ呈ス可カラス

本品一分ニ五分ノ水ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ中性ノ反應ヲ徵シ硫化水素水、硝酸バリウム溶液蓚酸アムモニウム溶液又クロールカルチウム溶液ニ由テ變化セス又硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過ク可カラス

本品五立方センチメートル(5 ccm)ヲ熱シ黙火スルニ全ク燃燒シテ黑斑ヲ遺スニ止マルヘシ更ニ強ク熱灼スルニ固性物ヲ殘留ス可カラス

本品一グラム(1 gr)ニ「アムモニア水一立方センチメートル(1 ccm)ヲ混和シ重湯煎中ニ於テ六十度ニ溫メタル後直チニ三滴ノ硝酸銀溶液ヲ滴加シ放置スルニ五分時間以內ニ染色セス又帶褐黑色ノ沈澱ヲ生ス可カラス

本品一立方センチメートル(1 ccm)ヲ「ナトロン濃液一立方センチメートル(1 ccm)ト共ニ溫ムルニ染色セス其際アムモニア又ハ阿膠樣ノ臭氣ヲ發ス可カラス又本品一立方センチメートル(1 ccm)ヲ稀硫酸一立方センチメートル(1 ccm)ト共ニ弱ク溫ムルニ不快敗油性ノ臭氣ヲ放ツ可カラス

Gossypium Acidi borici.

硼酸綿

硼酸綿ハ		十一分　(11,0)
硼酸		百八十七分(187,0)
ヲ取リ		
蒸餾水		九十分　(90,0)
ニ溶解シ之ニ		
精製綿		六分　(6,0)
ヲ浸シ二時間ヲ經テ壓搾シ其全量二百七十分トナルニ至リ壁撒シテ乾燥シ更ニ其全量ヲ百分トナシ製スヘシ		百三十分(130,0)
本品ハ百分中硼酸約十分ヲ含有ス		
密閉シ貯フヘシ		百分　(100,0)

Gossypium carbolisatum.

石炭酸綿

石炭酸綿ハ	
流動石炭酸	
ヲ取リ	
酒精	
ニ溶解シ之ニ	
精製綿	
ヲ浸シ二十四時間ノ後常溫ニ於テ乾燥シ製スヘシ	
本品ハ百分中石炭酸約五分ヲ含有ス	

密閉シテ貯フベシ

Gossypium depuratum.

Gossypium 國ノ綿

精製綿

精製綿ハ本國諸種種植物ノ種子ノ白色毛茸ヲ採集シ脂肪ヲ除去セルモノナリ

本品ハ綿殼及褐色ノ子殼ヲ混有スルコトアルモ極メテ僅少ニ過ク可カラズ

本品ヲ水ニテ煮沸セルモノハ試驗紙ヲ變化ス可カラズ

本品一分ニ十分ノ沸騰ヲ加ヘテ得タル濾液ハ硝酸銀溶液、硝酸バリウム溶液及稀酸アムモニウム

溶液ニ由テ蛋白石灰ヲ起スニ過ク可カラズ又其濾液十立方センチメートル(10 ccm)ニ硫酸二三滴

及過マンガン酸カリウム溶液三滴ヲ加フルニ二三分間以内ニ脫色ス可カラズ

本品ヲ水面ニ投スレハ速ニ直チニ沈下セサル可カラズ

本品ヲ灰化スルニ百分ニ付キ〇・二分以上ノ固性物ヲ殘留ス可カラズ

Gossypium Hydrargyri bichlorati.

昇汞綿

昇汞綿ハ

昇汞	二分	(2,0)
クロールカリウム	二分	(2,0)

ヲ取リ

蒸餾水	千五百分	(1500,0)

ニ溶解シ之ニ

精製綿	千分	(1000,0)

ヲ浸シ壓搾シテ攝氏微溫ヲ以テ乾燥シ製スベシ

本品ハ百分中昇汞約〇・二分ヲ含有ス

密閉シ光ヲ遮リ注意シテ貯フベシ

Gossypium jodoformiatum.

ヨードフオルム綿

ヨードフオルム綿ハ

ヨードフオルム	五分	(5,0)
洗動パラフィン	五分	(5,0)

ヲ取リ

エーテル	九十分	(90,0)

ニ溶解シ之ニ

精製綿	九十分	(90,0)

ヲ浸シ壓搾シ全體均等ノ黃色ヲ呈スルニ至リ常溫ニ於テ乾燥シ製スベシ

本品ハ百分中ヨードフオルム約五分ヲ含有ス

密閉シ注意シテ貯フベシ

Gossypium salicylatum.

サリチール酸綿

サリチール酸綿ハ

サリチール酸	五十五分	(55,0)
グリセリン	百分	(100,0)

ヲ取リ

酒精	七百分	(700,0)
蒸餾水	七百分	(700,0)